# ３．介護支援専門員アンケート調査

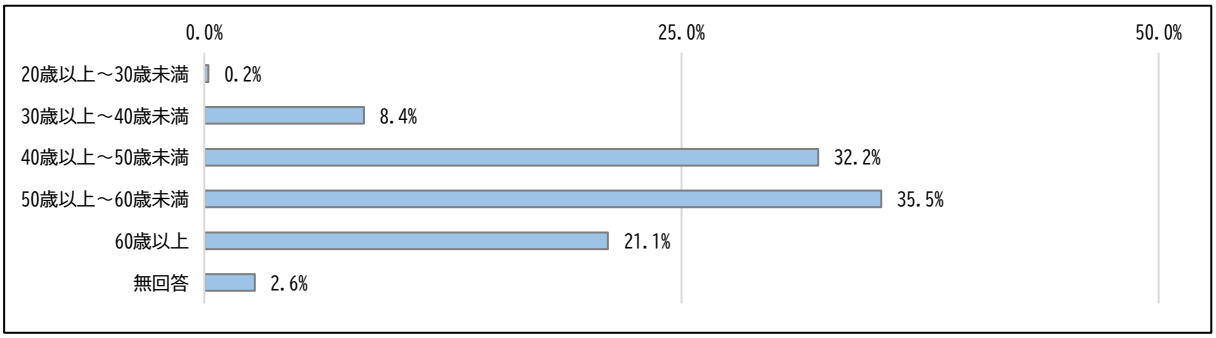
## １．基本的事項及び就労状況や就労意識について

### （１）回答者年齢・性別

令和２年４月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

回答者の年齢について、「50 歳以上 60 歳未満」が最も多く 35.5%、次いで「40 歳以上 50 歳未満」となっています。

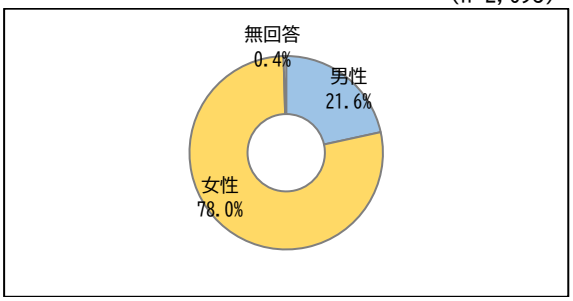
（n=454）




あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

回答者の性別について、「男性」が 21.6%、「女性」が 78.0%となっており、おおよその比率として男性：２、女性：８となっています。

（n=2,693）

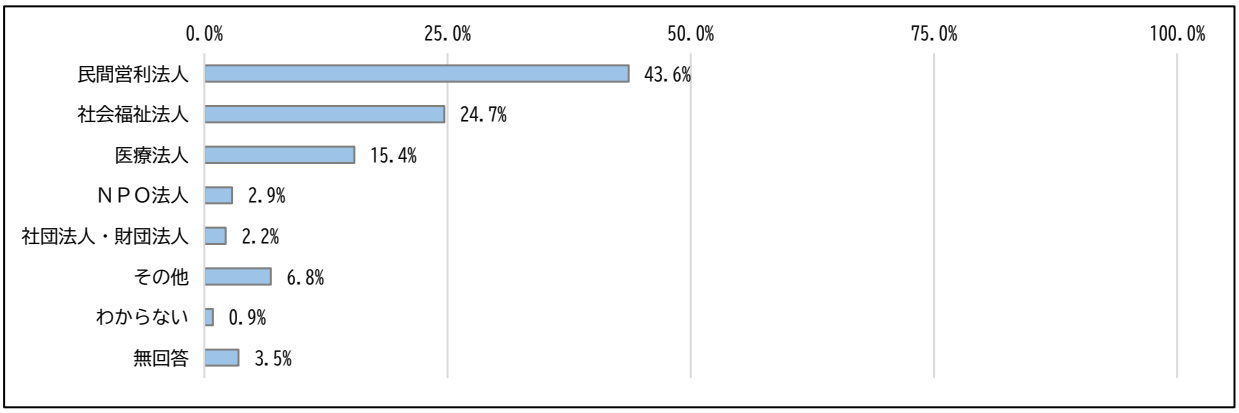


## （２）所属法人　事業所・施設種別状況

あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。（１つの番号に○）

回答者が勤務する事業所・施設の法人種別について、「民間営利法人」が最も多く 43.6%となっています。

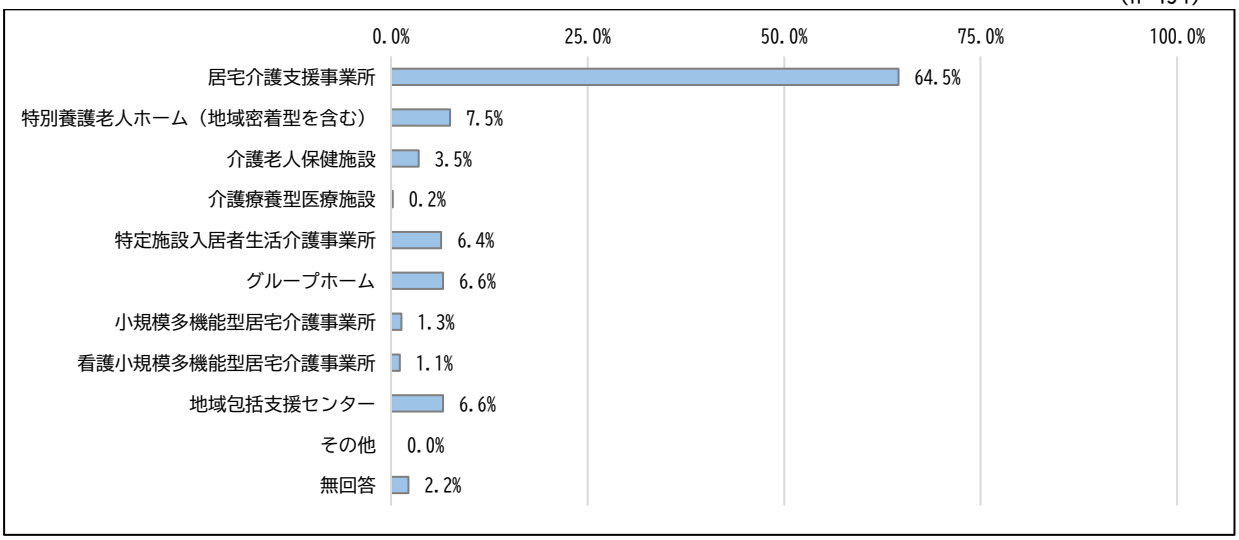
（n=454）




あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。（１つの番号に○）

回答者が勤務する事業所・施設の種別について、「居宅介護支援事業所」が最も多く 64.5%となっています。

（n=454）

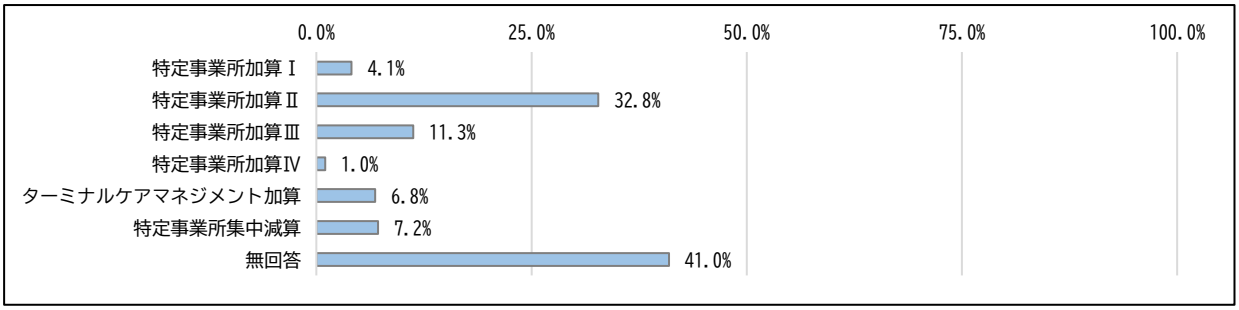


勤務する事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。

事業所における加算等届出状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

回答者が勤務する居宅介護支援事業所における加算等届出状況は次の通りとなっています。

（n=293）

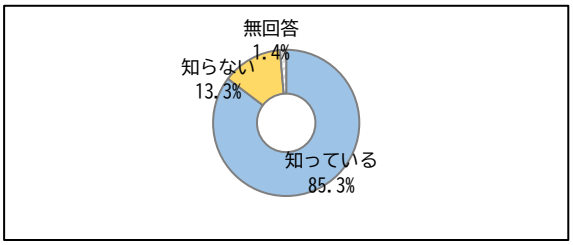



勤務する事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。

あなたは、「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」を知っていますか。（どちらかの番号に○）

居宅介護支援事業所に勤務する方のうち「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」を「知っている」と回答した割合は 85.3%となっています。

（n=293）

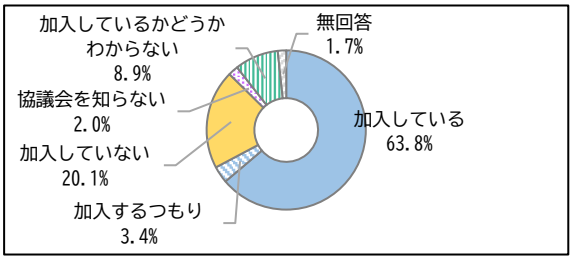



事業所・施設の種別が居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。

あなたの勤務する事業所の「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」の加入状況についてお答えください。（１つの番号に○）

回答者が勤務する居宅介護支援事業所が「松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会」に「加入している」と回答した割合は 63.8%となる一方、「加入していない」と回答した割合は 20.1%となっています。

（n=293）

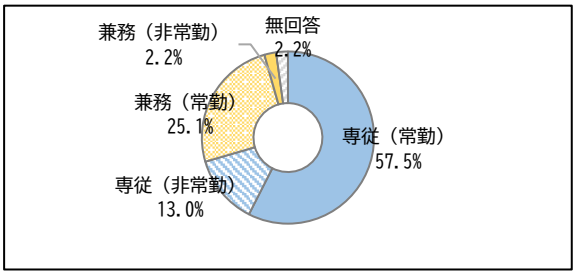


## （３）勤務・保有資格状況

現在働いている事業所・施設における勤務形態は次のうちどれですか。（１つの番号に○）

回答者の勤務形態について「専従（常勤）」が最も多く 57.5%となっています。なお、専従の割合は 70.5%と約７割、常勤の割合は 82.6%と約８割となっています。

（n=454）

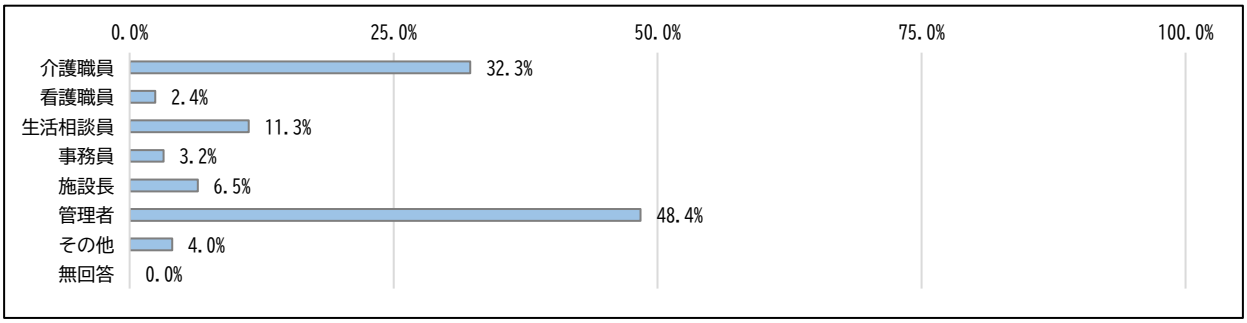



勤務形態にて兼務と回答した方のみ、お答えください。

現職場で兼務している職種は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

兼務している方における兼務職種について「管理者」が最も多く 48.4%となっており、次いで「介護職員」が 32.3%となっています。

（n=454）

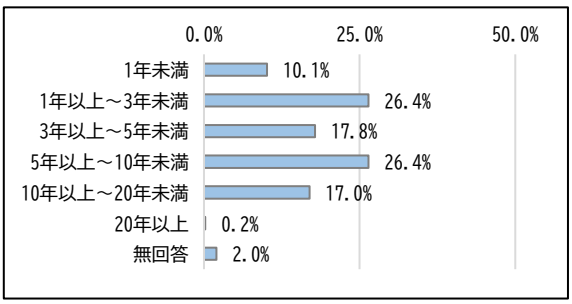



現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数をお答えください。（おおよその数字を記入）

### ①　現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数

現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数について、「１年以上～３年未満」「５年以上～10 年未満」ともに 26.4%となり、平均在籍年数は 5.3 年となっています。

（n=454）

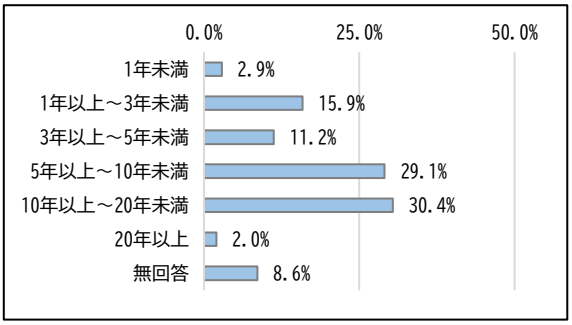



| | 平均年数 |
|---|---|
| 在籍年数 | 5.3 年 |

## ②　介護支援専門員としての通算経験年数

現介護支援専門員としての通算経験年数について、「10 年以上～20 年未満」が最も多く 30.4%となり、平均通算経験年数は 8.0 年となっています。

（n=454）

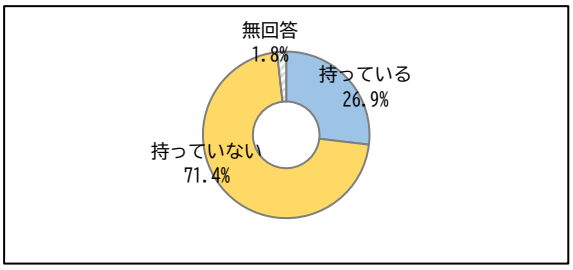



| | 平均年数 |
|---|---|
| 通算経験年数 | 8.0 年 |

主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。（どちらかの番号に○）

主任介護支援専門員の資格を「持っている」と回答した割合は 26.9%となっています。

（n=454）

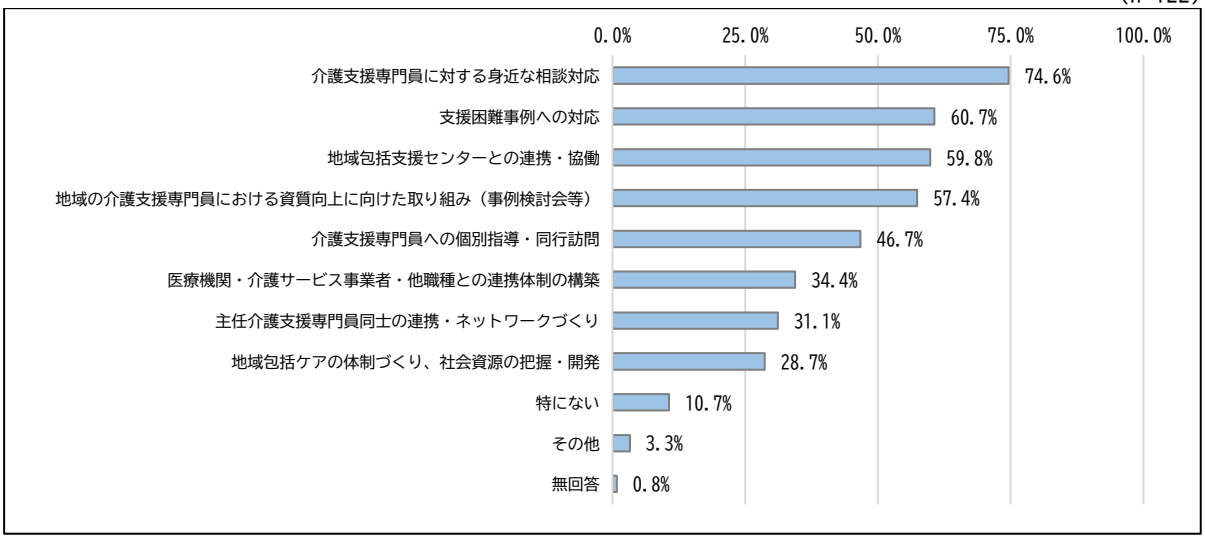



主任介護支援専門員の資格を持っている方のみ、お答えください。

主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

主任介護支援専門員として行っている業務について、「介護支援専門員に対する身近な相談対応」が最も多く 74.6%となっています。

（n=122）

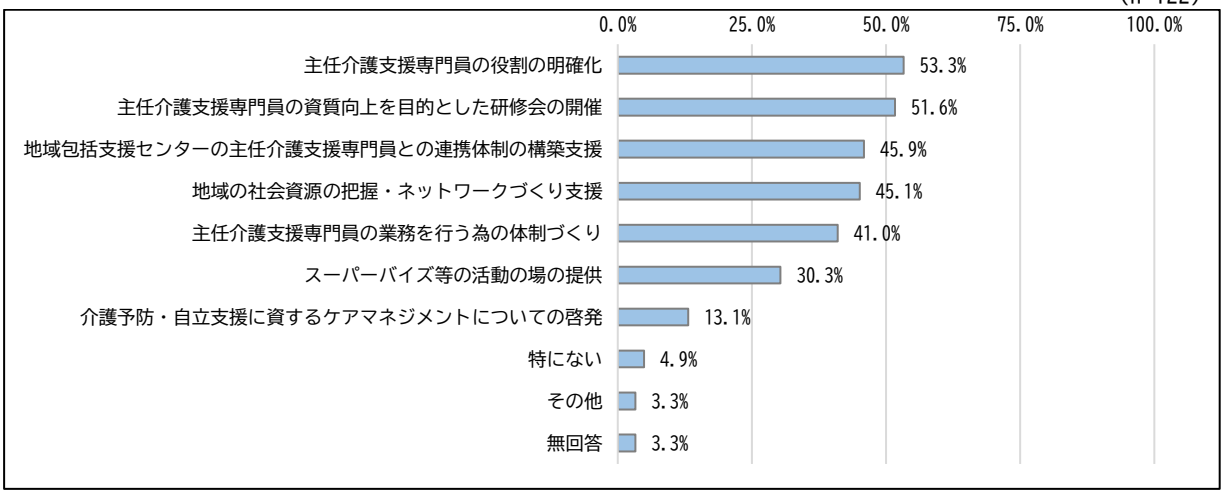


主任介護支援専門員の資格を持っている方のみ、お答えください。

主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。（あてはまる番号すべてに○）

主任介護支援専門員として必要な支援について、「主任介護支援専門員の役割の明確化」が最も多く 53.3%となっており、次いで「主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催」が 51.6%となっています。

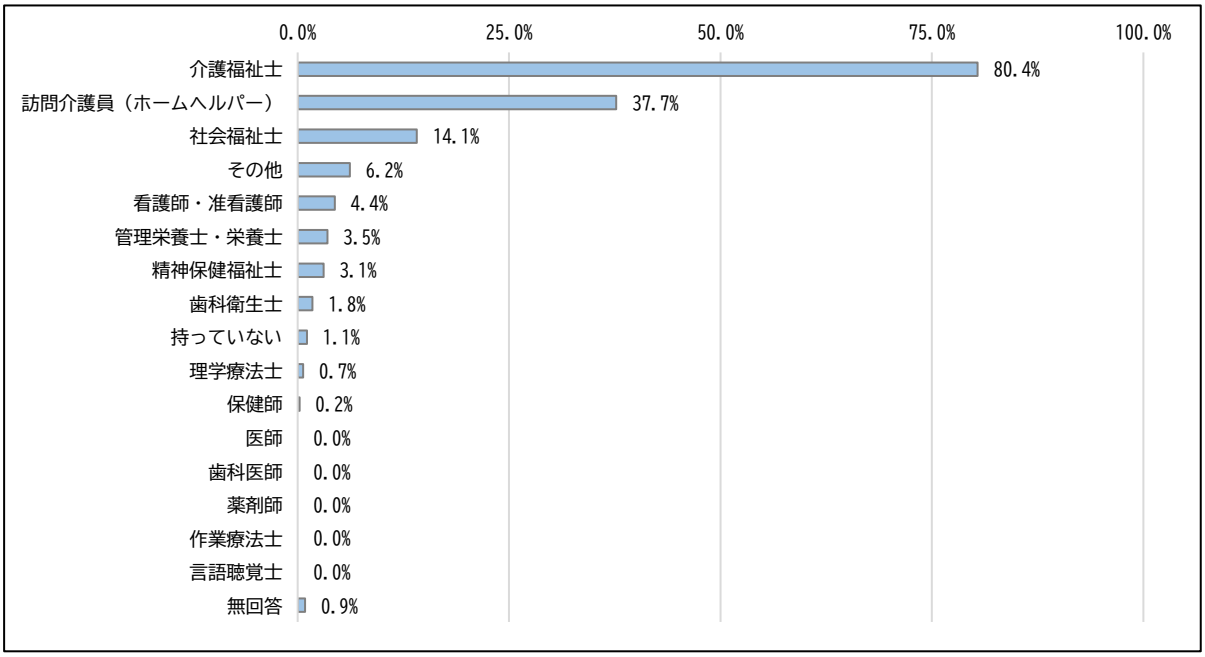
（n=122）




あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（あてはまる番号すべてに○）

介護支援専門員以外に持っている保健医療福祉関係の資格について、「介護福祉士」が最も多く 80.4%と、約８割の方が持っていると回答しています。

（n=454）



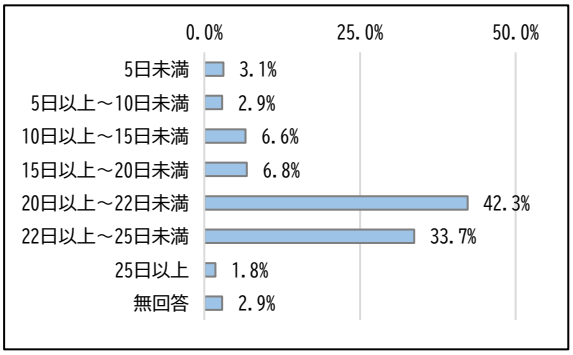

その他・・・社会福祉主事、認知症ケア専門士

現在働いている事業所・施設において、介護支援専門員として勤務する１ヶ月あたりの平均勤務日数、１ヶ月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）、１ヶ月あたりの平均超過勤務時間をお答えください。（おおよその数字を記入）

### ①　１ヶ月あたりの平均勤務日数

１ヶ月あたりの平均勤務日数は 19.4 日となっています。

（n=454）

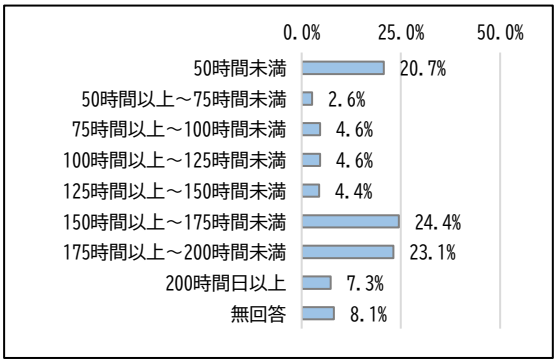



| | 平均日数 |
|---|---|
| １ヶ月あたり勤務日数 | 19.4 日 |

### ②　１ヶ月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）

１ヶ月あたりの平均勤務時間は 145.9 時間となっています。

（n=454）

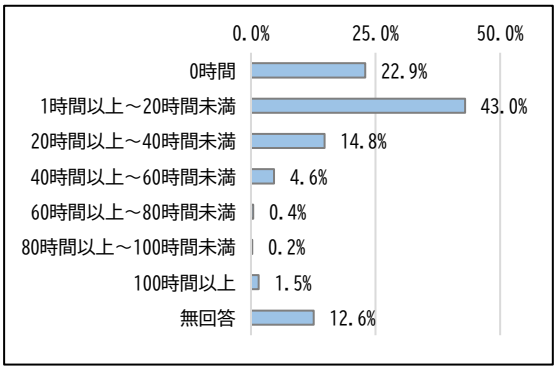



| | 平均時間 |
|---|---|
| １ヶ月あたり勤務時間 | 145.9 時間 |

### ③　１ヶ月あたりの平均超過勤務時間

１ヶ月あたりの平均超過勤務時間は 13.1 時間となっています。

（n=454）

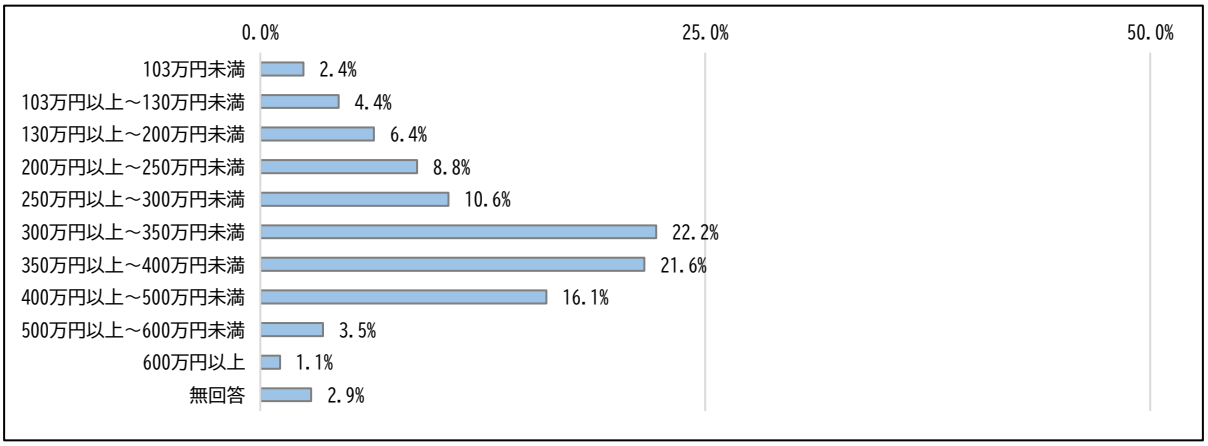



| | 平均時間 |
|---|---|
| １ヶ月あたり超過勤務時間 | 13.1 時間 |

現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が１年未満の方は、１年間の年収を想定してお答えください。（１つの番号に○）

昨年の「年収」について、「300 万円以上～350 万円未満」が最も多く 22.2%となり、次いで「350 万円以上～400 万円未満」が 21.6%となっています。

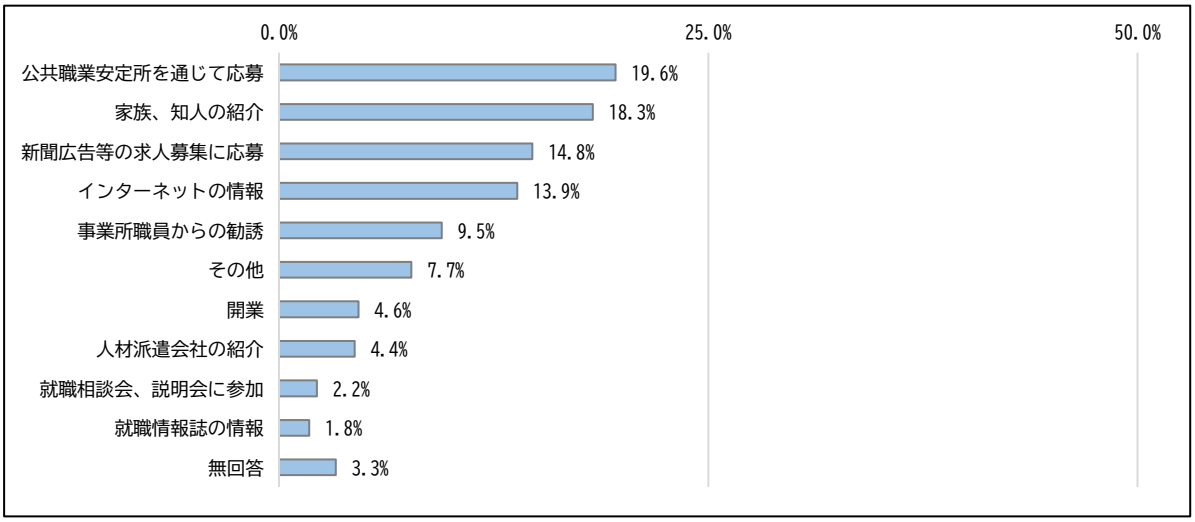
（n=454）




現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけは何ですか。（１つの番号に○）

現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけについて、「公共職業安定所を通じて応募」が最も多く 19.6%となり、次いで「家族、知人の紹介」が 18.3%となっています。

（n=454）

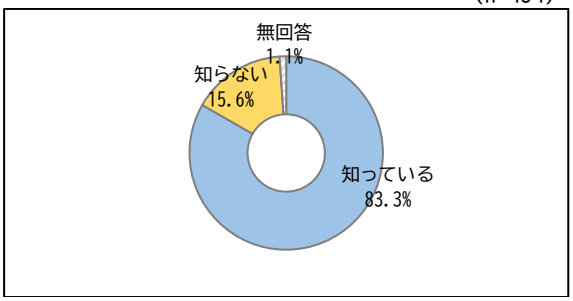



その他・・・近所だった、異動

あなたは松戸市介護支援専門員協議会を知っていますか。（どちらかの番号に○）

松戸市介護支援専門員協議会を「知っている」と回答した割合は 83.3%となっています。

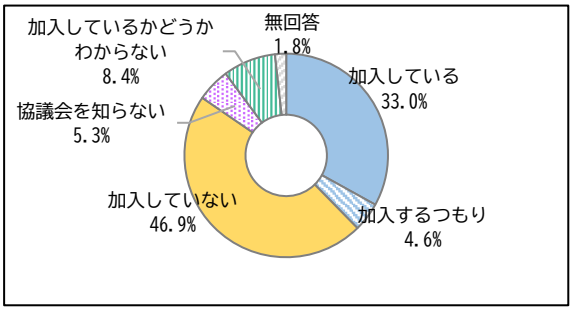
（n=454）




あなたの松戸市介護支援専門員協議会の加入状況についてお答えください。（１つの番号に○）

松戸市介護支援専門員協議会の加入状況について、「加入している」と回答した割合は 33.0%となっている一方、「加入していない」と回答した割合は 46.9%となっています。

（n=454）



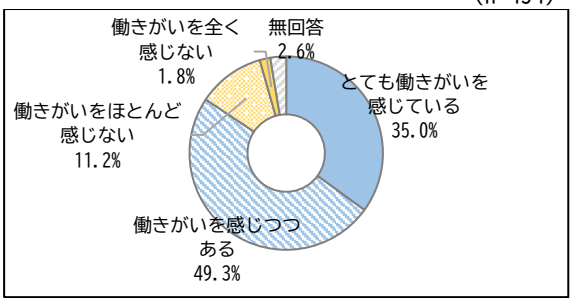
# ２．介護支援専門員業務全般について

## （１）ケアマネジメント業務

あなたは、介護支援専門員の仕事に働きがいを感じていますか。（１つの番号に○）

介護支援専門員の仕事の働きがいについて、「とても働きがいを感じている」が 35.0%、「働きがいを感じつつある」が 49.3%となり、働きがいを感じているとの回答は 84.3%と８割以上となっています。

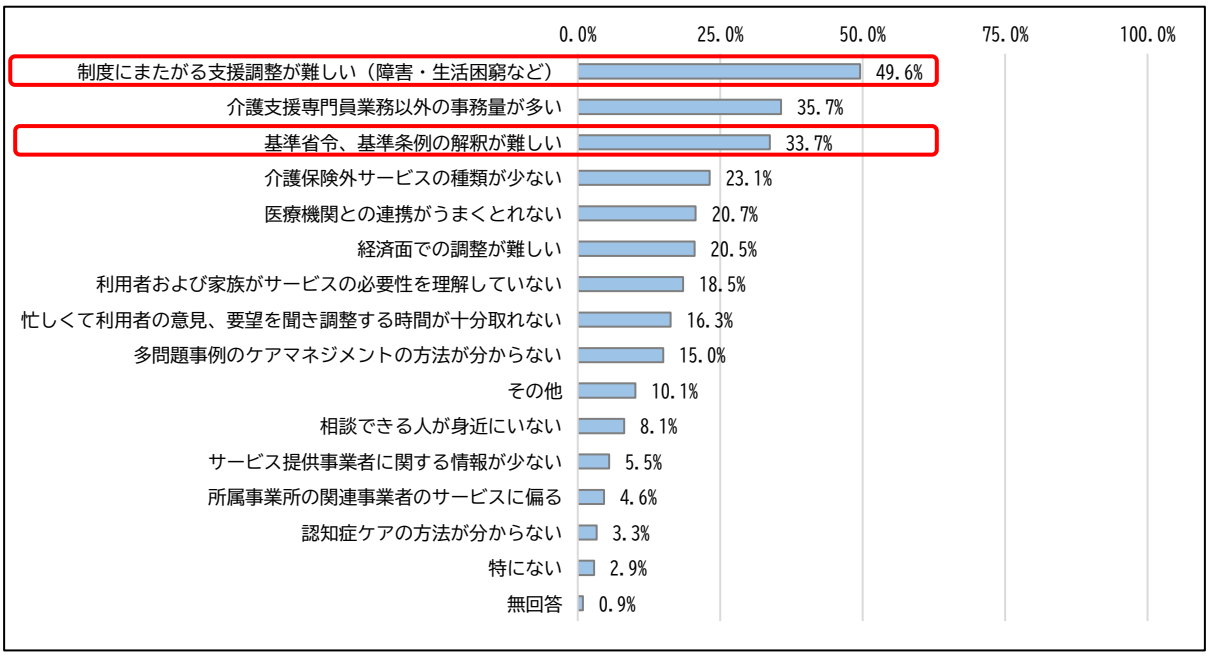
（n=454）




あなたは、ケアマネジメント業務を行う上での課題としてどのようなことをお考えですか。（３つまで番号に○）

ケアマネジメント業務を行う上での課題について「制度にまたがる支援調整が難しい（障害・生活困窮など）」が最も多く 49.6%となっており、次いで「介護支援専門員業務以外の事務量が多い」が 35.7%となっています。また、「基準省令、基準条例の解釈が難しい」が 33.7%となっており、制度に関することの課題意識が多いと言えます。

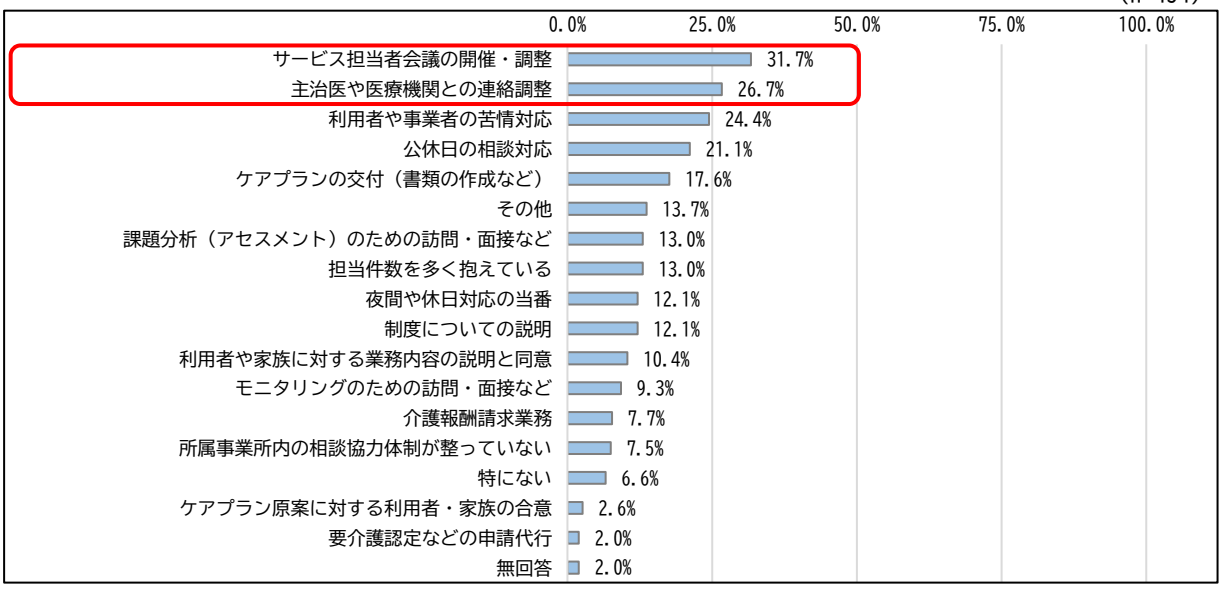
（n=454）



ケアマネジメント業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。（３つまで番号に○）

ケアマネジメント業務の中での負担について「サービス担当者会議の開催・調整」が最も多く 31.7%となっており、次いで「主治医や医療機関との連絡調整」が 26.7%となっています。関係機関との連絡調整が負担と感じている割合が多いと言えます。

（n=454）

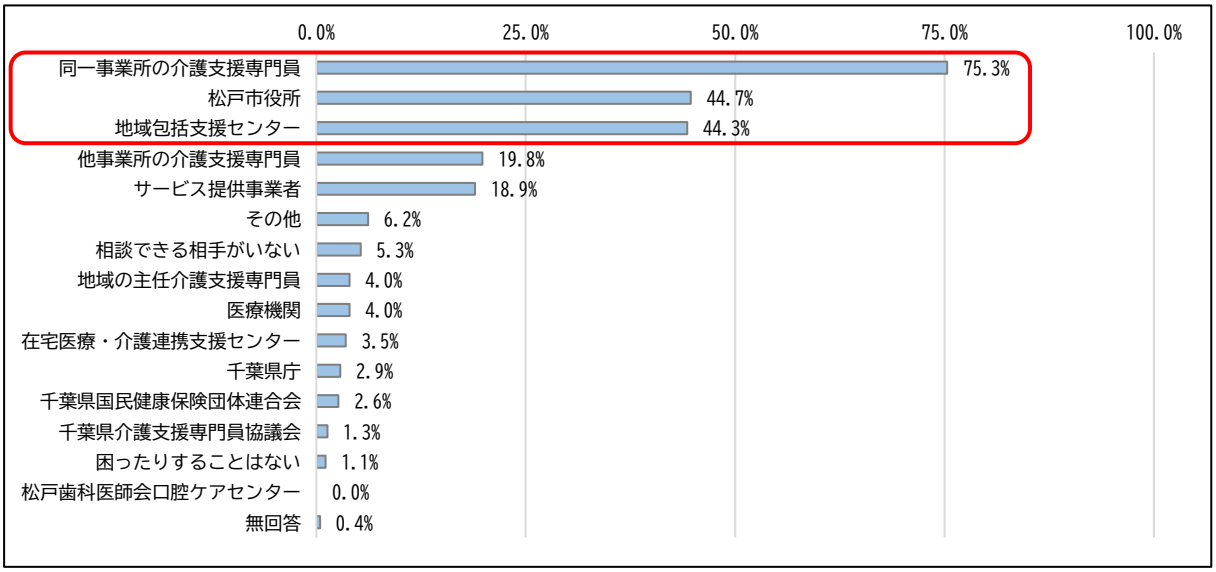



その他・・・書類が多い

ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときに誰に相談しますか。（３つまで番号に○）

ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときの相談相手として「同一事業所の介護支援専門員」が最も多く 75.3%、次いで「松戸市役所」が 44.7%、「地域包括支援センター」が 44.3%となっています。

（n=454）

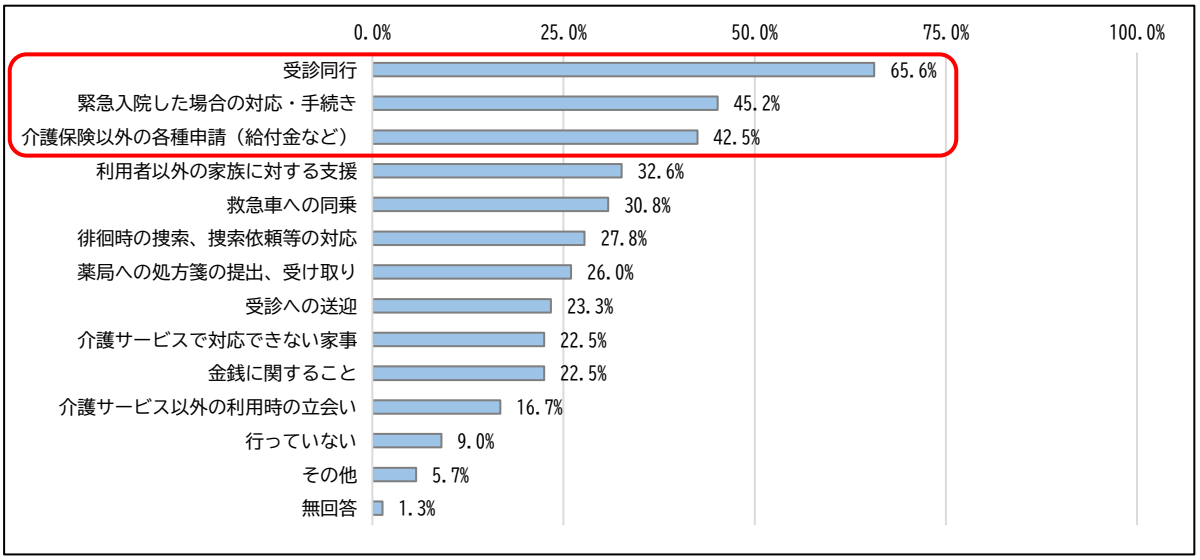



その他・・・上司、看護師

担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

ケアマネジメント業務以外に担当利用者に対し行っている支援について、「受診同行」が最も多く 65.6%となっており、「緊急入院した場合の対応・手続き」が 45.2%、「介護保険以外の各種申請（給付金など）」が 42.5%となるなど、各種手続きに関する支援を行っている割合も高くなっています。

（n=454）

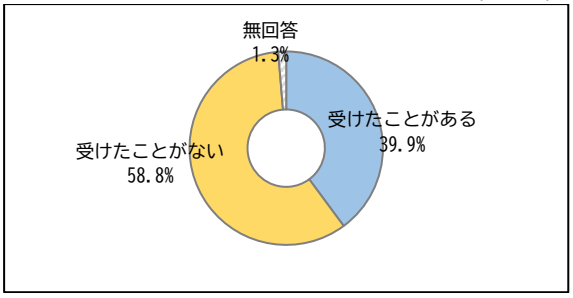



## （２）ハラスメントに関する状況

介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。（どちらかの番号に○）

介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを「受けたことがある」と回答した割合は 39.9%と約４割となっています。

（n=454）

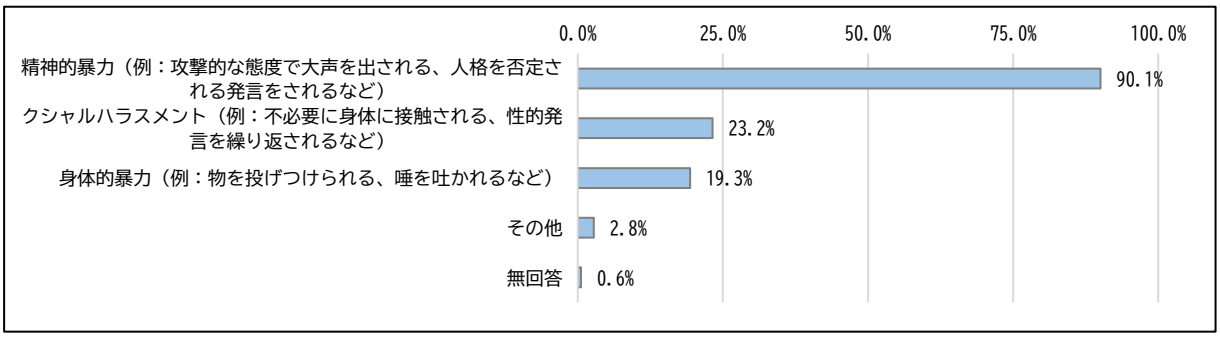


これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことがあると回答した方のみ、お答えください。

その内容として、あてはまるものを教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

利用者や家族から受けたハラスメントの内容について、「精神的暴力」が 90.1%となっています。

（n=181）

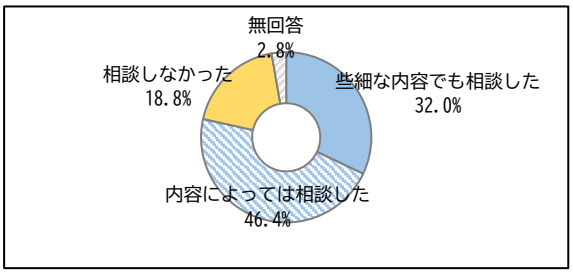



これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことがあると回答した方のみ、お答えください。

その際の相談状況を教えてください。（１つの番号に○）

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談状況について、「相談しなかった」と回答した割合が 18.8%となっています。

（n=181）

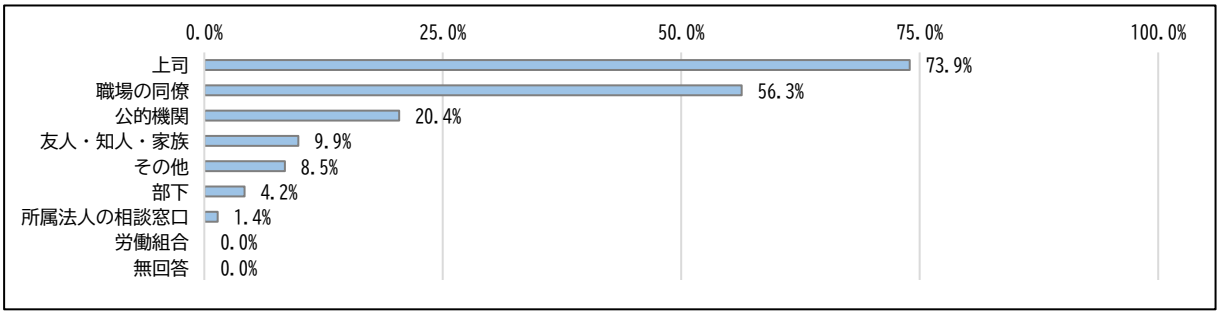



利用者や家族からハラスメントを受けた際に相談したと回答した方のみ、お答えください。

その際に相談した相手を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談相手として「上司」が最も多く 73.9%となっています。

（n=142）



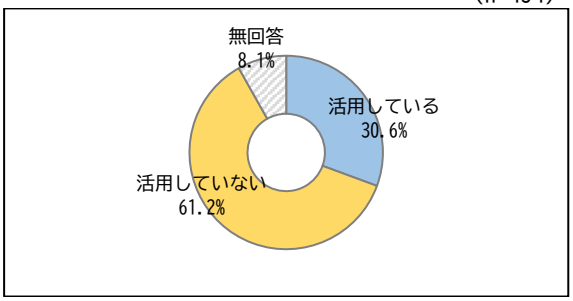
## （３）ＩＣＴの活用状況

以下のケアマネジメント業務における、ＩＣＴ（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）の活用状況についてお答えください。

ケアマネジメント業務における、ＩＣＴ活用状況は以下の通りとなっており、「給付管理」については 62.1%が活用していますが、「利用者のアセスメント」や「ケアプラン作成」、「モニタリング監理」については約５割が活用し、「サービス事業所への連絡」や「サービス担当者会議の情報共有」といった他機関との連絡や情報共有については約３割の活用にとどまっています。

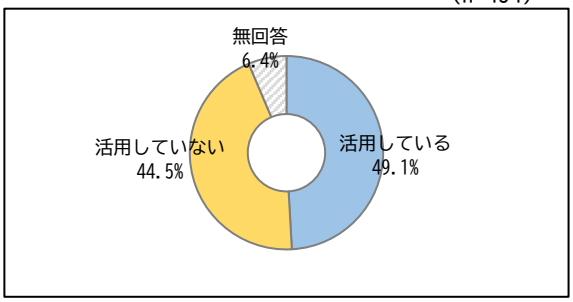
### ① 利用者・家族からの相談受付業務

（n=454）



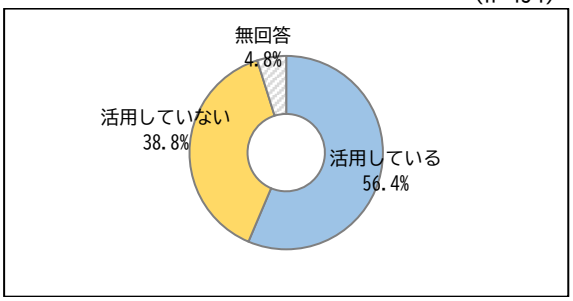

### ② 利用者のアセスメント

（n=454）



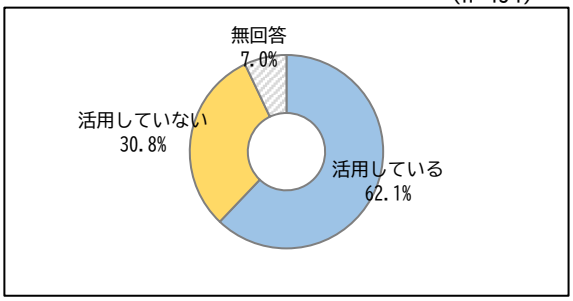

### ③ ケアプラン作成

（n=454）



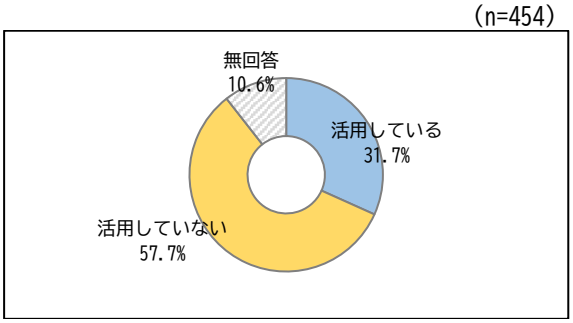

### ④　給付管理

（n=454）



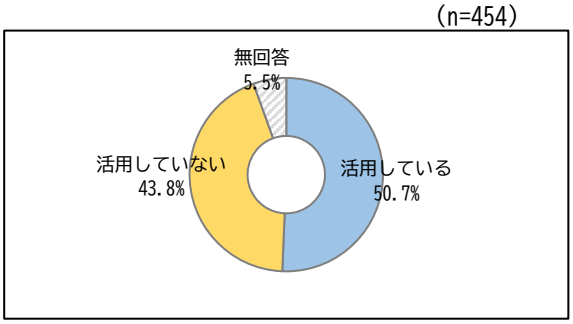

### ⑤ サービス事業所への連絡（提供票の配信含む）

（n=454）



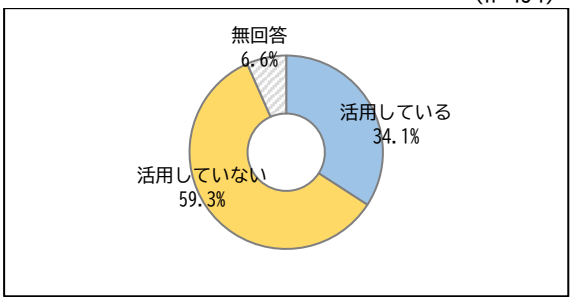

### ⑥ モニタリング管理

（n=454）



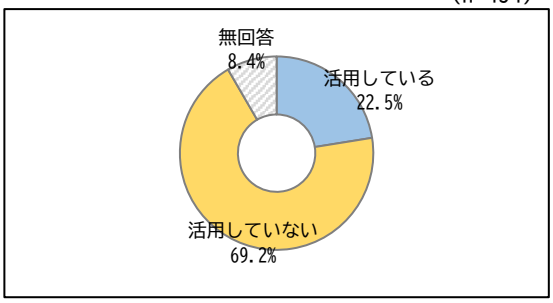
⑦ サービス担当者会議の情報共有

（n=454）




⑧ 医療機関との連携

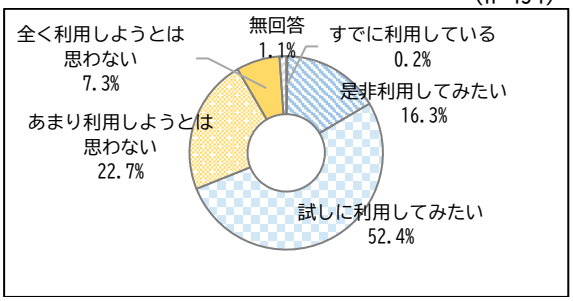
（n=454）




「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成にあたり、人工知能（AI）を活用したケアプランソフトウェアを利用してみたいと思いますか。

人工知能（AI）を活用したケアプランソフトウェアの利用意向について、「試しに利用してみたい」が 52.4%と最も多く、「すでに利用している」「是非利用してみたい」を含めた「利用してみたい」との意向については 68.9%と約７割となっています。

（n=454）



# ３．ケアプランの作成状況等について

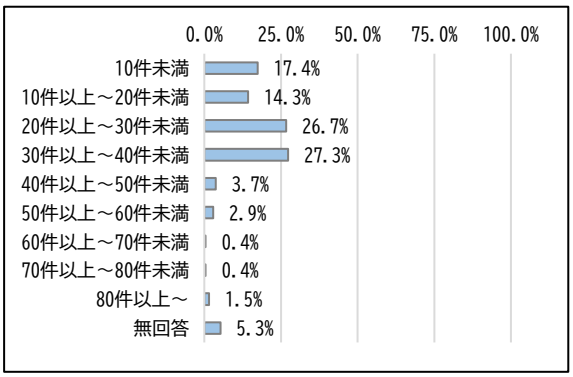
## （１）ケアプラン作成状況

令和２年３月の担当ケアプラン件数（実績）を介護・予防それぞれにお答えください。（数字を記入）

令和 2 年３月の担当ケアプラン件数について介護ケアプランの平均件数は 25.2 件、予防ケアプランの平均件数は 7.6 件となっています。

### ①　介護ケアプラン

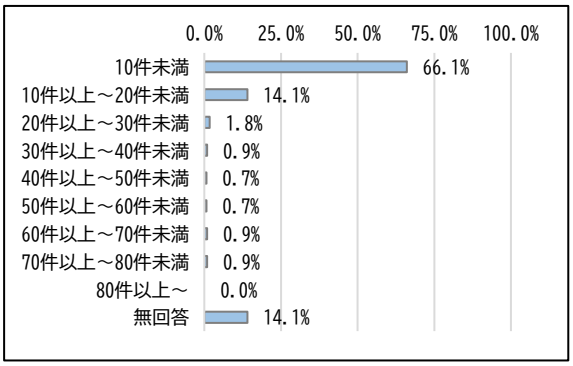
（n=454）




| | 平均件数 |
|---|---|
| 担当ケアプラン件数（介護） | 25.2 件 |

### ②　予防ケアプラン（要支援者・事業対象者）

（n=454）

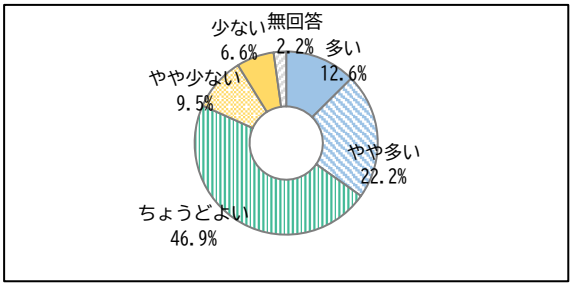



| | 平均件数 |
|---|---|
| 担当ケアプラン件数（予防） | 7.6 件 |

現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。（１つの番号に○）

現在担当しているケアプラン件数について、「ちょうどよい」と回答した割合は 46.9%となる一方、「多い」「やや多い」と回答した割合は 34.8%となっています。

（n=454）

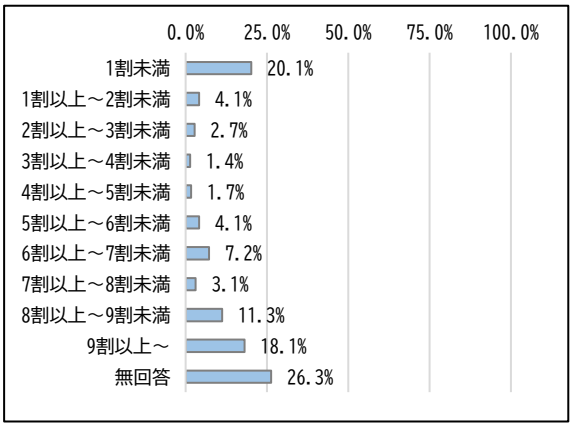


居宅介護支援事業所に勤務する方のみ、お答えください。

平成 31 年 ４月から令和元年 12 月までの現在担当しているケアプランに対する以下の各加算の取得割合についてお答えください。

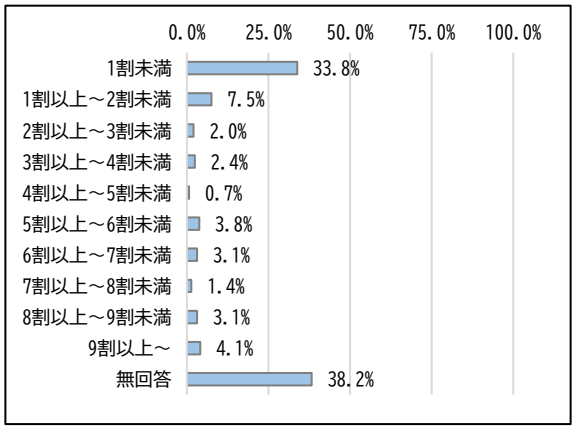
### ① 入院時情報連携加算

（n=293）



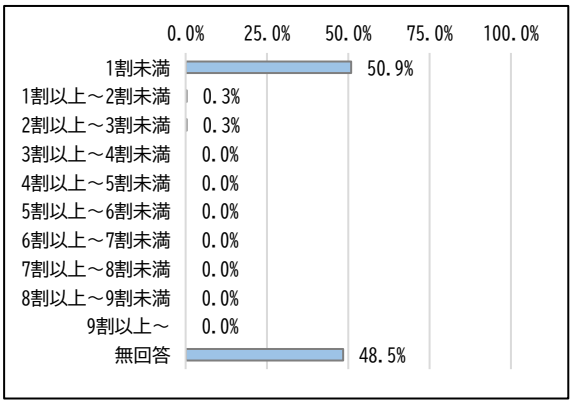

### ② 退院・退所加算

（n=293）



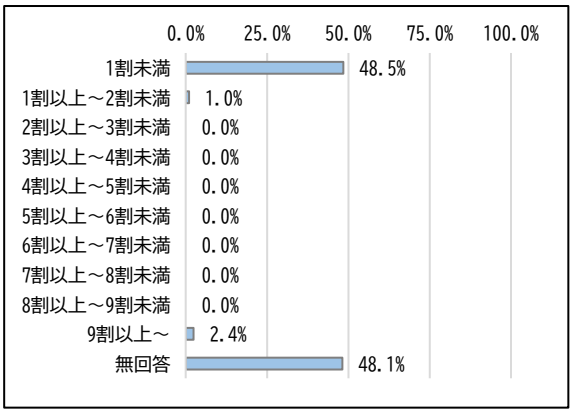

### ③ 緊急時等居宅カンファレンス加算

（n=293）



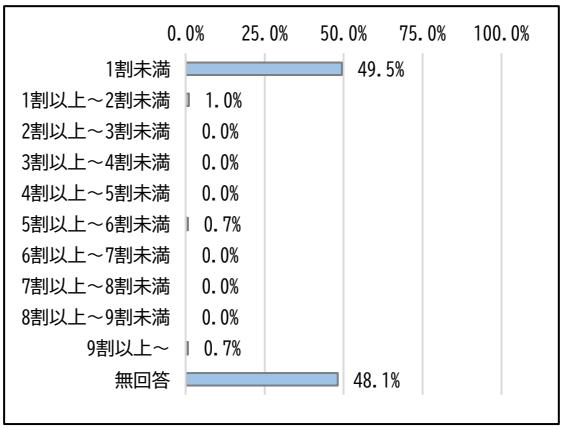

### ④ 小規模多機能型居宅介護事業所連携加算

（n=293）



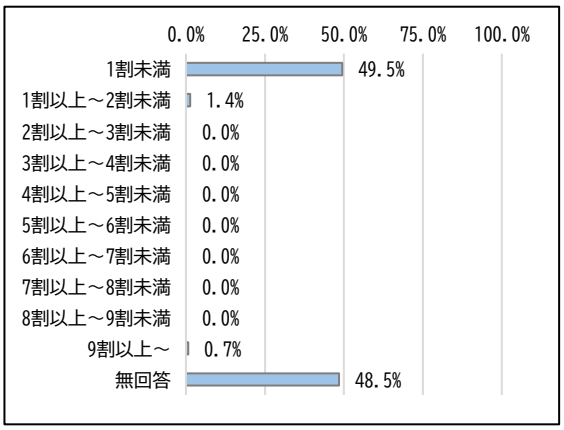

### ⑤ 看護小規模多機能型居宅介護事業所連携加算

（n=293）




### ⑥ ターミナルケアマネジメント加算

（n=293）

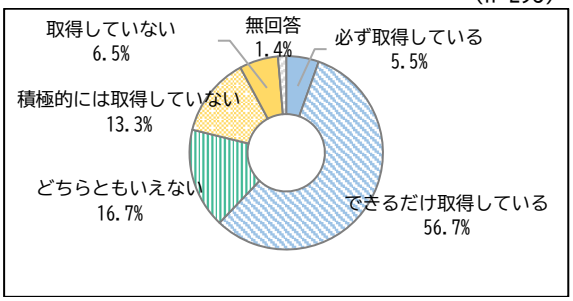


居宅介護支援事業所に勤務する方のみ、お答えください。

あなたは、現在担当しているケアプランに対する加算の取得について、どのようにお考えですか。（１つの番号に○）

ケアプランに対する加算の取得について「できるだけ取得している」と回答した割合が最も高く 56.7%となっています。

（n=293）




その理由は何ですか。（記載）

「必ず取得している」「できるだけ取得している」

・事業所の収益のため
・事業所のとりきめ

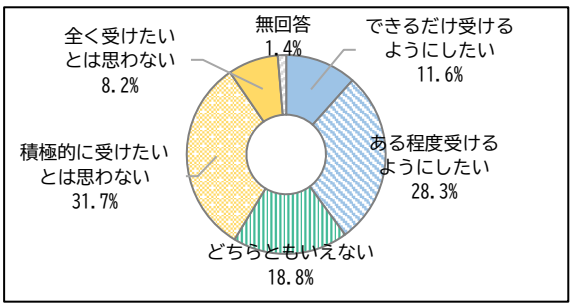
「積極的には取得していない」「取得していない」

・加算の要件の判断が難しいため
・手間がかかるため

あなたは、地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、どのようにしたいとお考えですか。（１つの番号に○）

地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて「できるだけ受けるようにしたい」「ある程度受けるようにしたい」と回答した割合が 39.9%、「積極的に受けたいとは思わない」「全く受けたいとは思わない」と回答した割合も 39.9%となり、受けることの思いについて半々となっています。

（n=293）



その理由は何ですか。（記載）

「できるだけ受けるようにしたい」「ある程度受けるようにしたい」

・必要としているかたの役に立ちたい

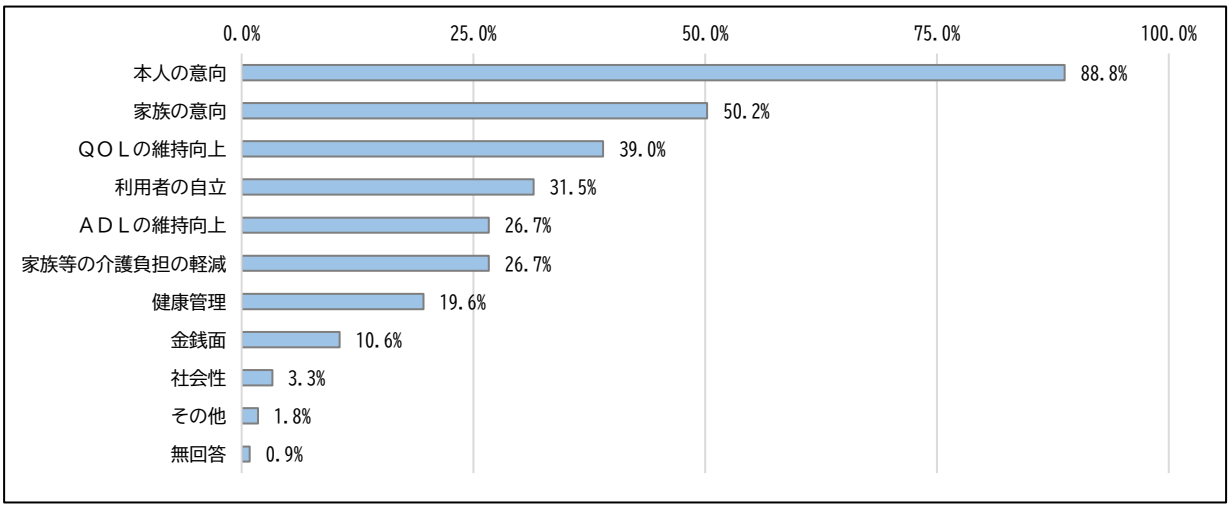
「積極的には取得していない」「取得していない」

・労力に対して報酬が少ない
・手間がかかるため
・予防のシステムが便いづらい
・会社の方針

ケアプランの作成にあたり、優先していることは何ですか。（優先度が高いもの３つまで番号に○）

ケアプランの作成にあたり、優先していることについて、「本人の意向」が 88.8%、「家族の意向」が 50.2%となっています。

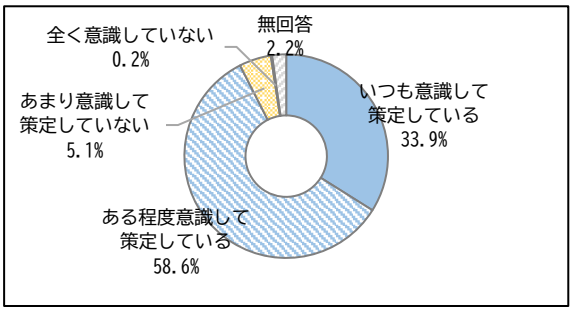
（n=454）




「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃どの程度意識して策定にあたっていますか。（１つの番号に○）

「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、「いつも意識して策定している」と回答した割合は 33.9%、「ある程度意識して策定している」は 58.6%と９割以上の方が意識して策定しています。

（n=454）

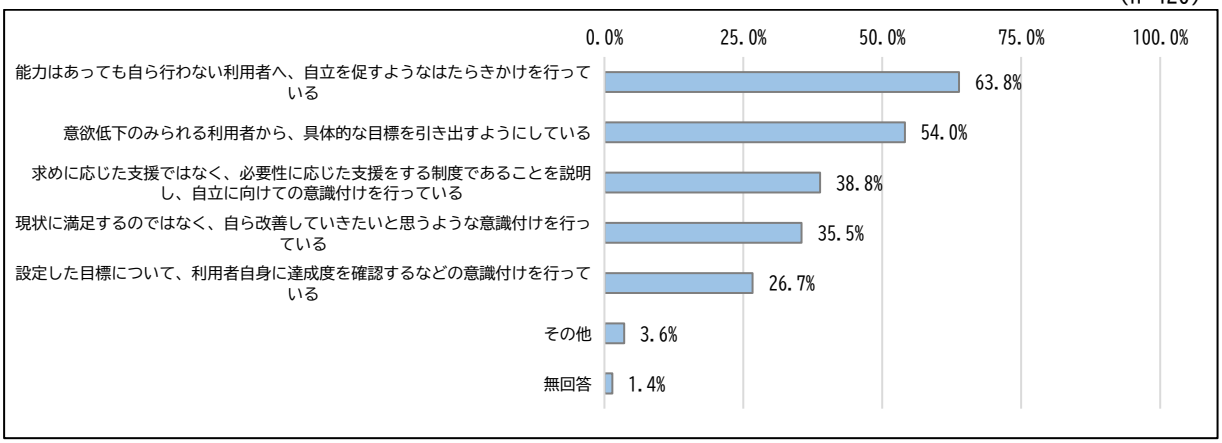


「自立支援」「重度化防止」を意識して策定していると回答した方のみ、お答えください。

主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成にあたり、「能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている」と回答した割合は 63.8%となっています。

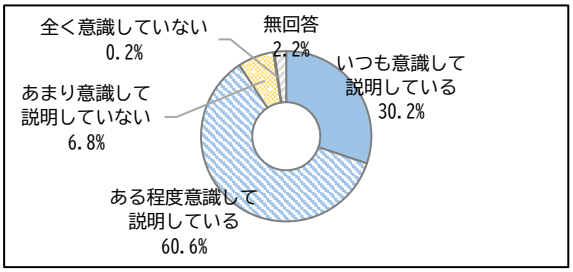
（n=420）




日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、そのための介護を行うことについて説明を行っていますか。（１つの番号に○）

日常生活の自立に向けた介護を行うことについて「いつも意識して説明している」と回答した割合は 30.2%となっています。

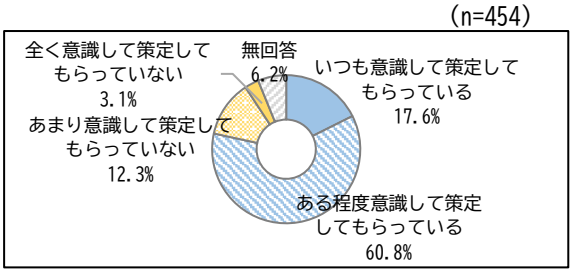
（n=454）




介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を説明し、介護事業者に自立支援・重度化防止を意識した個別介護計画を策定してもらっていますか。

介護事業者に自立支援・重度化防止を意識した個別介護計画を「いつも意識して策定してもらっている」と回答した割合は 17.6%となっています。

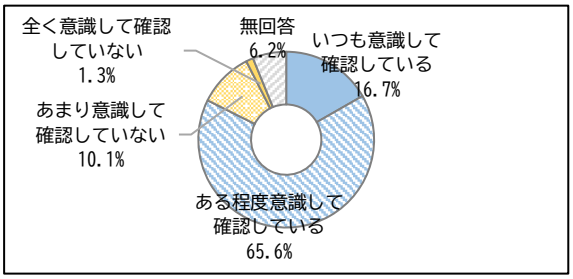
（n=454）



介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標が達成されるような介護が、介護事業所で行われているか確認していますか。（１つの番号に○）

介護事業者に対して、日常生活の自立に向けた介護が行われているかを「いつも意識して確認している」と回答した割合は 16.7%となっています。

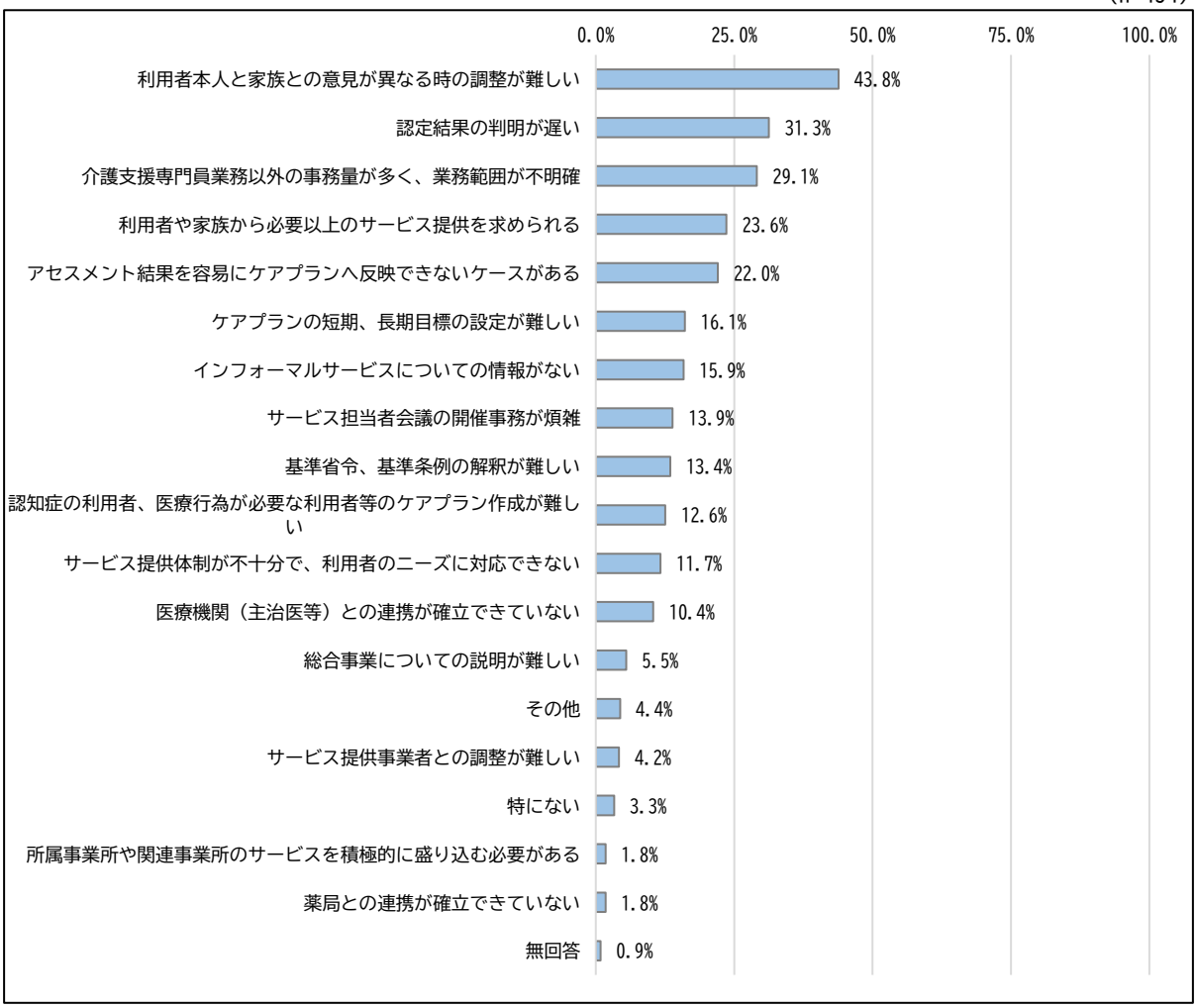
（n=454）




あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。（３つまで番号に○）

ケアプランの作成に際し、特に困っている、あるいは困ったことについて「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整が難しい」が最も多く 43.8%となっています。また、「認定結果の判明が遅い」ことについても 31.3%となっています。

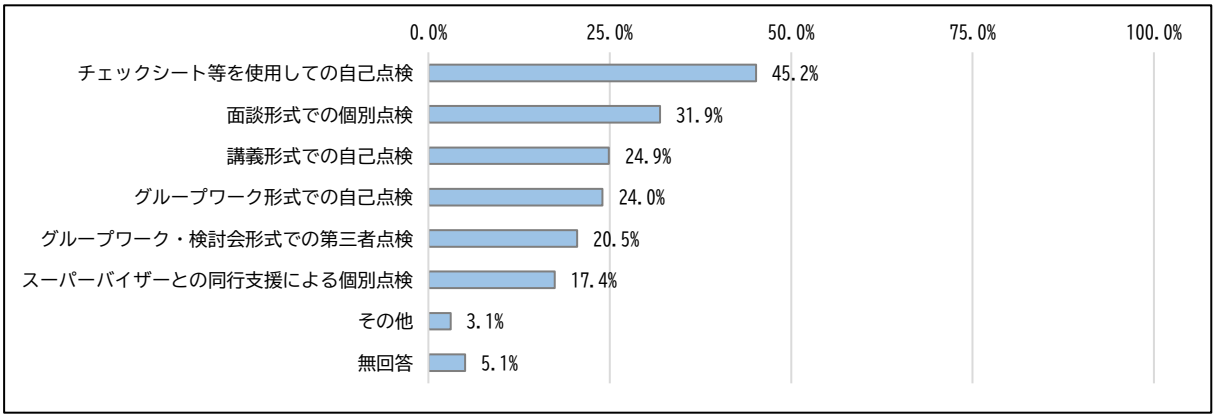
（n=454）



自立支援に資するケアマネジメントとは何か等、介護支援専門員としての「気づき」を支援する「ケアプラン点検」について、どのような機会を期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「ケアプラン点検」に期待する機会について、「チェックシート等を使用しての自己点検」が最も多く 45.2%となっています。

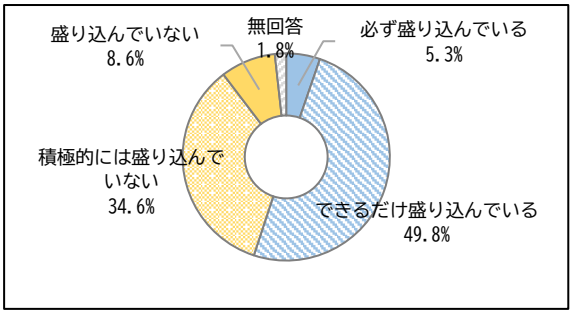
（n=454）




ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいますか。（１つの番号に○）

ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに「必ず盛り込んでいる」と回答した割合は 5.3%となり、「できるだけ盛り込んでいる」と回答した割合は 49.8%となっています。

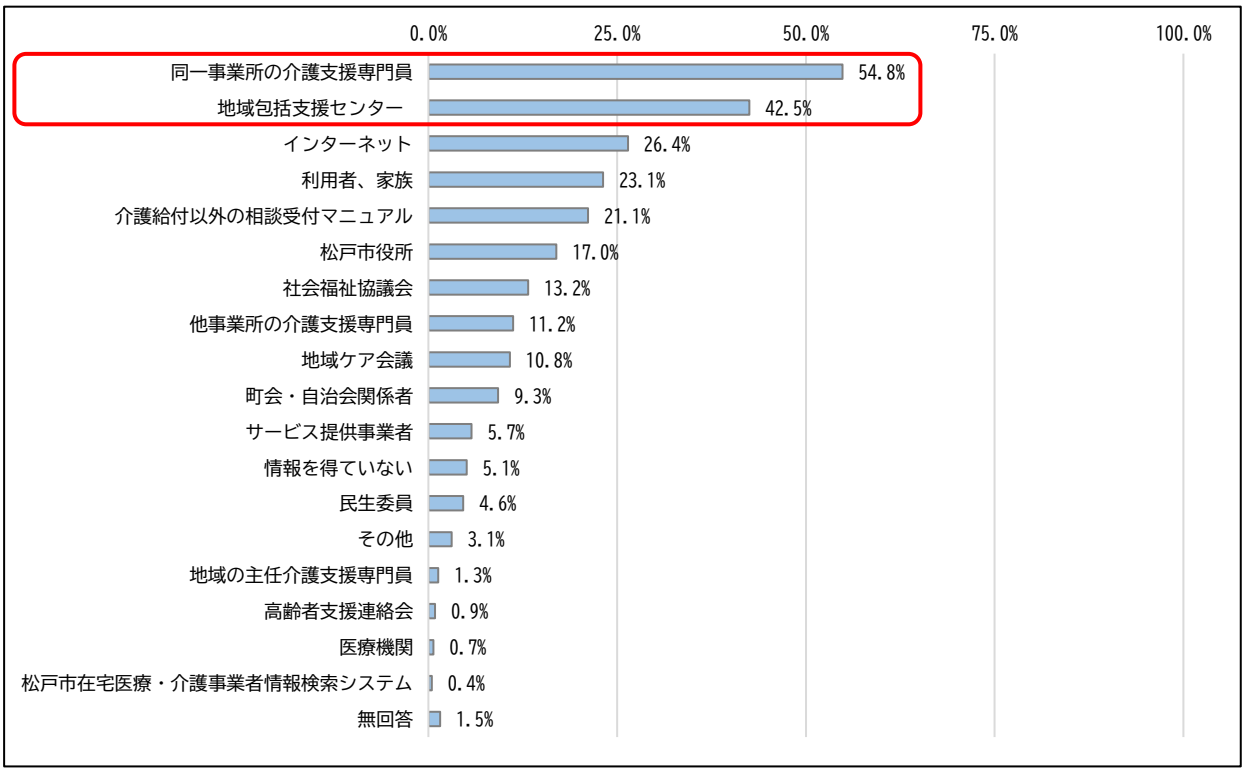
（n=454）



ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報をどこから得ていますか。（３つまで番号に○）

インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報入手先として「同一事業所の介護支援専門員」が最も多く 54.8%となり、次いで「地域包括支援センター」が 42.5%となっています。

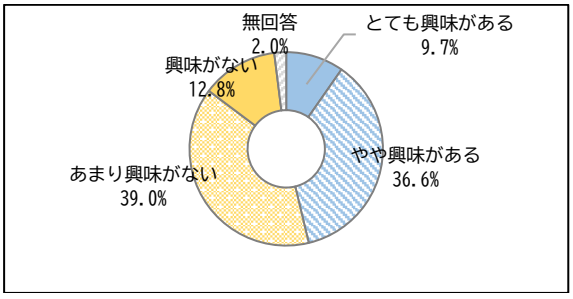
（n=454）




介護支援専門員地域同行型研修について、どのようにお考えですか。（１つの番号に○）

介護支援専門員地域同行型研修について「とても興味がある」と回答した割合は 9.7%、「やや興味がある」と回答した割合は 36.6%となり、興味があると回答した割合が、46.3%となっています。

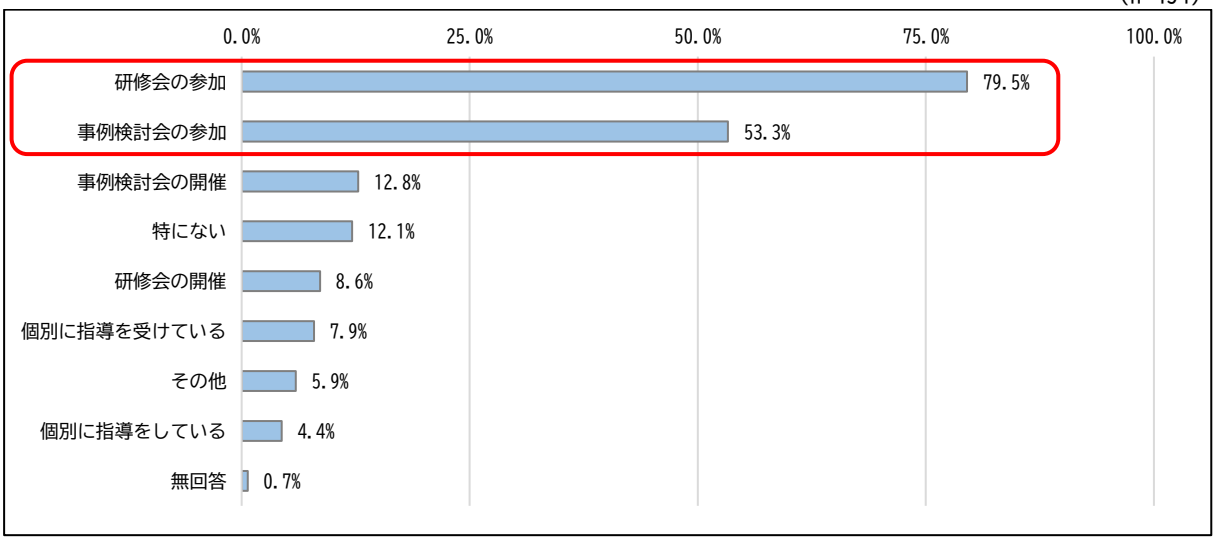
（n=454）



介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることはありますか。（主な取り組み３つまで番号に○）

介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることについて、「研修会の参加」が最も多く 79.5%となり、次いで「事例検討会の参加」が 53.3%となっています。

（n=454）



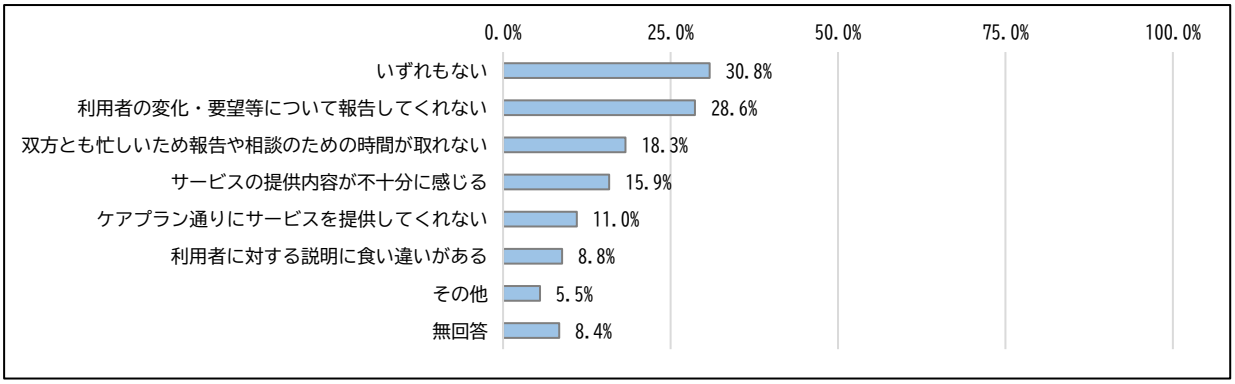
# ４．居宅サービス事業者等との関わりについて

## （１）サービス事業者の状況

サービス事業者との関係で苦慮していることはありますか。（２つまで番号に○）

サービス事業者との関係で苦慮していることについて「いずれもない」と回答した割合が最も多く 30.8%となり、次いで「利用者の変化・要望等について報告してくれない」が 28.6%となっています。

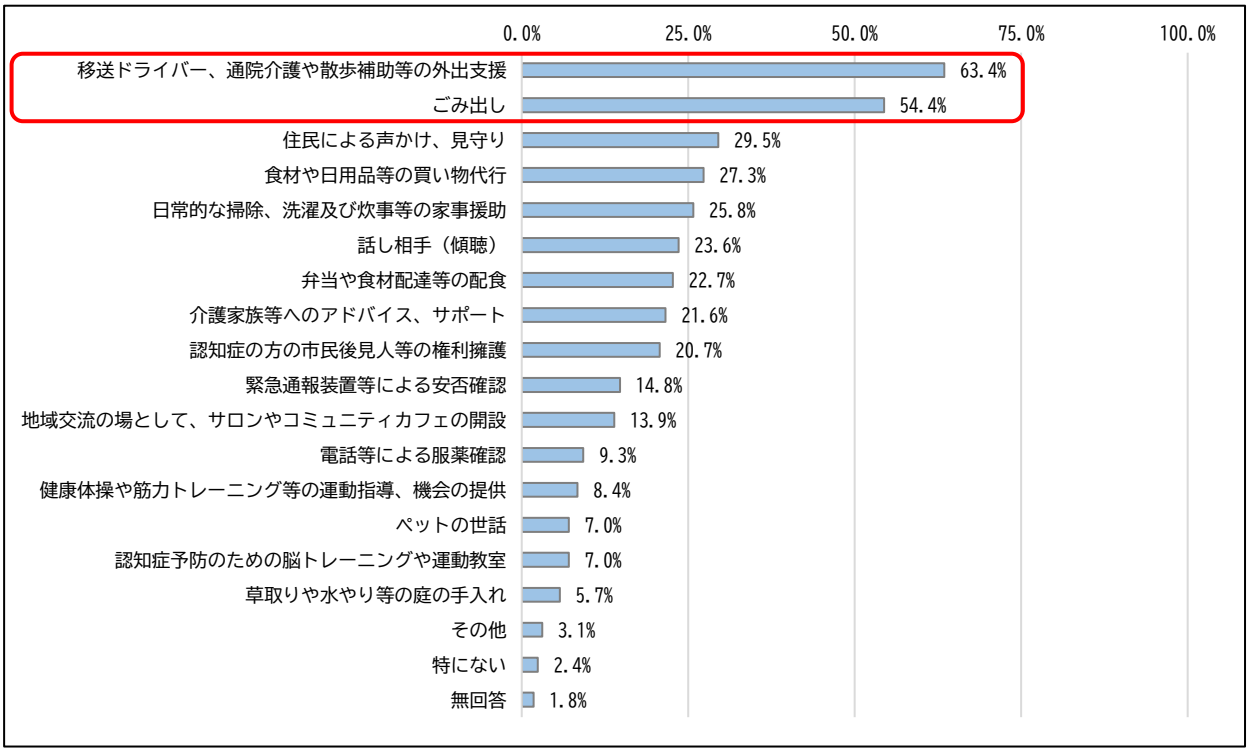
（n=454）




今後、高齢になっても住み慣れた地域（在宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。（４つまで番号に○）

地域において特に必要と思う生活支援について、「移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援」が最も多く 63.4%となり、次いで「ごみ出し」が 54.4%となっています。

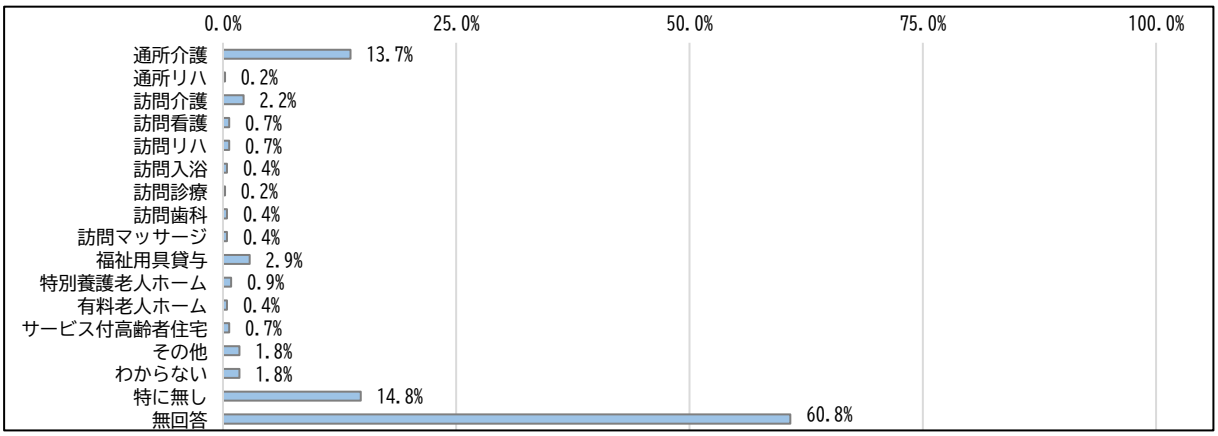
（n=454）



現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「供給過多である」と思う介護保険サービスをお答えください。（記載）

現在の松戸市における介護保険サービスで「供給過多である」と思う介護保険サービスについて、「特になし」と回答した割合が 14.8%となる一方、「通所介護」が 13.7%となっています。

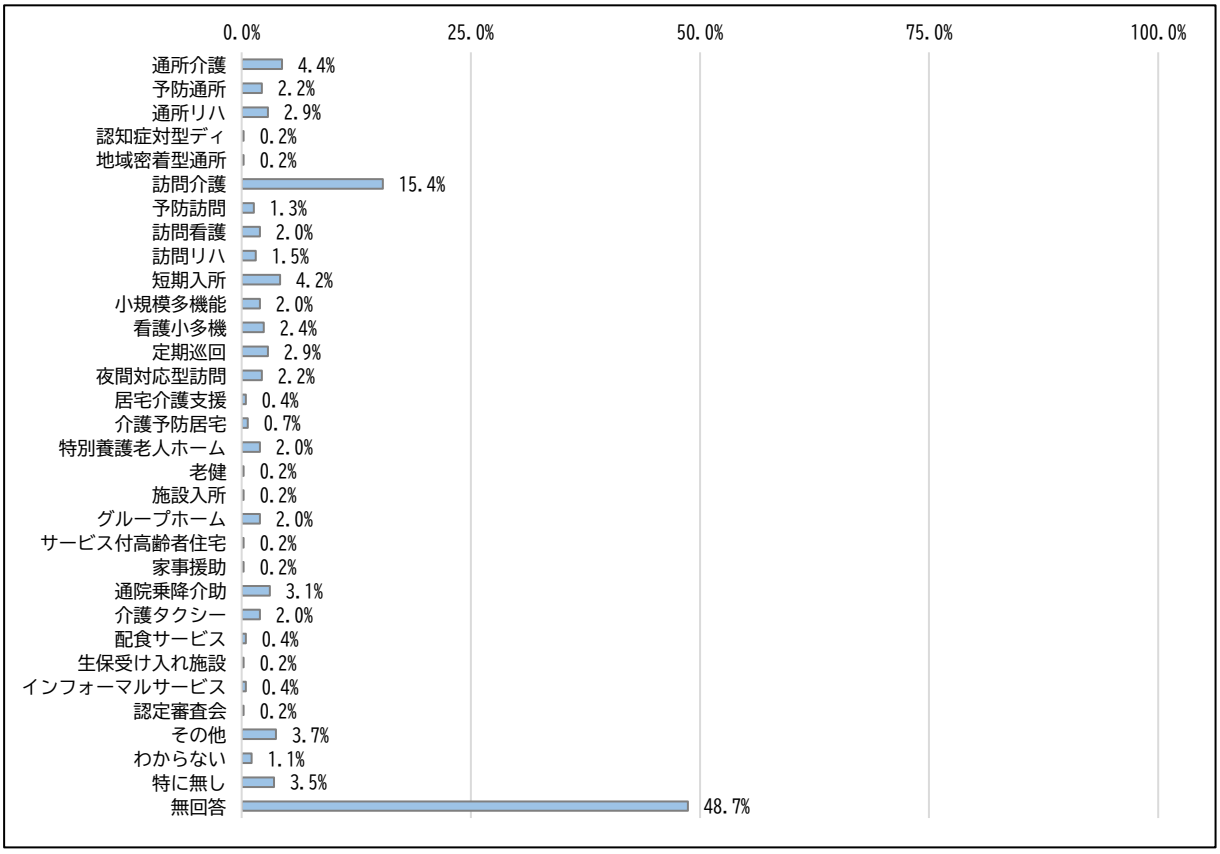
（n=454）




現在の松戸市における介護保険サービスの需要と供給のバランスで「需要を満たしていない」と思う介護保険サービスをお答えください。（記載）

現在の松戸市における介護保険サービスで「需要を満たしていない」と思う介護保険サービスについて、「訪問介護」が 15.4%となっています。

（n=454）



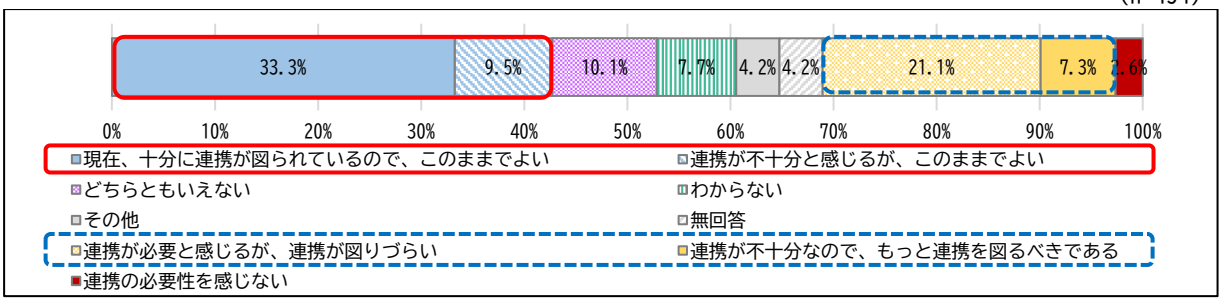
# ５．地域連携について

## （１）地域包括支援センターとの連携の状況

地域包括支援センターとの連携について、どのようにお考えですか。（１つの番号に○）

地域包括支援センターとの連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は 33.3%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は 42.8%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は 21.1%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は 28.4%となっています。

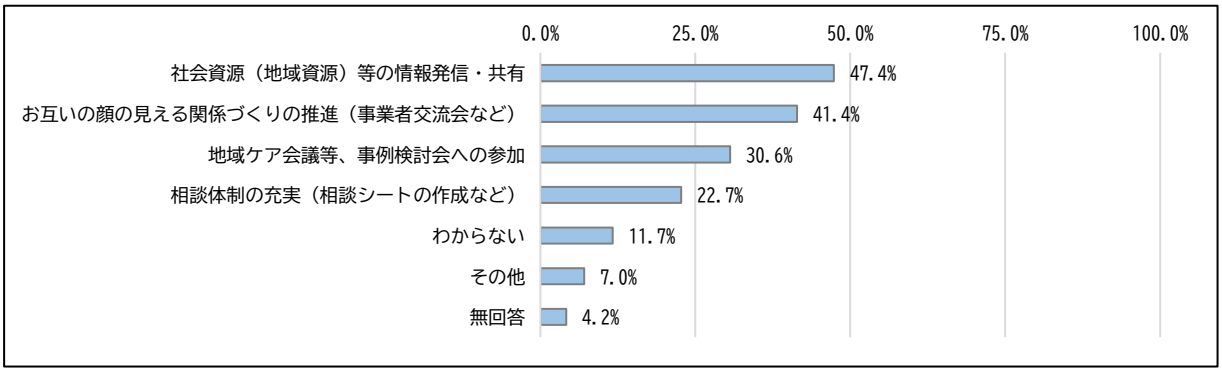
（n=454）




地域包括支援センターとの連携を図るためには、特に何が必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

地域包括支援センターとの連携を図るために特必要なことについて、「社会資源（地域資源）等の情報発信・共有」が最も多く 47.4%となっています。

（n=454）

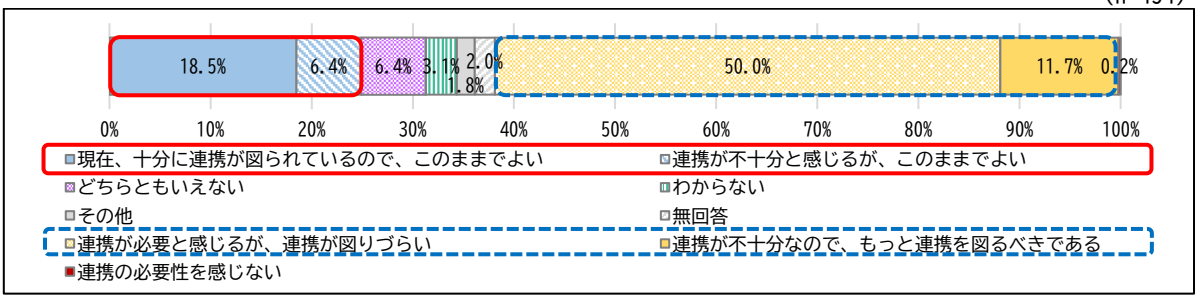


## （２）医療と介護の連携状況

医療と介護の連携について、どのようにお考えですか。（１つの番号に○）

医療と介護の連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は 18.5%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は 24.9%となっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は 50.0%と半数となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は 61.7%と６割を超えています。

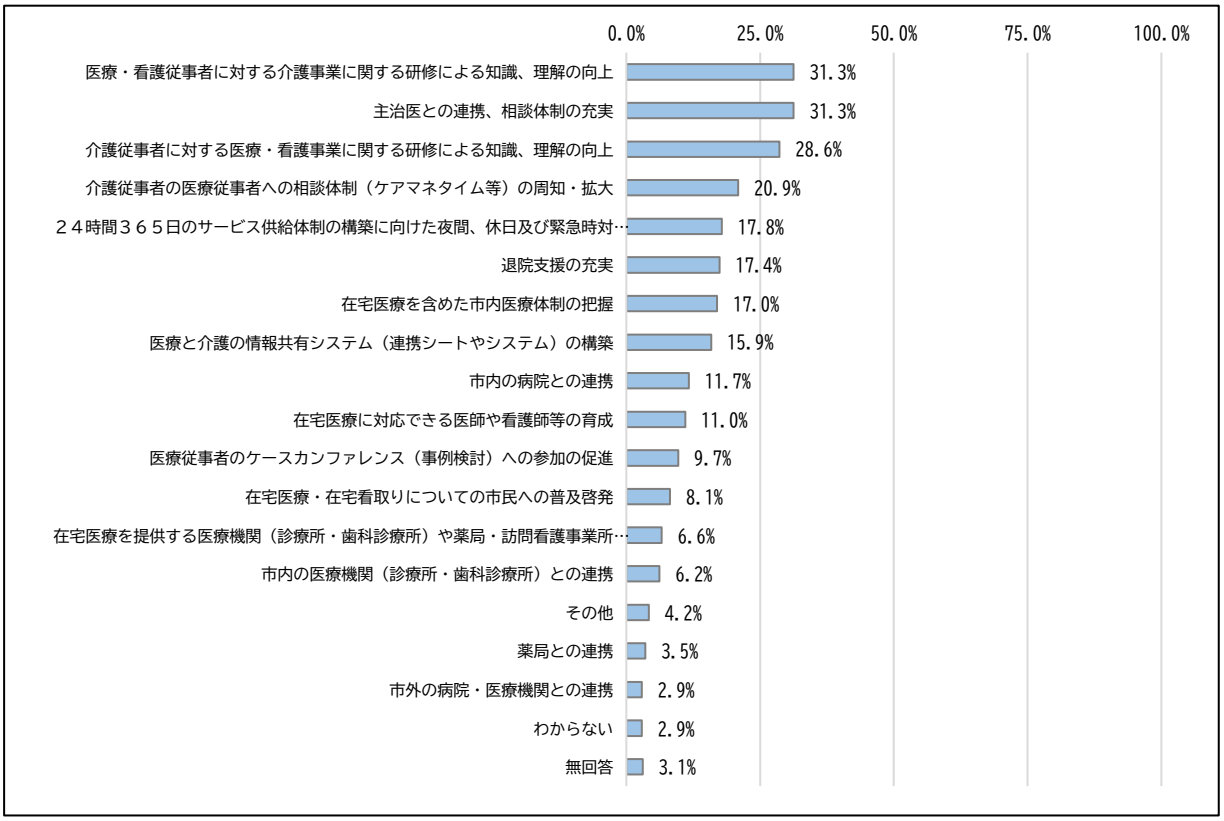
（n=454）




医療と介護の連携を図るために、課題と感じていることは何ですか。（３つまで番号に○）

医療と介護の連携を図るために課題と感じていることとして、「医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上」「主治医との連携、相談体制の充実」が最も多く 31.3%となっています。

（n=454）

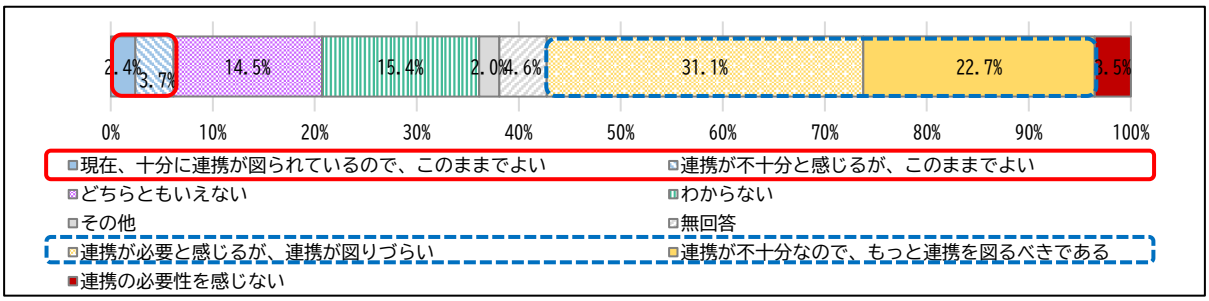


## （３）他分野との連携状況

他分野（障害・児童等）との連携についてどのようにお考えですか。（１つの番号に○）

他分野（障害・児童等）との連携について、「現在、十分に連携が図られているので、このままでよい」と回答した割合は 2.4%となっており、「連携が不十分と感じるが、このままでよい」を含め「このままでよい」と回答した割合は 6.1%にとどまっています。一方、「連携が必要と感じるが、連携が図りづらい」と回答した割合は 31.1%となっており、「連携が不十分なので、もっと連携を図るべきである」を含め「もっと連携を図る必要がある」と回答した割合は 53.8%と半数を超えています。

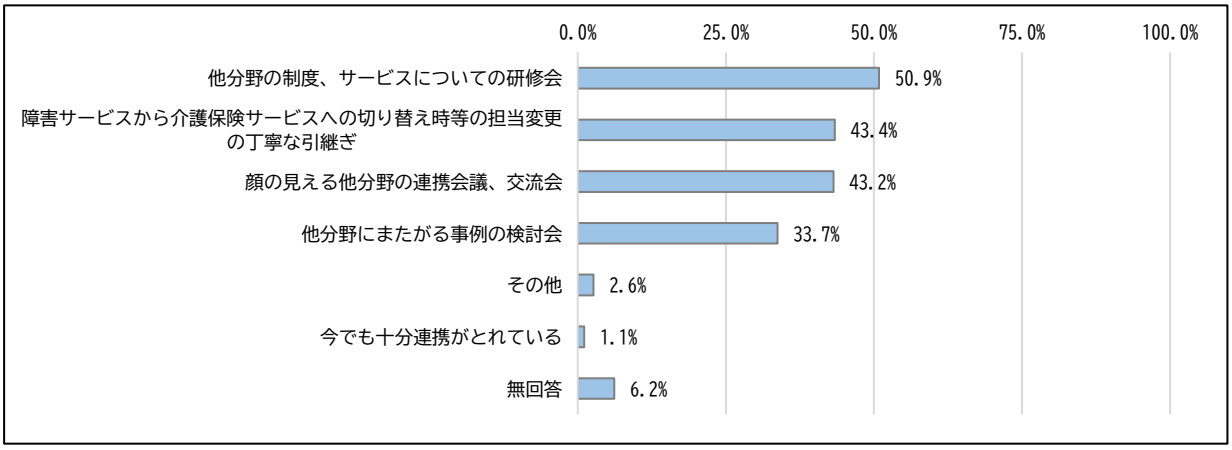
（n=454）




他分野との連携をより深めるには特に何が必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

他分野との連携をより深めるために特必要なこととして「他分野の制度、サービスについての研修会」が最も多く 50.9%となっています。

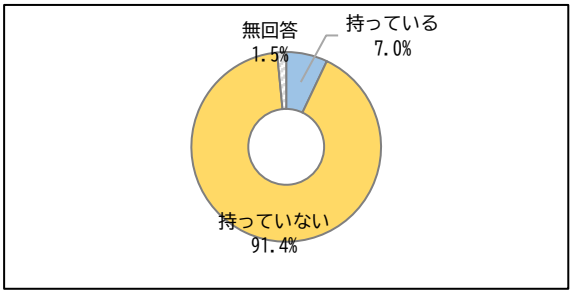
（n=454）



あなたは、相談支援専門員の資格を持っていますか。（どちらかの番号に○）

相談支援専門員の資格について、「持っている」と回答した割合は 7.0%となっています。

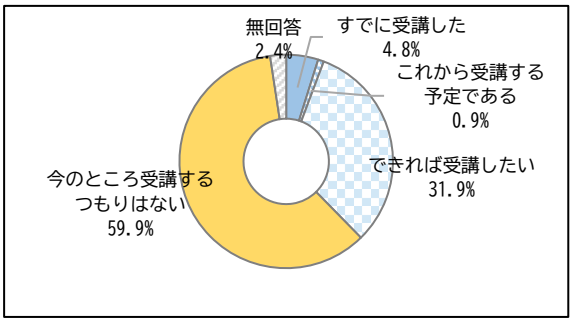
（n=454）




相談支援専門員研修について受講する予定はありますか。（１つの番号に○）

相談支援専門員研修について、「できれば受講したい」と回答した割合は 31.9%となっています。

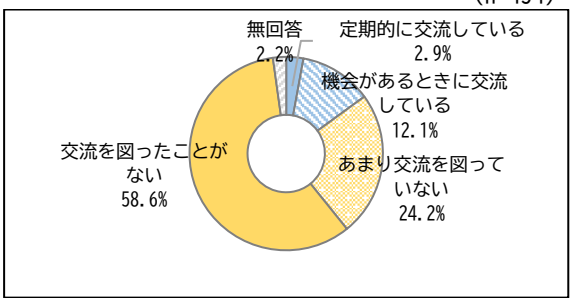
（n=454）




地域の相談支援専門員の方と積極的に情報交換するなど、交流を図っていますか。（１つの番号に○）

地域の相談支援専門員の方と「交流を図ったことがない」と回答した割合は 58.6%と約６割となっています。

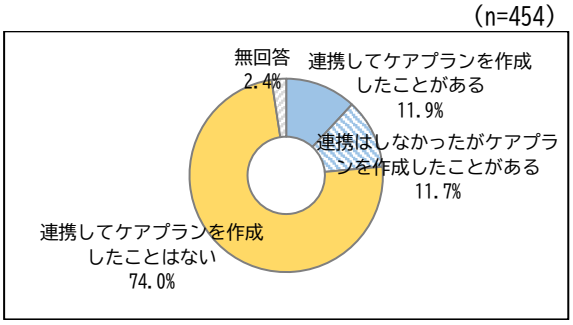
（n=454）



障害者の方が高齢になり、障害福祉サービスから介護サービスへと移行するケースについて、相談支援専門員の方と連携して介護のケアプランを作成したことがありますか。（１つの番号に○）

相談支援専門員の方と「連携してケアプランを作成したことがある」と回答した割合は11.9%となっています。

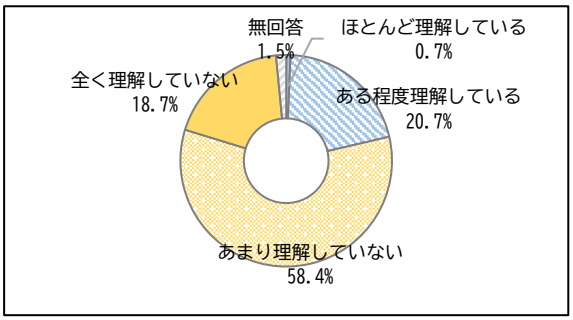
（n=454）




障害福祉サービスについてどの程度の知識があると思いますか。（１つの番号に○）

障害福祉サービスについて「あまり理解していない」と回答した割合は58.4%、「全く理解していない」と回答した割合は18.7%となっています。

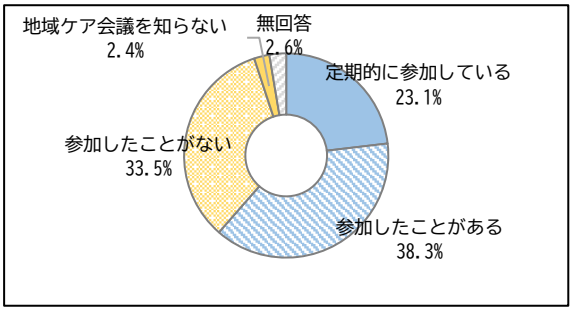
（n=454）




地域ケア会議にどのくらい参加していますか。（１つの番号に○）

地域ケア会議について「定期的に参加している」と回答した割合は23.1%、「参加したことがある」と回答した割合は38.3%となっています。

（n=454）

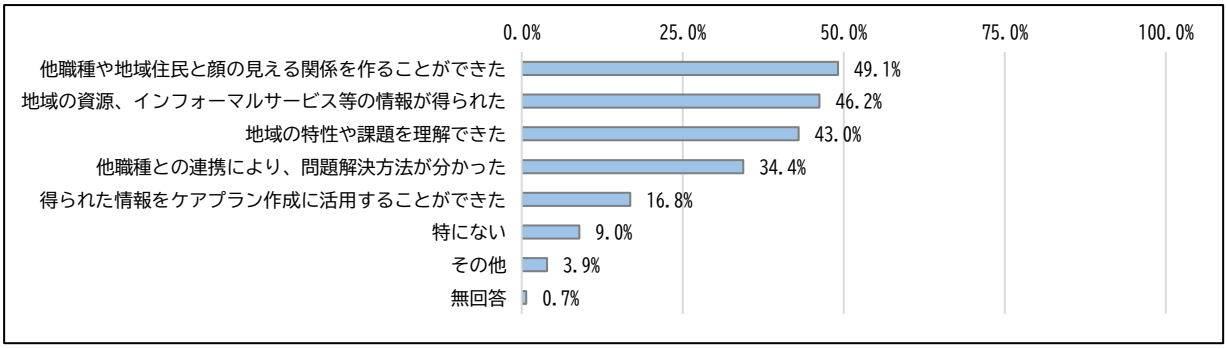


地域ケア会議に参加したことがあると回答した方のみ、お答えください。

あなたが地域ケア会議に参加してよかったことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

地域ケア会議に参加してよかったことについて、「他職種や地域住民と顔の見える関係を作ることができた」と回答した割合は 49.1%、「地域の資源、インフォーマルサービス等の情報が得られた」と回答した割合は 46.2%となっています。

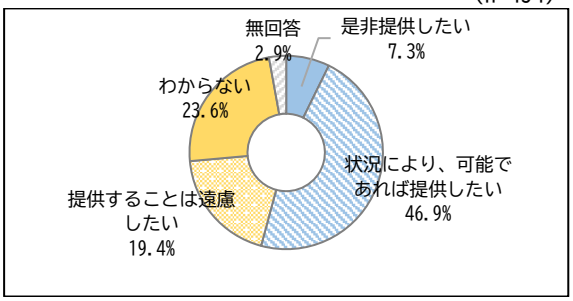
（n=279）




地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）では困難事例や自立支援に資する事例の検討を行っています。これらの会議に事例提供することについてどう考えますか。（１つの番号に○）

地域ケア会議に事例提供するについて「是非提供したい」と回答した割合は 7.3%、「状況により、可能であれば提供したい」と回答した割合は 46.9%となっています。

（n=454）

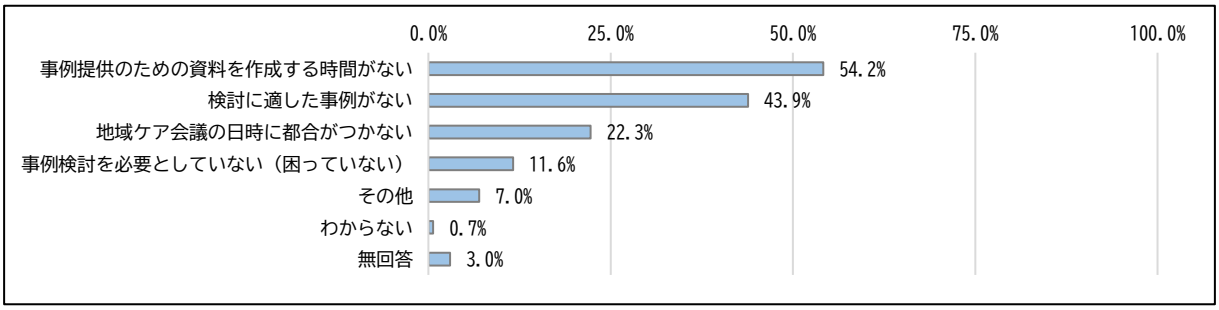


地域ケア会議に事例提供することについて、状況により可能であれば提供したい、提供することは遠慮したいと回答した方のみ、お答えください。

その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

地域ケア会議に事例提供することを、「状況により可能であれば提供したい」「提供することは遠慮したい」と回答した理由について、「事例提供のための資料を作成する時間がない」が 54.2%となっています。

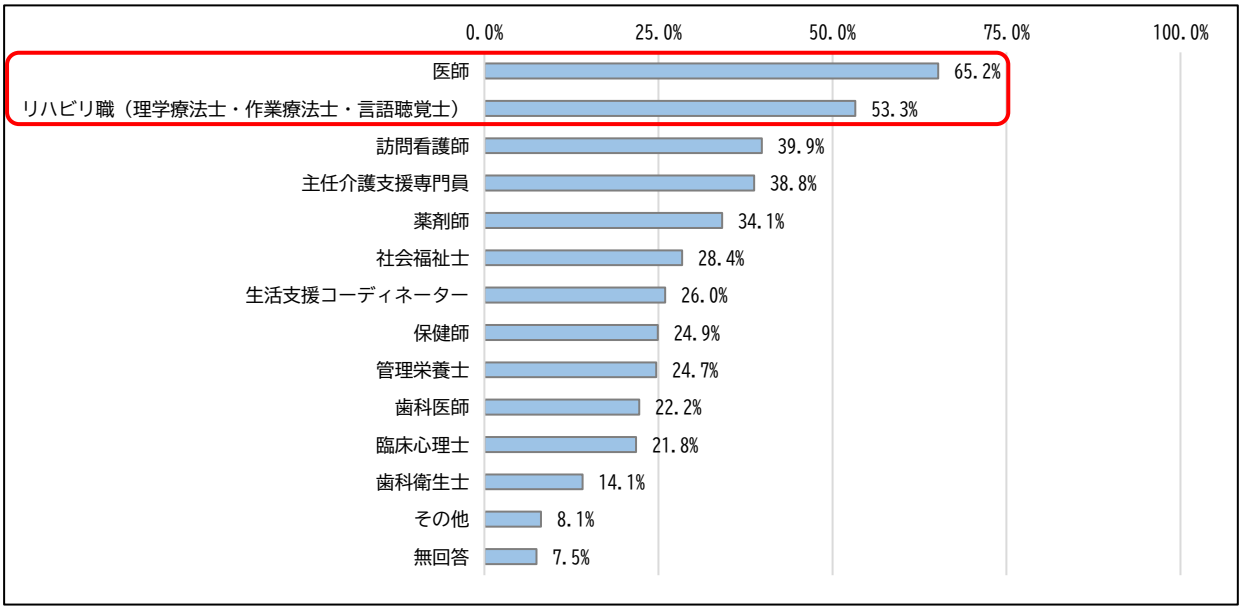
（n=301）




地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）でどのような方からのアドバイスを期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）

地域ケア会議でアドバイスを期待する方について、「医師」が 65.2%「リハビリ職」が 53.3%となっています。

（n=301）



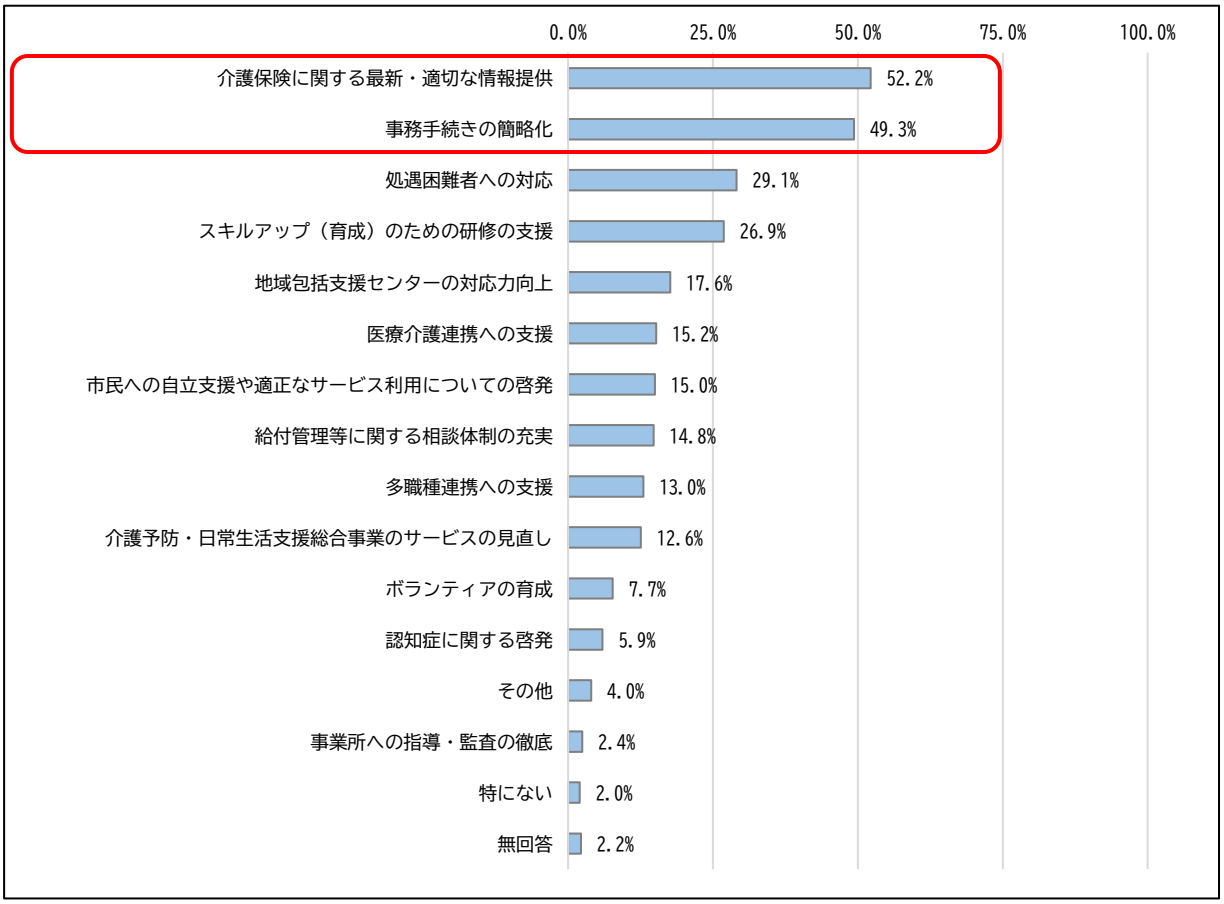
# ６．松戸市への要望について

## （１）介護支援専門員としての要望

施設・事業所の介護支援専門員として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。（３つまで番号に○）

介護支援専門員として、松戸市に対して望むことについて、「介護保険に関する最新・適切な情報提供」や「事務手続きの簡略化」が多くなっています。

（n=454）



# ４．町会・自治会アンケート調査

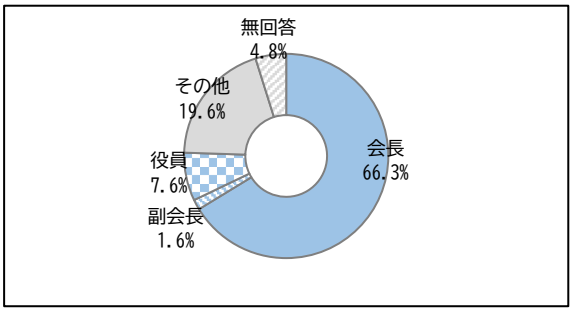
## １．回答者属性について

### （１）回答者

この調査票を記入される方の町会等内における役職をお答えください。（１つの番号に○）

調査票の記入者は以下の通りとなっています。

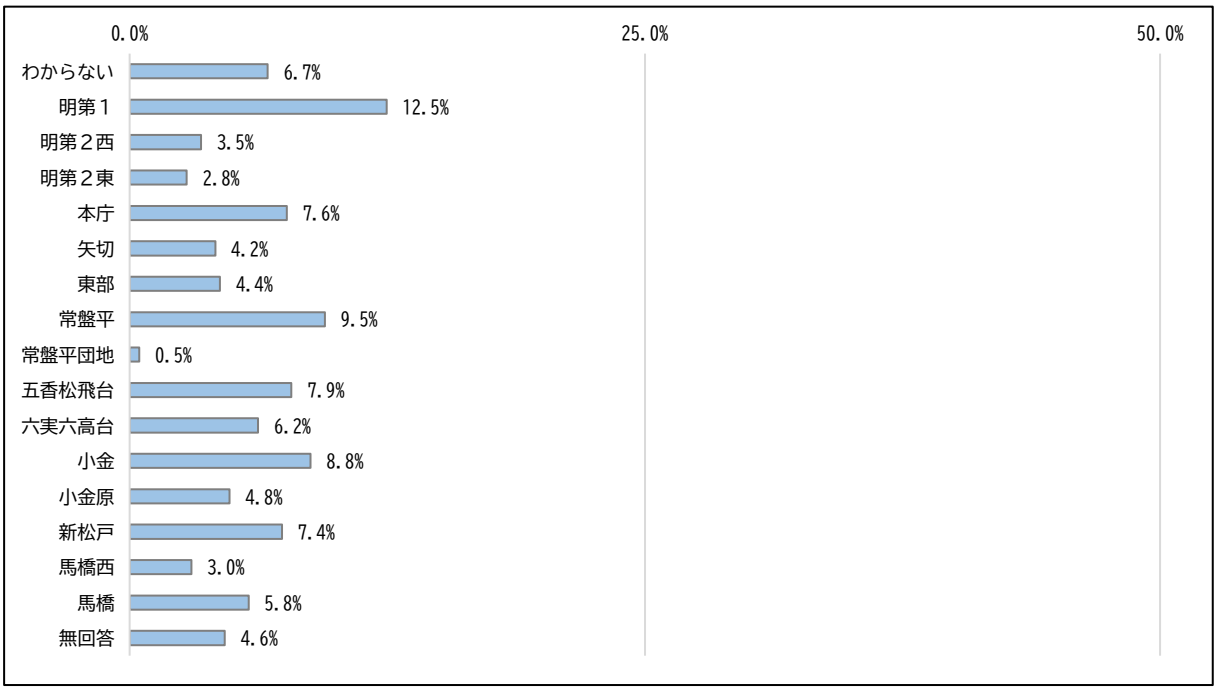
（n=433）




町会等のある日常生活圏域はどこですか。（１つの番号に○）

町会等のある日常生活圏域は以下の通りとなっています。

（n=433）



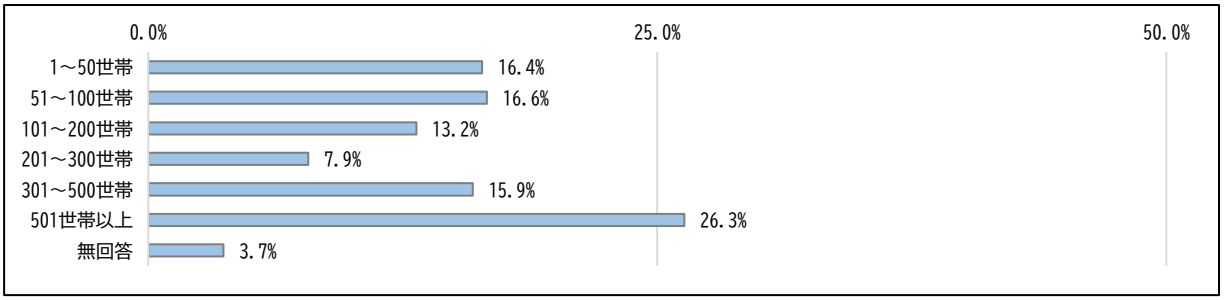
# ２．町会等の基本情報について

## （１）町会等の加入状況

町会等の加入世帯数はどのくらいですか。（１つの番号に○）

町会等の加入世帯数について以下の通りとなっています。

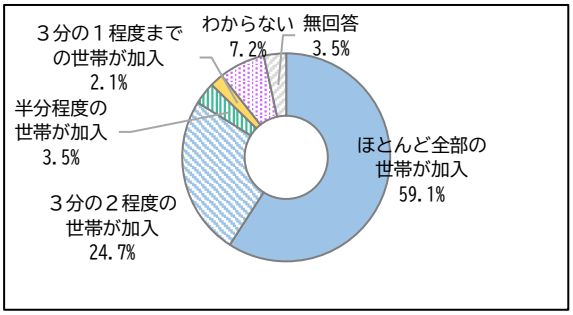
（n=433）




町会等の加入率はどのくらいですか。（１つの番号に○）

町会等の加入率について「ほとんど全部の世帯が加入」が最も多く 59.1%、次いで「３分の２程度の世帯が加入」となっています。

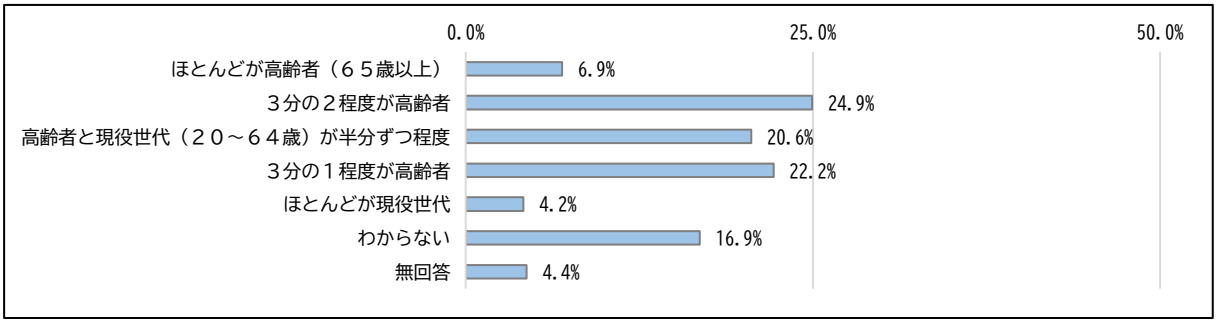
（n=433）




町会等の加入者の年齢はどのくらいですか。（１つの番号に○）

町会等の加入者の年齢について「３分の２程度が高齢者」が最も多く 24.9%、次いで「３分の１程度が高齢者」が 22.2%となっています。

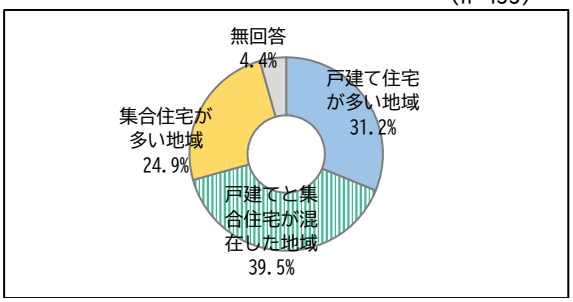
（n=433）



町会等内は、どのような住居形態が多い地域ですか。（１つの番号に○）

住居形態について「戸建て住宅が多い地域」「戸建てと集合住宅が混在した地域」「集合住宅が多い地域」がほぼ同割合となっています。

（n=433）

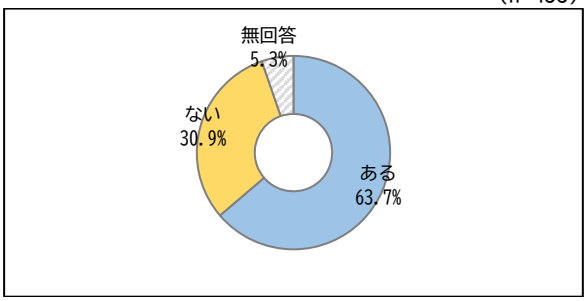



## （２）会館・集会所の状況

町会等には会館・集会所はありますか。（どちらかの番号に○）

会館・集会所の有無について「ある」と回答した割合は 63.7%となっています。

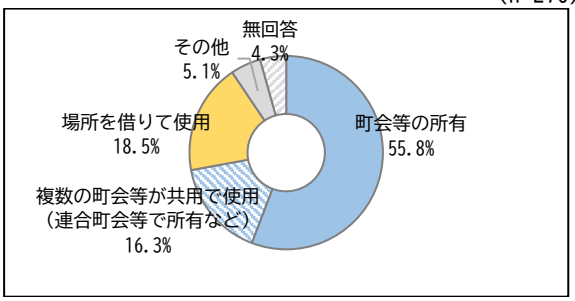
（n=433）




町会等には会館・集会所はあると回答した方のみ、お答えください。
会館・集会所の形態はどれにあたりますか。（１つの番号に○）

会館・集会所の形態について「町会等の所有」と回答した割合は 55.8%となっています。

（n=276）



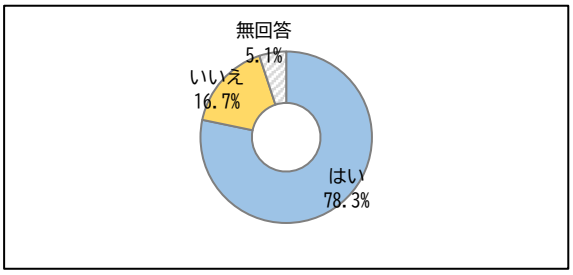

その他・・・マンション内集会室

町会等には会館・集会所はあると回答した方のみ、お答えください。

会館・集会所は、町会等の行事以外で一般の方が使用することができますか。（どちらかの番号に○）

会館・集会所がある町会等において、会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方が「使用できる」と回答した割合は 78.3%となっています。

（n=276）

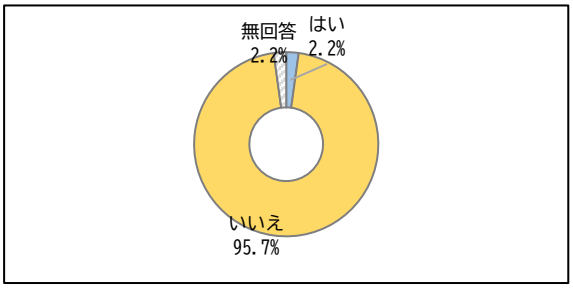



会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方は使用できないと回答した方のみ、お答えください。

今後、町会等の行事以外の一般の方の使用を検討していますか。（どちらかの番号に○）

会館・集会所を町会等の行事以外で一般の方は使用できない町会等において、今後、町会等の行事以外の一般の方の使用を「検討していない」と回答した割合は 95.7%となっており、ほとんど検討していないとの回答となっています。

（n=46）

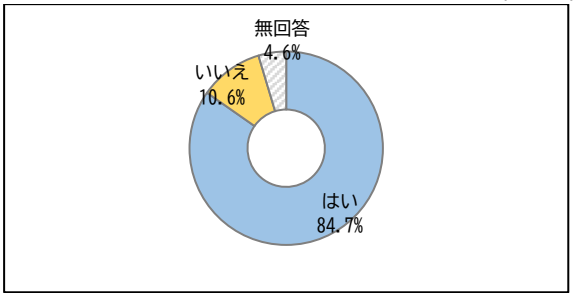



会館・集会所は、町会等の行事以外で一般の方が使用することができると回答した方のみ、お答えください。

会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を徴収していますか。

会館・集会所を町会等の行事以外で貸出する場合、利用料を「徴収している」と回答した割合は 84.7%となっています。

（n=216）



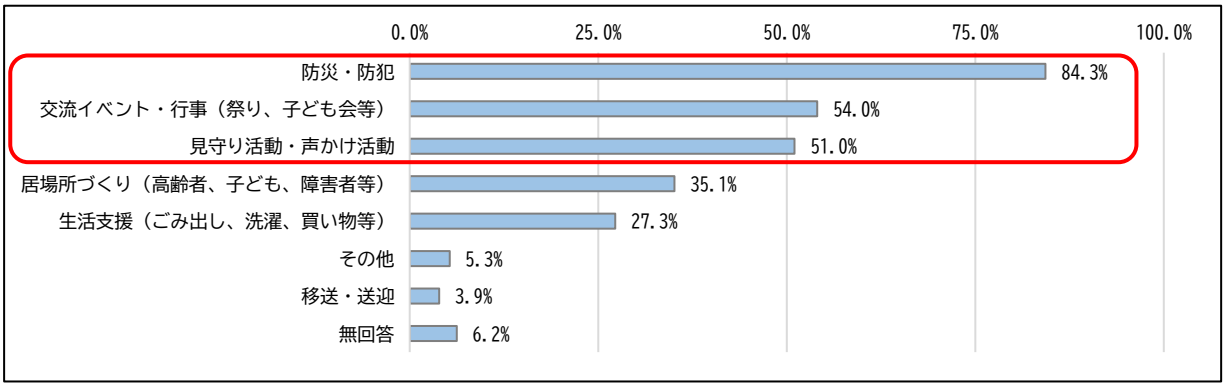
# ３．地域づくり等について

## （１）地域づくり等町会等活動状況

日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

住民から町会等に特に求められていることとして「防災・防犯」が最も多く 84.3%となっており、次いで「交流イベント・行事」が 54.0%、「見守り活動・声かけ活動」が 51.0%となっています。

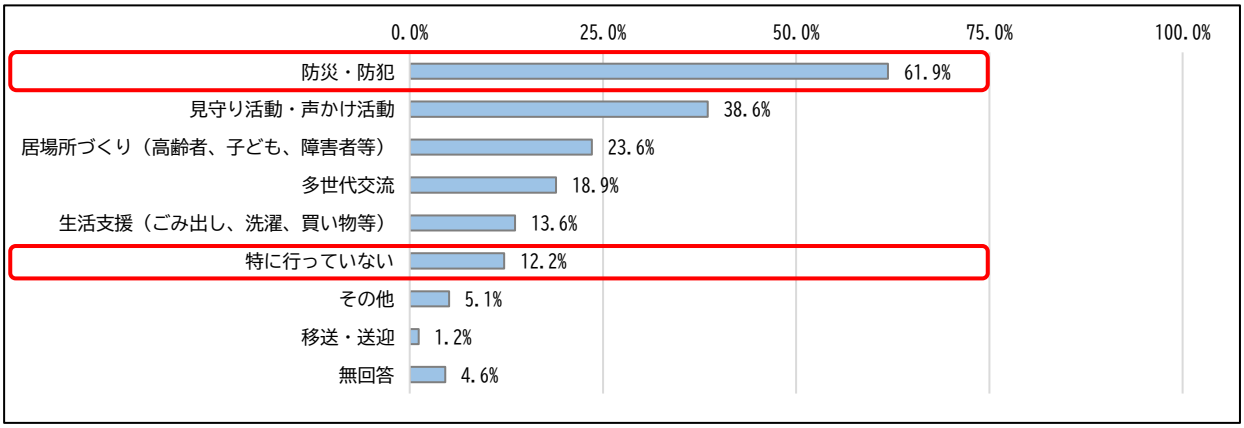
（n=433）




日頃、町会等が主体となって、どのような活動を行っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

日頃、町会等が主体となって行っている活動について、「防災・防犯」が最も多く 61.9%となっています。なお、「特に行っていない」と回答した割合は 12.2%となっています。

（n=433）

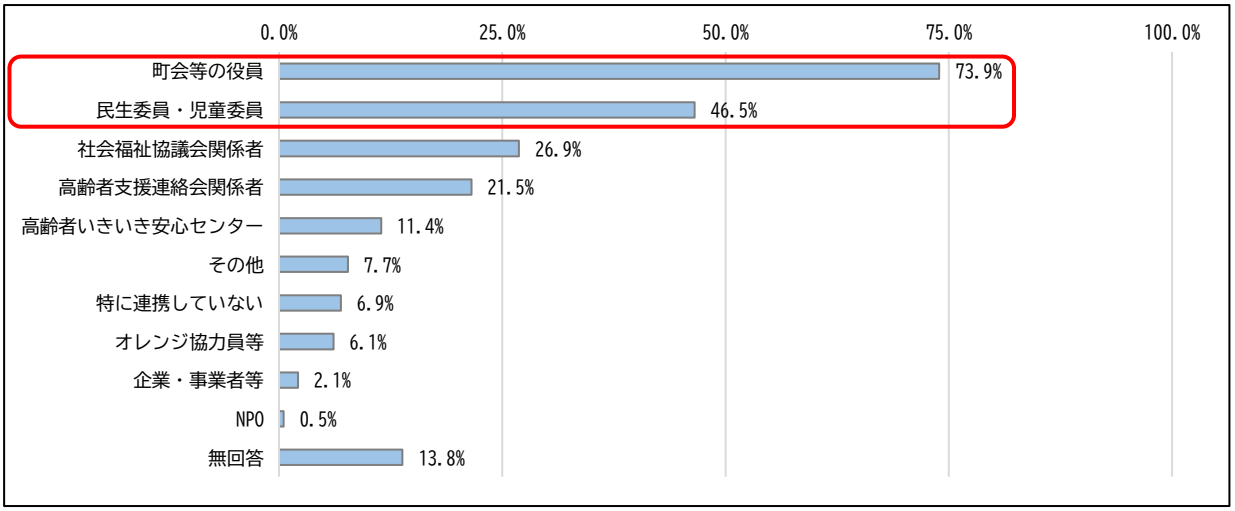



その他・・・交流イベント、祭り

町会等が主体となって活動を行っていると回答した方のみ、お答えください。
その活動は、どのような方と協力・連携して行っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

町会等が主体となって行っている活動の協力・連携先について、「町会等の役員」が最も多く 73.9%となっており、次いで「民生委員・児童委員」が 46.5%となっています。

（n=376）

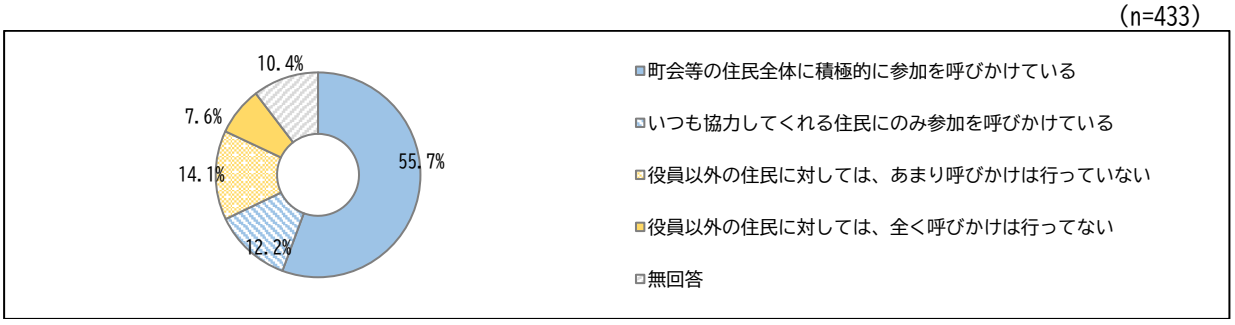



その他・・・消防署

町会等の普段の活動やイベント（子供会、祭り等）の準備の際に、役員以外の地域住民に協力してもらえるよう、参加を呼びかけていますか。（１つの番号に○）

町会等の普段の活動やイベント（子供会、祭り等）の準備における協力参加の呼びかけについて「町会等の住民全体に積極的に参加を呼びかけている」と回答した割合は 55.7%となっています。

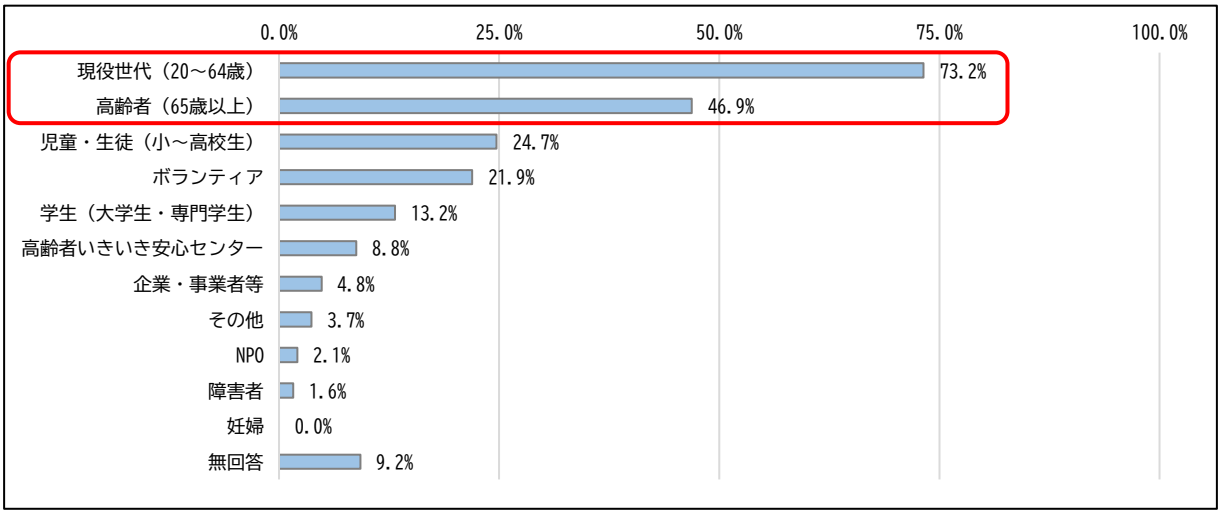
（n=433）



今後の町会等の活動において、どのような方に特に企画・運営に関わっていただきたいと思いますか。（３つまで番号に○）

今後の町会等の活動において、特に企画・運営に関わっていただきたい方について、「現役世代（20～64 歳）」が 73.2%と最も多く、次いで「高齢者」が 46.9%となっています。

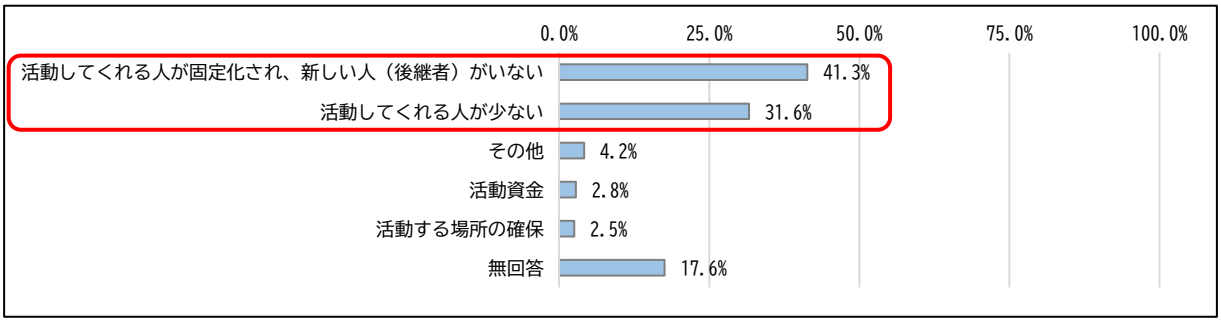
（n=433）




町会等が活動を行う際に、特にどんなことに苦労していますか。（１つの番号に○）

町会等が活動を行う際に、特に苦労していることについて、「活動してくれる人が固定化され、新しい人（後継者）がいない」が最も多く 41.3%となり、次いで「活動してくれる人が少ない」が 31.6%と、活動する人の不足について苦労が多くなっています。

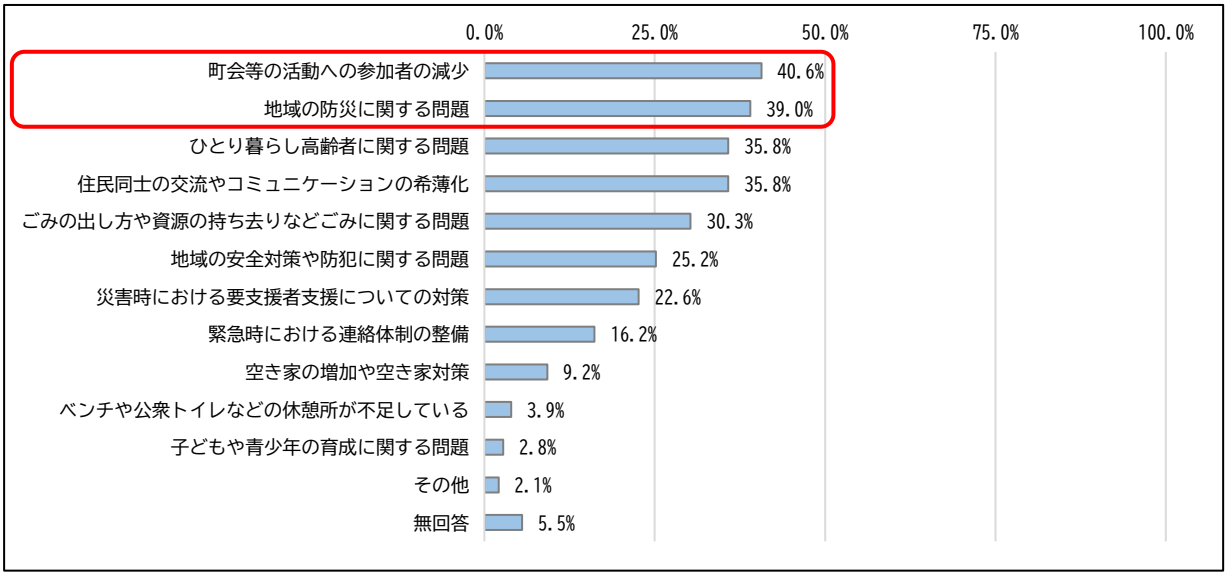
（n=433）



町会等において感じている地域の課題を教えてください。（３つまで番号に○）

町会等において感じている地域の課題について、「町会等の活動への参加者の減少」が最も多く 40.6%となり、次いで「地域の防災に関する問題」が 39.0%となっています。

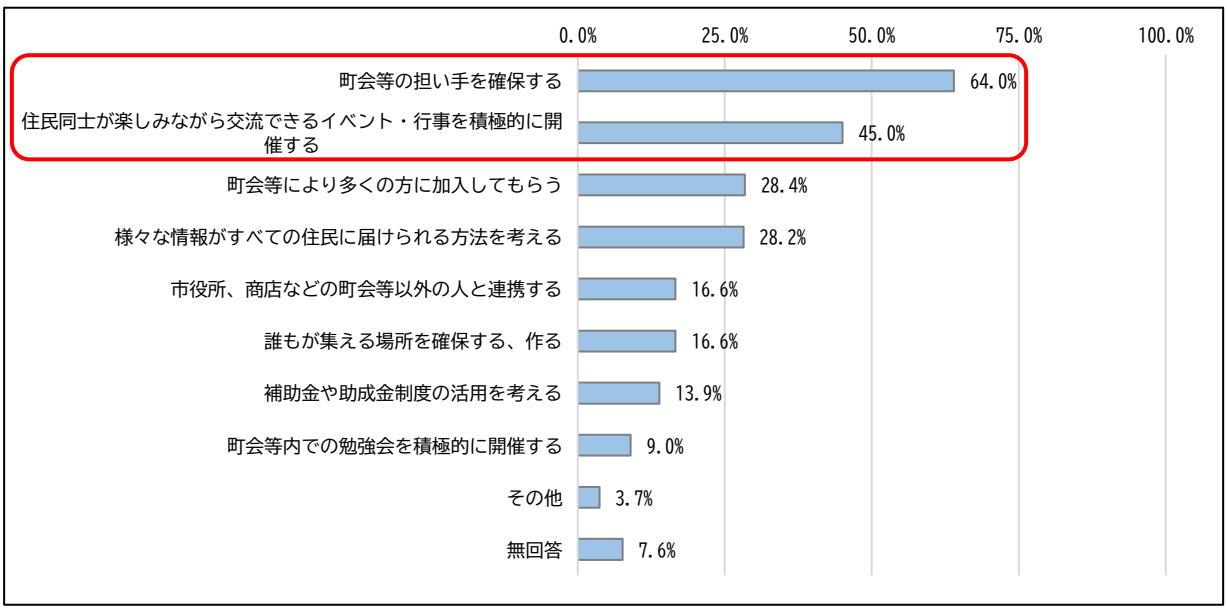
（n=433）




町会等として、地域の課題を解決するために実施すべきと思っていることを教えてください。（３つまで番号に○）

町会等として、地域の課題を解決するために実施すべきことについて、「町会等の担い手を確保する」が最も多く 64.0%となり、次いで「住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する」が 45.0%となっています。

（n=433）



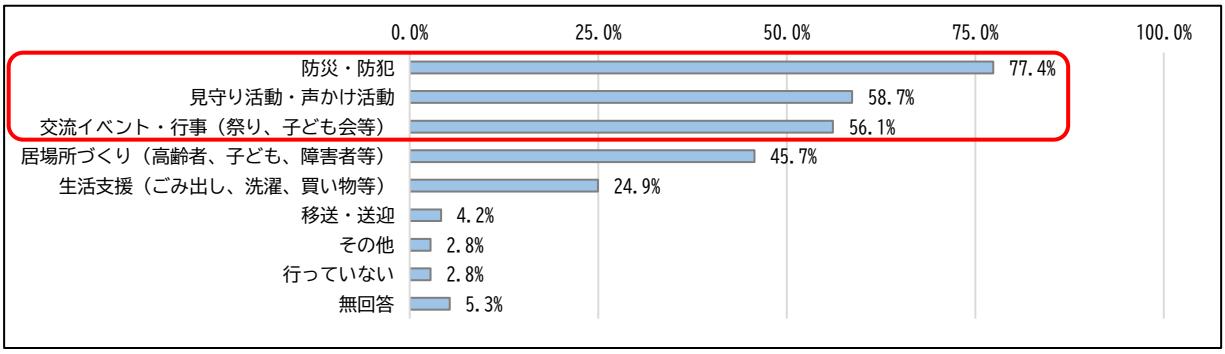
# ４．その他町会等の活動について

## （１）その他町会等の活動

社会や地域が安定・継続的に維持されていくために、町会等は今後どのような事に取り組んでいけば良いと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

社会や地域が安定・継続的に維持されていくために、町会等が今後取り組むべきことについて、「防災・防犯」が最も多く 77.4%となり、次いで「見守り活動・声かけ活動」が 58.7%、「交流イベント・行事（祭り、子ども会等）」が 56.1%となっています。

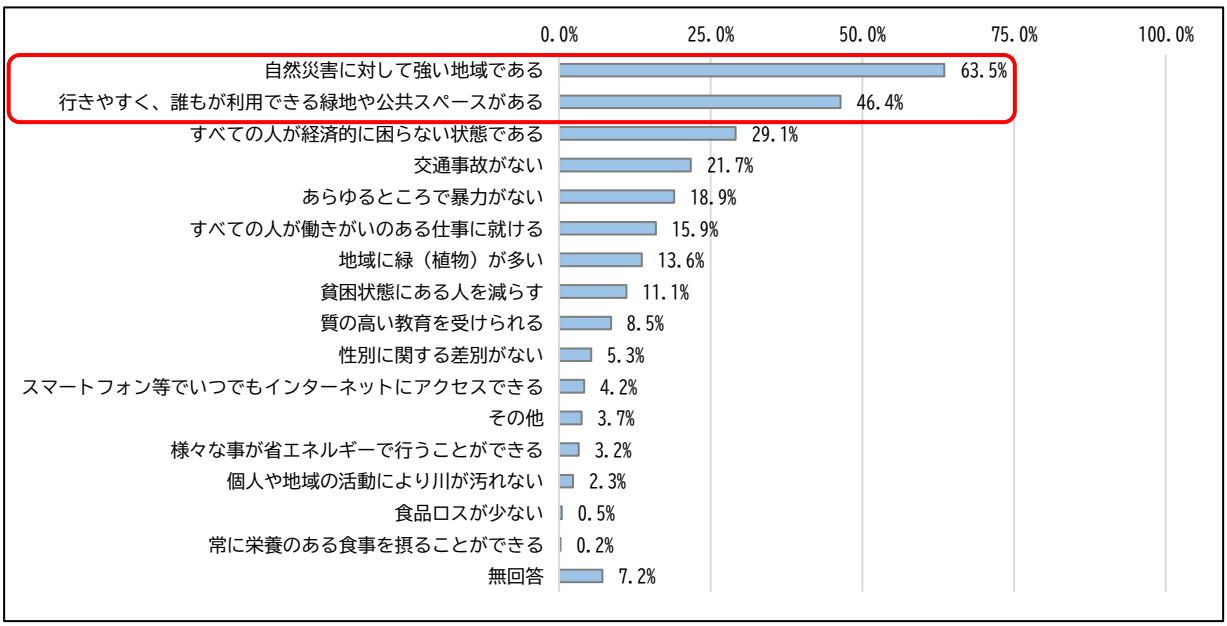
（n=433）




地域住民が住み慣れた地域で、地域から離れることなく住み続けられるようにするには、町会等を中心にどのようにしていくことが重要であると思いますか。（３つまで番号に○）

地域住民が住み慣れた地域で、地域から離れることなく住み続けられるようにするために、町会等を中心にしていくことについて、「自然災害に対して強い地域である」が最も多く 63.5%となり、次いで「行きやすく、誰もが利用できる緑地や公共スペースがある」が 46.4%となっています。

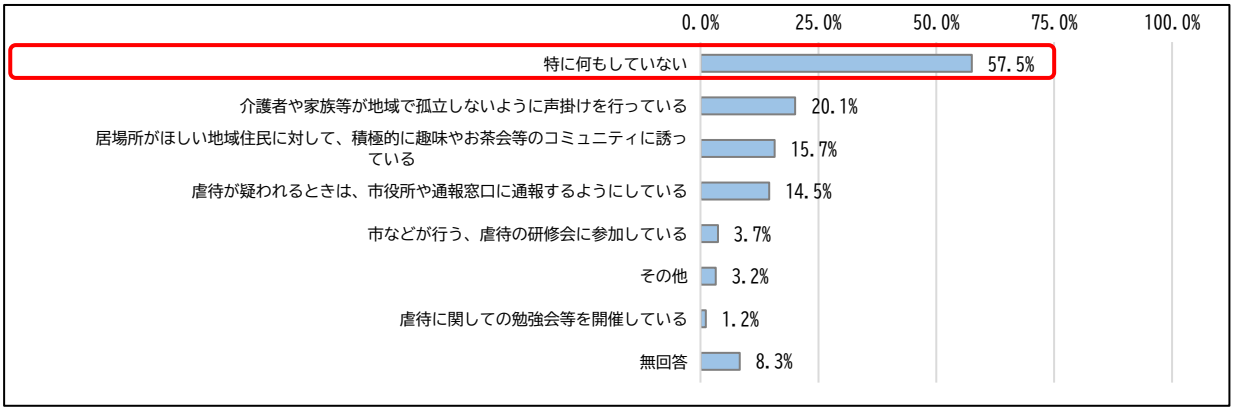
（n=433）



虐待防止について町会等で実施していることはありますか。

虐待防止について町会等で実施していることについて、「特に何もしていない」と回答した割合が最も多く 57.5%となっています。

（n=433）

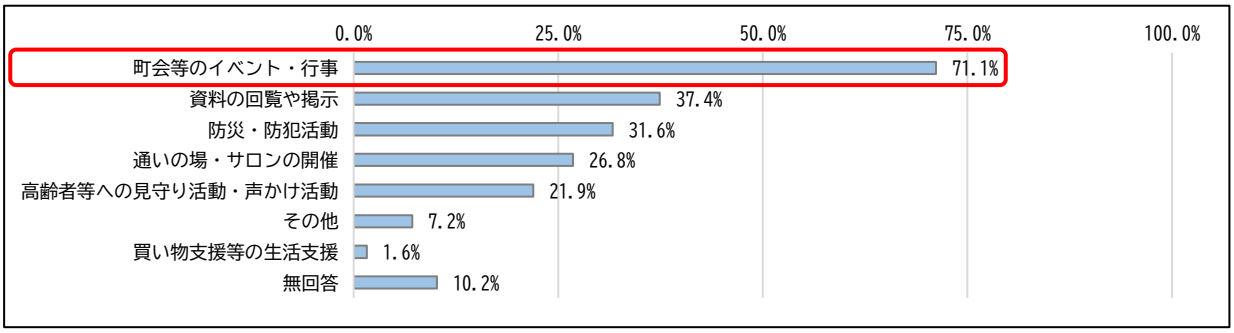



昨今の新型コロナウイルス感染症の状況下においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛がなされましたが、それに伴う町会等の状況を教えてください。

町会等の活動で、どんなことに困ったか、教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言に伴い、町会等の活動として困ったことについて、「町会等のイベント・行事」が最も多く 71.1%となっています。

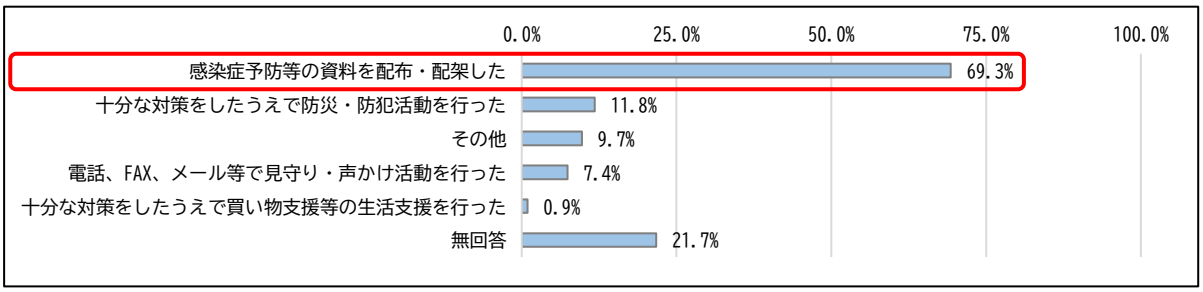
（n=433）




町会等として活動したことを教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言に伴い、町会等として活動したことについて、「感染症予防等の資料を配布・配架した」が最も多く 69.3%となっています。

（n=433）



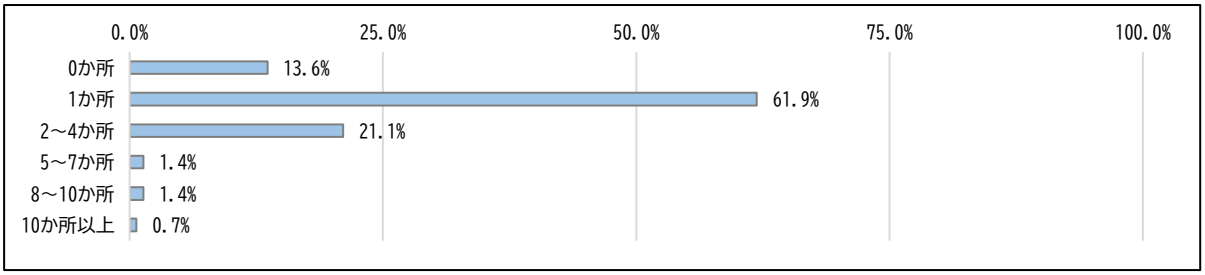
# ５．町会等内の「通いの場」について

## （１）町会等内の「通いの場」

町会等が主体で開催している通いの場は何か所ありますか。

町会等が主体で開催している通いの場の箇所数について、「１か所」が最も多く 61.9%となり、１か所以上が 86.4%となっています。

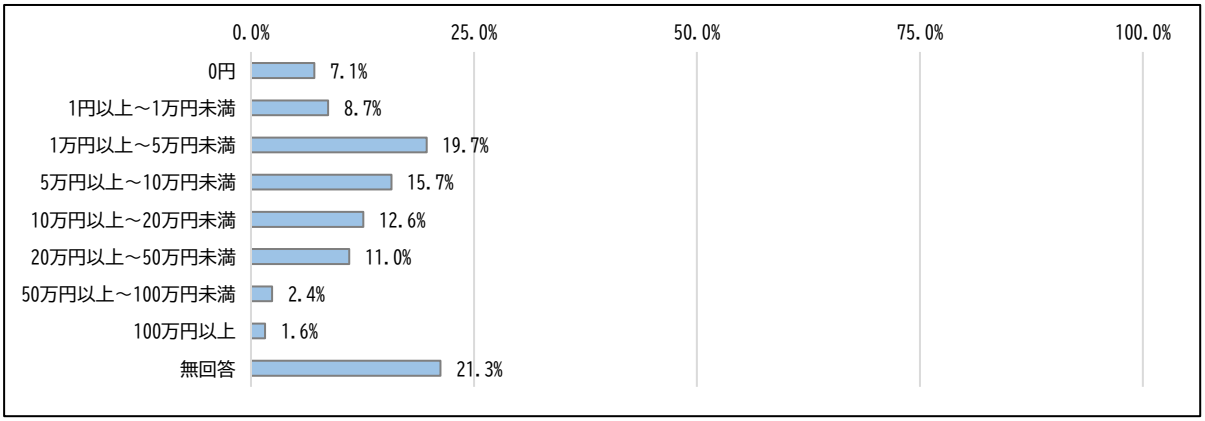
（n=147）




また、運営のために町会等でどのくらい費用を負担していますか。

町会等が通いの場運営のために負担している費用について、「１万円以上～５万円未満」が最も多く 19.7%となっています。

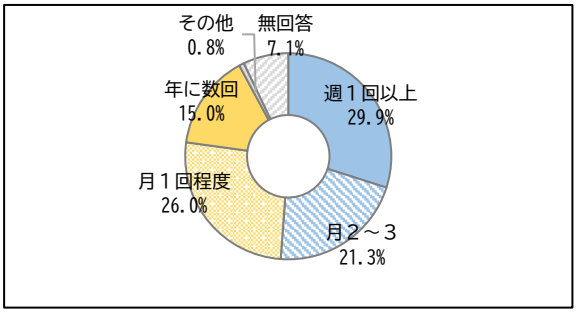
（n=127）




最も多い通いの場の開催頻度を教えてください。（１つの番号に○）

通いの場の開催頻度について、「週１回以上」が最も多く 29.9%と約３割となっています。

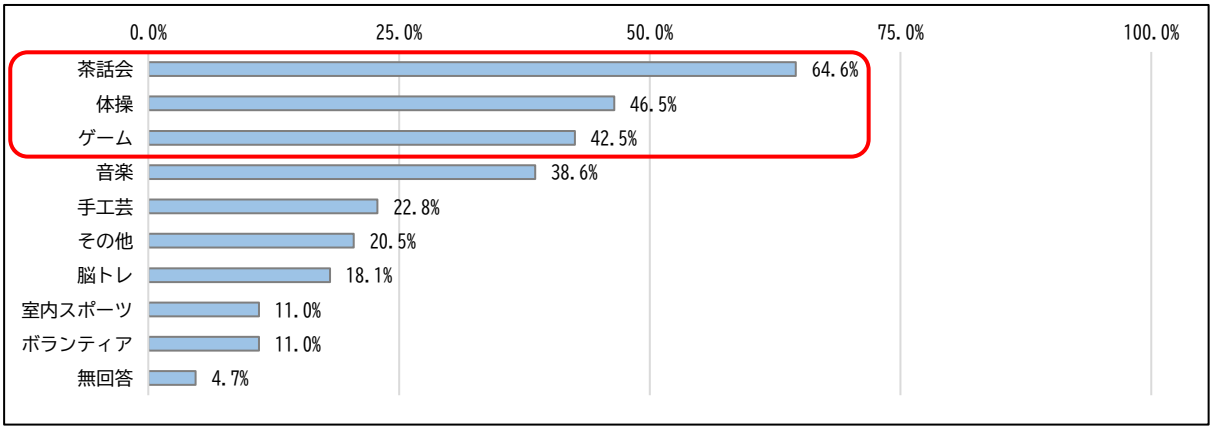
（n=127）



通いの場の活動内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

通いの場の活動内容について、「茶話会」が最も多く 64.6%と約 2/3 となっており、次いで「体操」が 46.5%、「ゲーム」が 42.5%となっています。

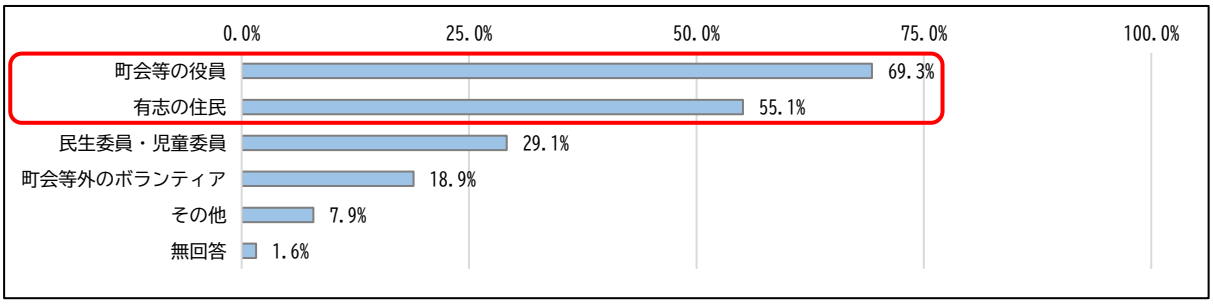
（n=127）




通いの場の活動はどのような方が中心となっていますか。（あてはまる番号すべてに○）

通いの場の活動を中心的に行っている方について、「町会等の役員」が最も多く 69.3%となっており、次いで「有志の住民」が 55.1%となっています。

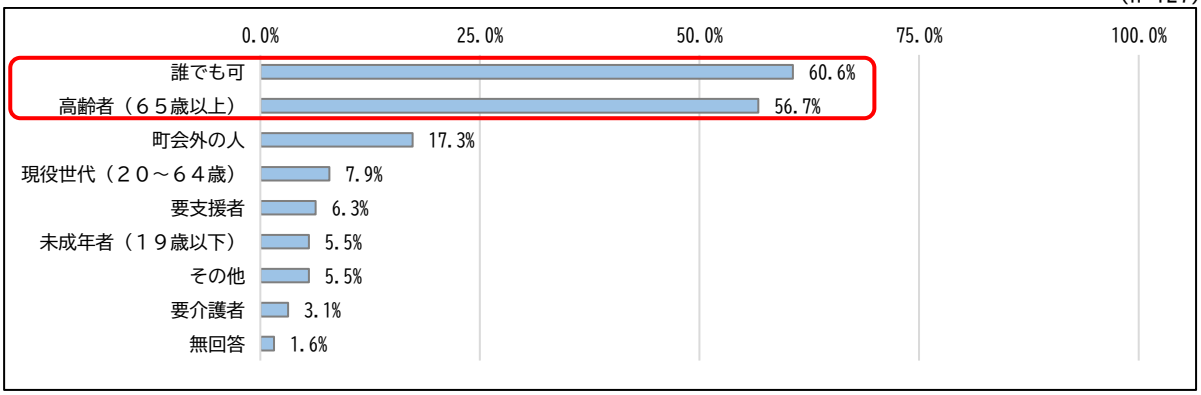
（n=127）




通いの場はどのような方が参加できますか。（あてはまる番号すべてに○）

通いの場の参加可能な人について、「誰でも可」が最も多く 60.6%となっており、次いで「高齢者」が 56.7%となっています。

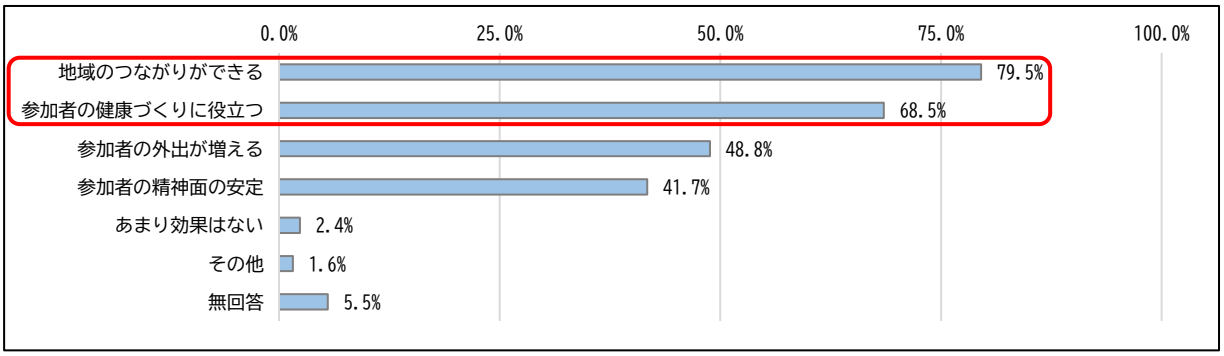
（n=127）



通いの場が地域にもたらす効果について、どう考えますか。（あてはまる番号すべてに○）

通いの場が地域にもたらす効果について「地域のつながりができる」が最も多く 79.5%となっており、次いで「参加者の健康づくりに役立つ」が 68.5%となっています。

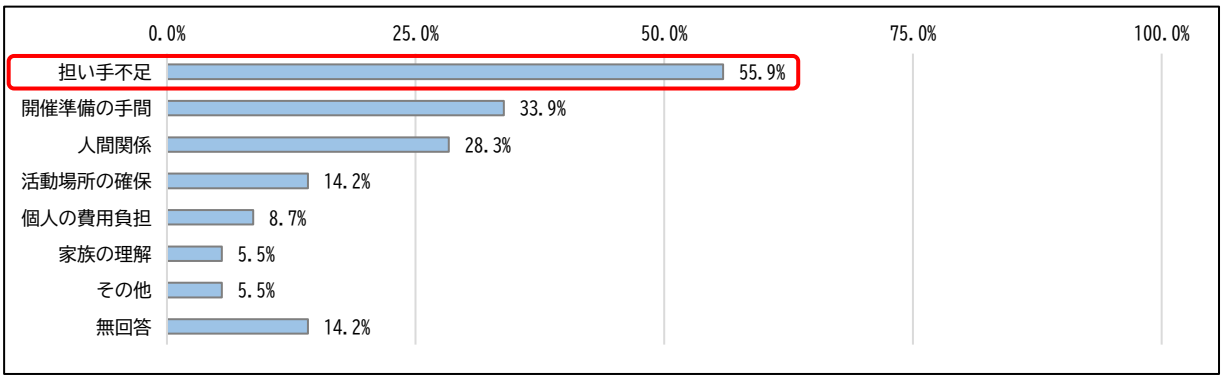
（n=127）




町会が通いの場を開催するとき、どのようなことが問題となりますか。（あてはまる番号すべてに○）

通いの場を開催するとき問題になることについて、「担い手不足」が最も多く 55.9%となっています。

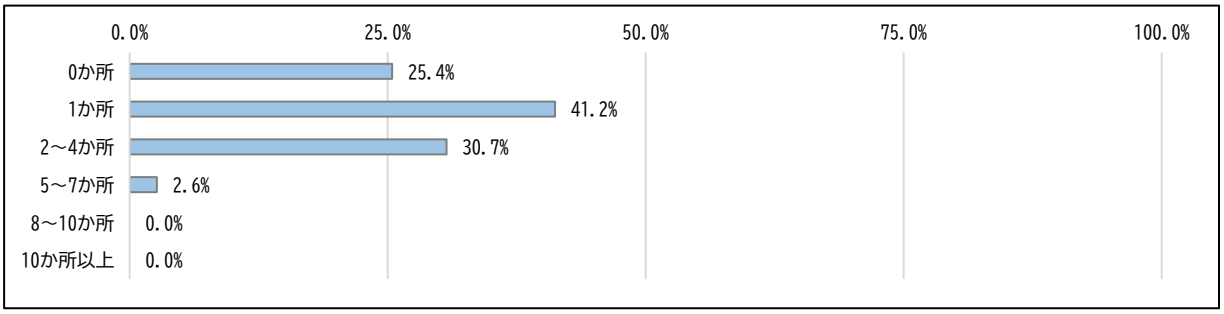
（n=127）




町会等以外が主体になって開催している通いの場は何か所ありますか。

町会等以外が主体になって開催している通いの場の箇所数について、以下の通りとなっています。

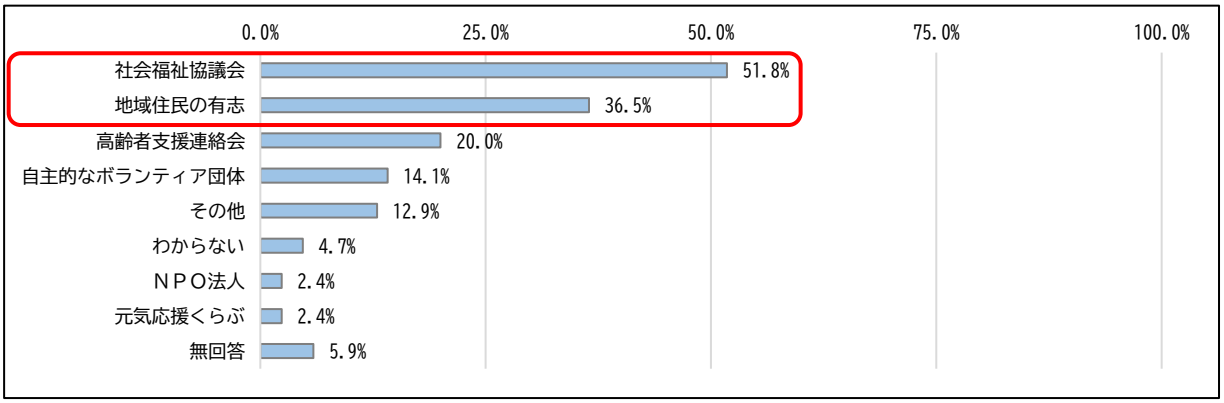
（n=114）



町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営母体はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに○）

町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営母体について、「社会福祉協議会」が最も多く 51.8%、次いで「地域住民の有志」が 36.5%となっています。

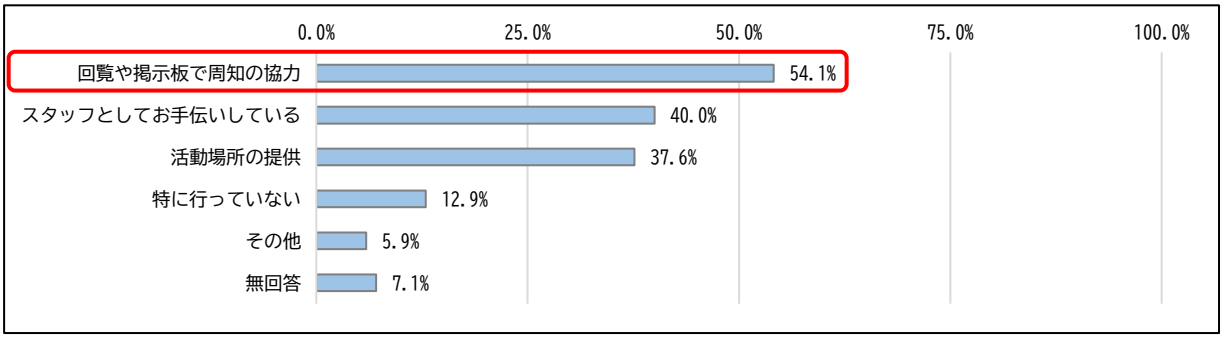
（n=85）




会等以外が主体になって開催している通いの場の運営のためにどのような支援をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

町会等以外が主体になって開催している通いの場への支援について、「回覧や掲示板で周知の協力」が最も多く 54.1%となっています。

（n=85）



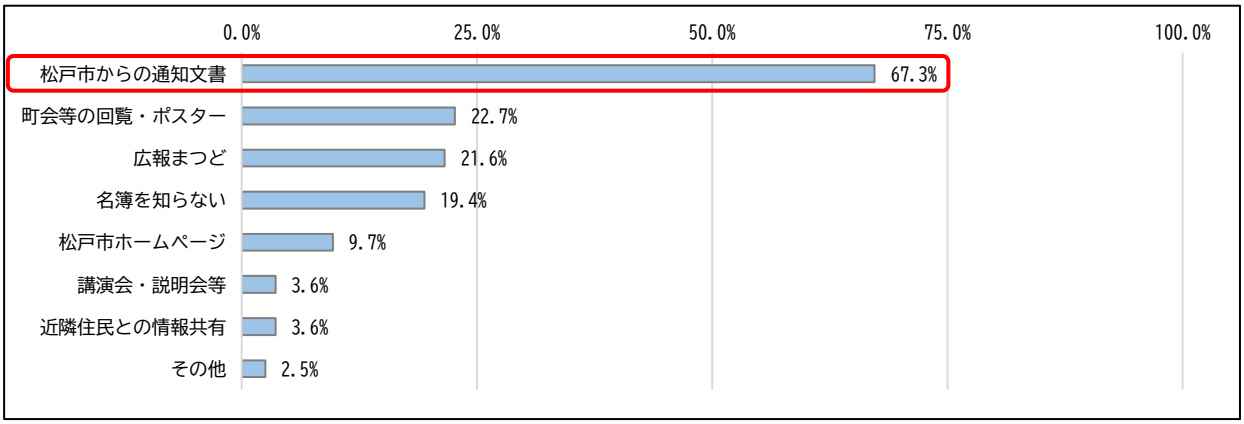
# ６．災害避難について

## （１）避難行動

松戸市避難行動要支援者名簿のことを何によって知りましたか。（あてはまる番号すべてに○）

松戸市避難行動要支援者名簿のことを知ったきっかけについて、「松戸市からの通知文書」が最も多く 67.3%となっています。

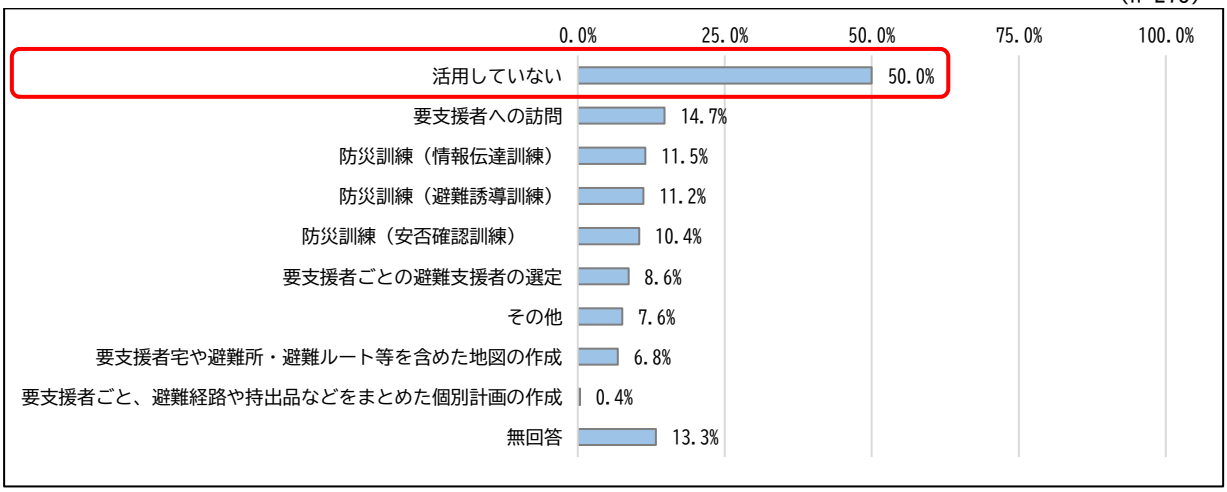
（n=278）




松戸市避難行動要支援者名簿を活用して、実際にどのような活動をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

松戸市避難行動要支援者名簿を活用した活動について、「活用していない」が最も多く 50.0%となっています。

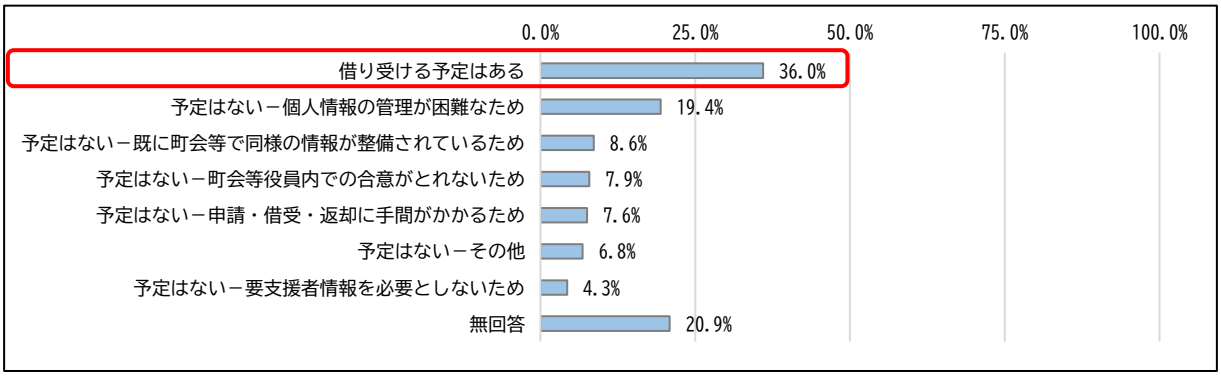
（n=278）



松戸市避難行動要支援者名簿は情報を毎月更新します。今後名簿を借り受ける予定はありますか。

今後名簿を借り受ける予定について、「借り受ける予定はある」が最も多く 36.0%となっています。

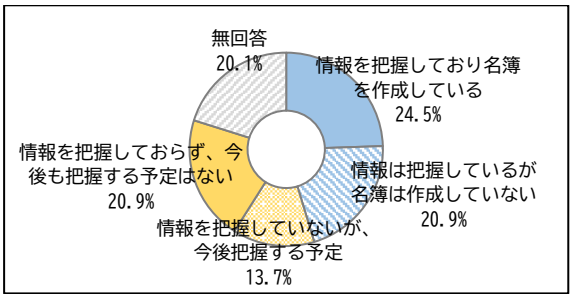
（n=278）




松戸市避難行動要支援者名簿以外での、町会等で独自に把握している要支援者の情報について教えてください。（１つの番号に○）

町会等で独自に把握している要支援者の情報について、「情報を把握しており名簿を作成している」と回答した割合は 24.5%となっています。

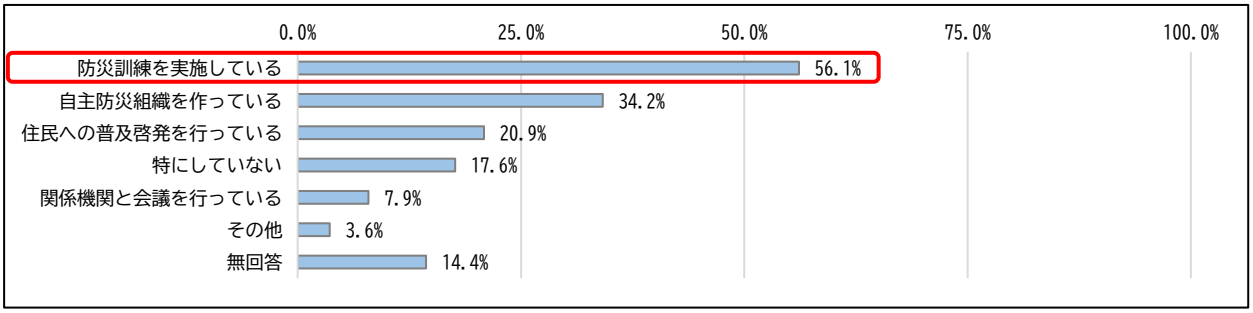
（n=278）




町会等において要支援者名簿を活用する以外に行っている災害対策はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

町会等で行っている災害対策について、「防災訓練を実施している」が最も多く 56.1%となっています。

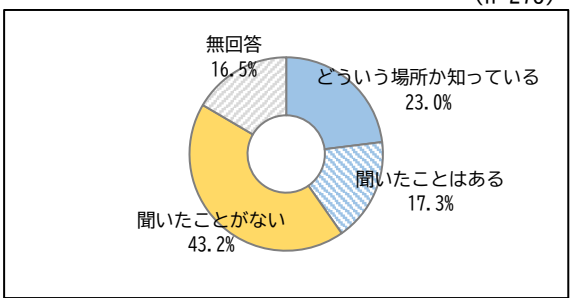
（n=278）



福祉避難所について知っていますか。（１つの番号に○）

福祉避難所について、「どういう場所か知っている」と回答した割合は 23.0%となっています。

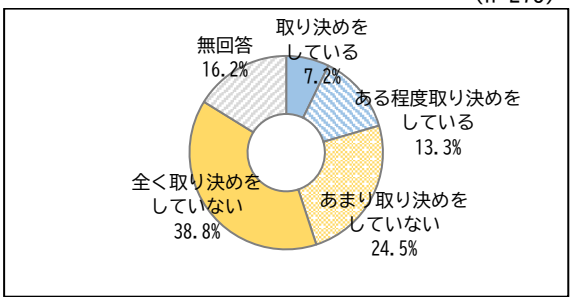
（n=278）




町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応について、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。（１つの番号に○）

町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の支援の取り決めについて、「取り決めをしている」と回答した割合は 7.2%となっており、「ある程度取り決めをしている」を含めて 20.5%にとどまっています。

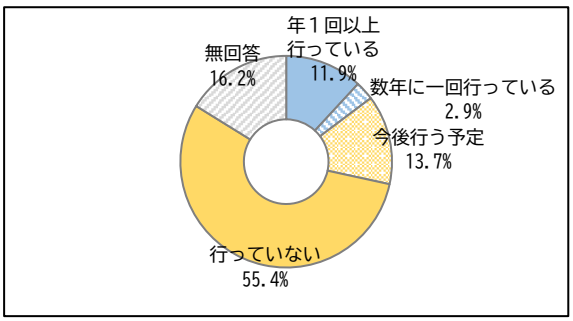
（n=278）




町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応のため、訓練を行っていますか。（１つの番号に○）

町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合のための訓練について、「年１回以上行っている」と回答した割合は 11.9%にとどまっています。

（n=278）



# ５．特別養護老人ホーム入所待機者アンケート調査

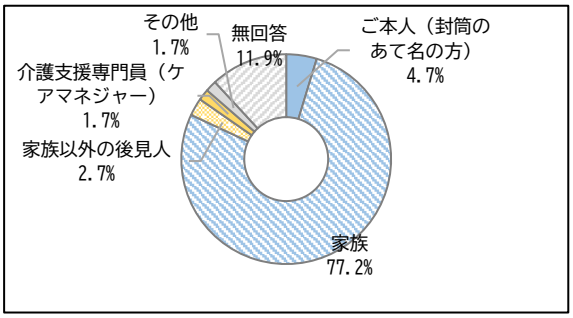
## １．回答者属性について

### （１）回答者

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

回答者について、「家族」が最も多く 77.2%となっており、「ご本人」は 4.7%となっています。

（n=404）



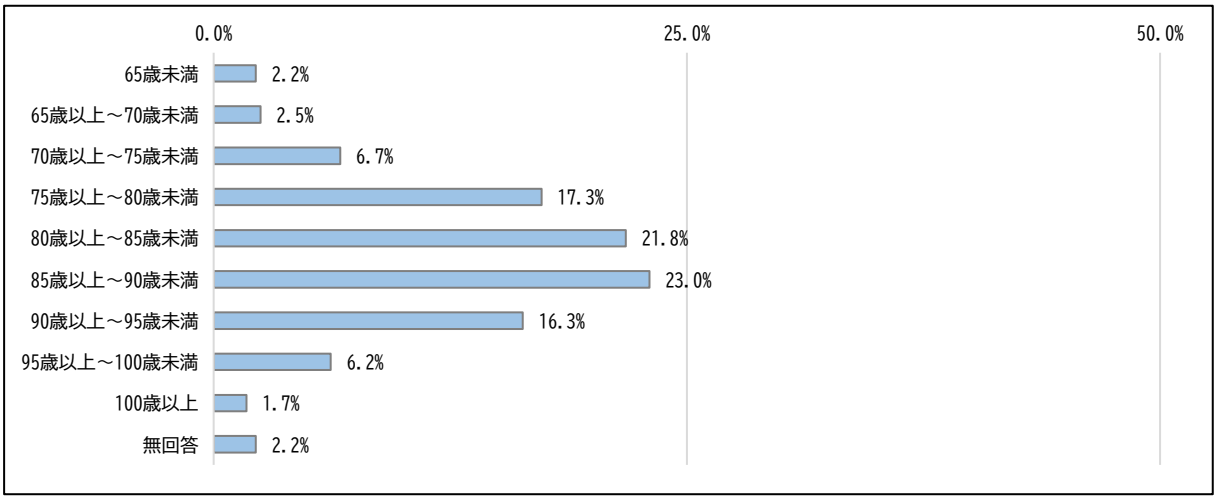

## ２．ご本人（入所予定者）や家族の状況について

### （１）入所予定者ご本人の状態

令和２年４月１日現在のご本人（入所予定者）の年齢を記入してください。

入所予定者の年齢について、「85 歳以上～90 歳未満」が最も多く 23.0%、次いで「80 歳以上～85 歳未満」が 21.8%となっています。

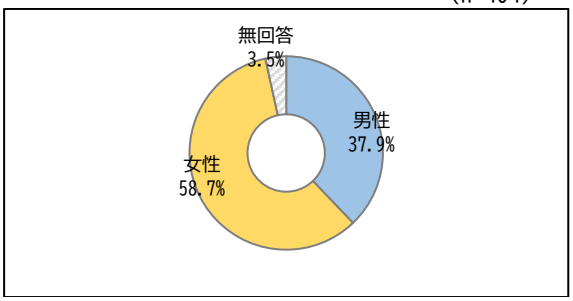
（n=404）



ご本人（入所予定者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

入所予定者の性別について、「男性」が 37.9%、「女性」が 58.7%となっています。

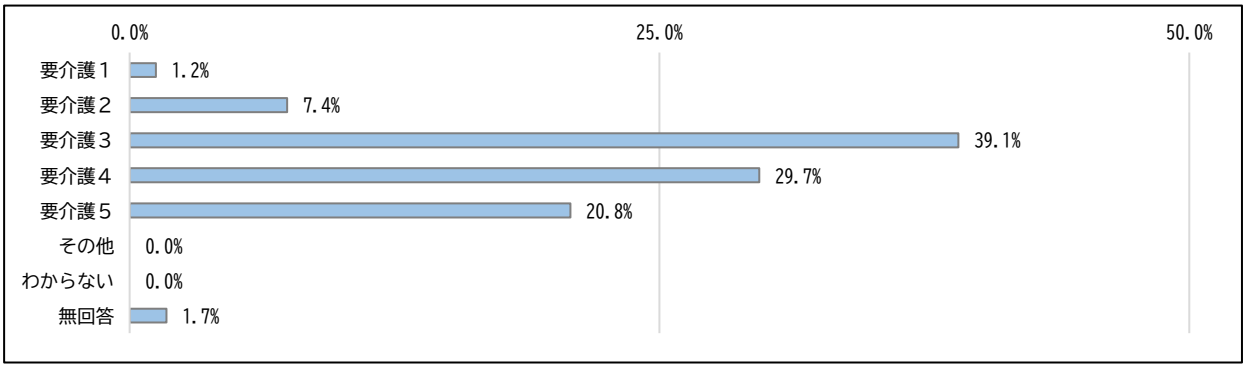
（n=404）




ご本人（入所予定者）の現在の要介護等状態区分は、次のうちどれですか。（１つの番号に○）

入所予定者の現在の要介護等状態区分について「要介護３」が最も多く 39.1%、次いで「要介護４」が 29.7%となっています。

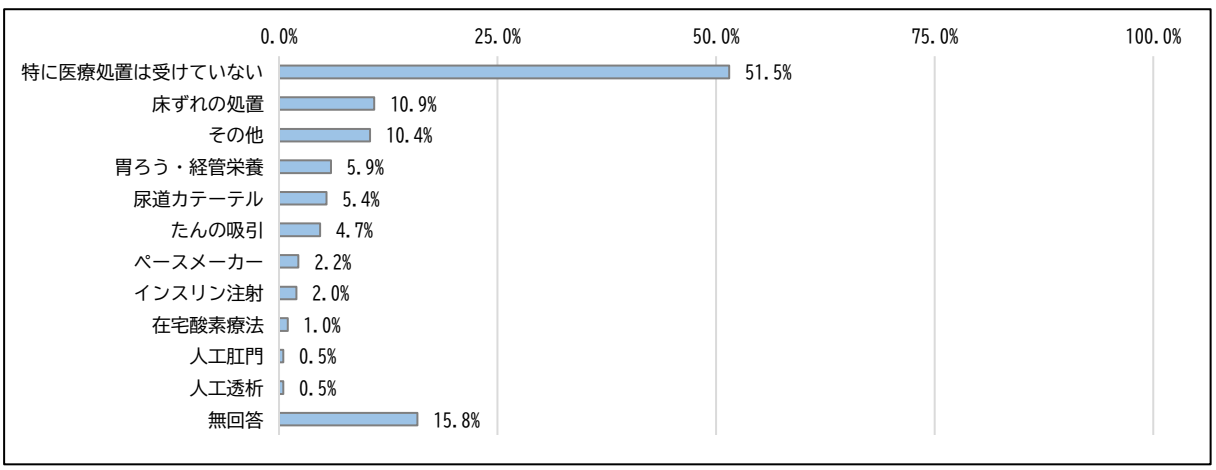
（n=404）




ご本人（入所予定者）は次のような医療処置を日常的に必要としていますか。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者の日常的に必要な医療処置について、「特に医療処置は受けていない」が最も多く 51.5%となっています。

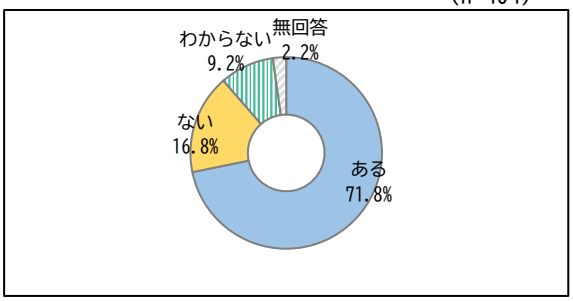
（n=404）



ご本人（入所予定者）は、認知症と思われる症状がありますか。（１つの番号に○）

入所予定者における認知症と思われる症状の有無について、「ある」と回答した割合が71.8%となり、７割以上の方に認知症と思われる症状があることとなっています。

（n=404）

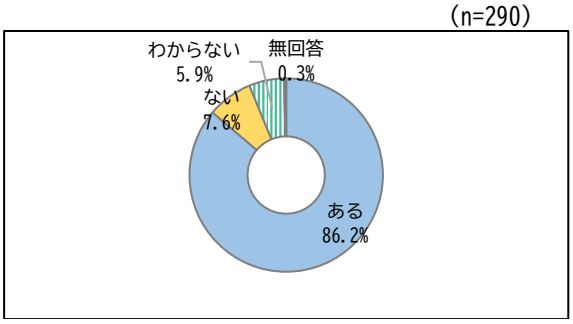



認知症と思われる症状があると回答した方のみ、お答えください。

医師から認知症と診断されたことがありますか。（１つの番号に○）

認知症と思われる症状について、医師から認知症と診断されたことが「ある」と回答した割合は86.2%となっており、ほとんどの方が医師から診断されたこととなっています。

（n=290）

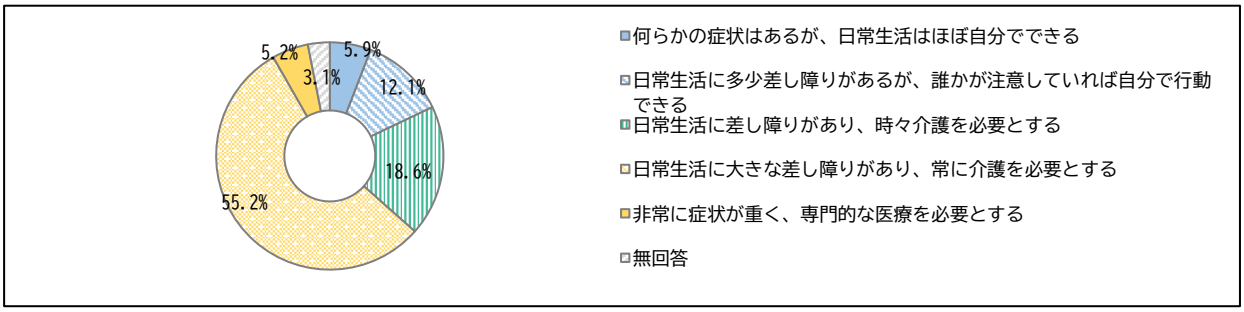



認知症と思われる症状があると回答した方のみ、お答えください。

認知症状はどの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。（１つの番号に○）

認知症と思われる症状の程度について、「日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする」が最も多く55.2%となっています。

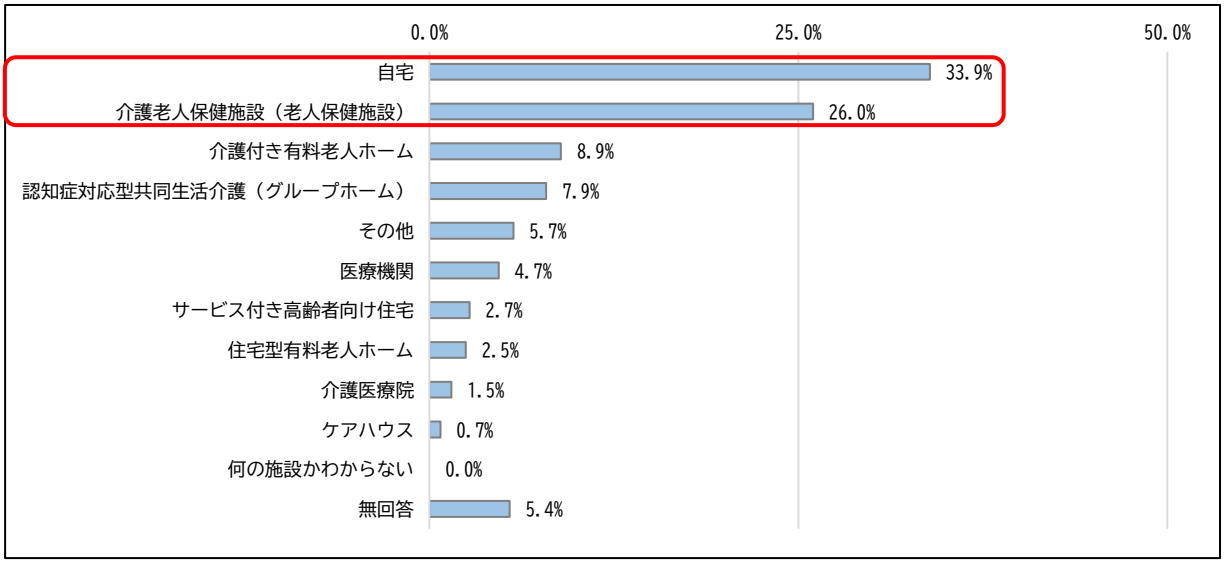
（n=290）



ご本人（入所予定者）は、現在どこで生活していますか。（１つの番号に○）

入所予定者の生活場所について、「自宅」が最も多く 33.9%となっており、次いで「介護老人保健施設」が 26.0%となっています。

（n=404）

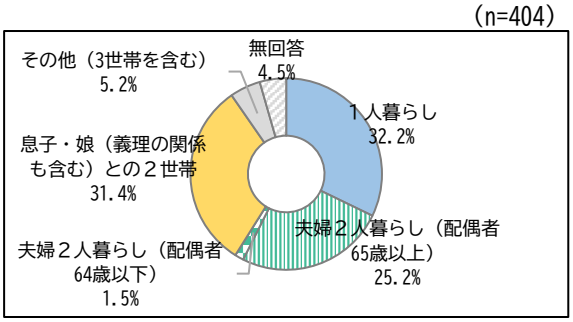



その他・・・ショートステイ、特別養護老人ホーム

家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

入所予定者の家族構成について、「１人暮らし」が最も多く 32.3%となっており、次いで「息子・娘との２世帯」が 31.4%となっています。

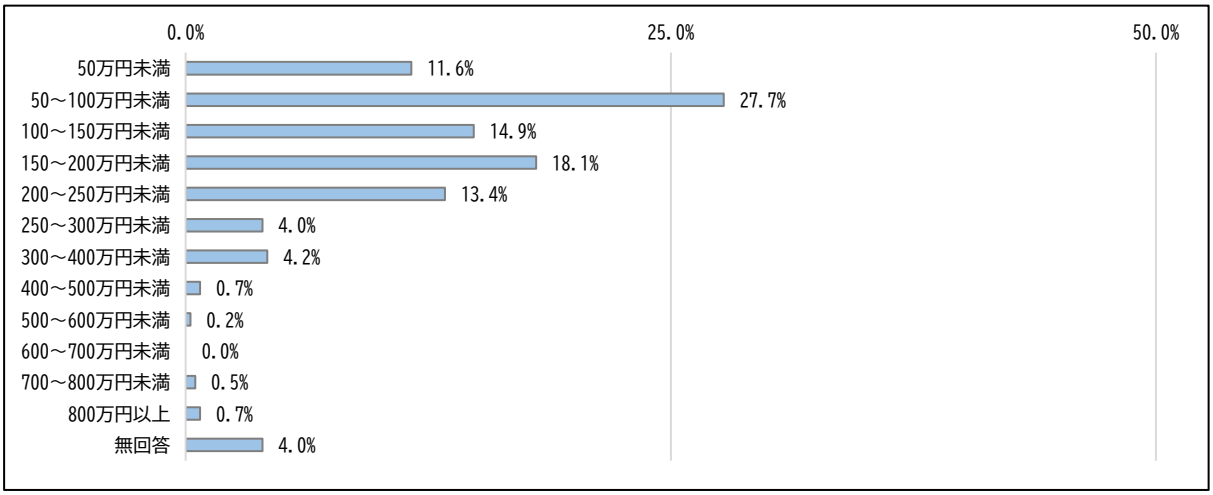
（n=404）



ご本人（入所予定者）の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和元年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

入所予定者の合計収入額については次の通りとなっています。

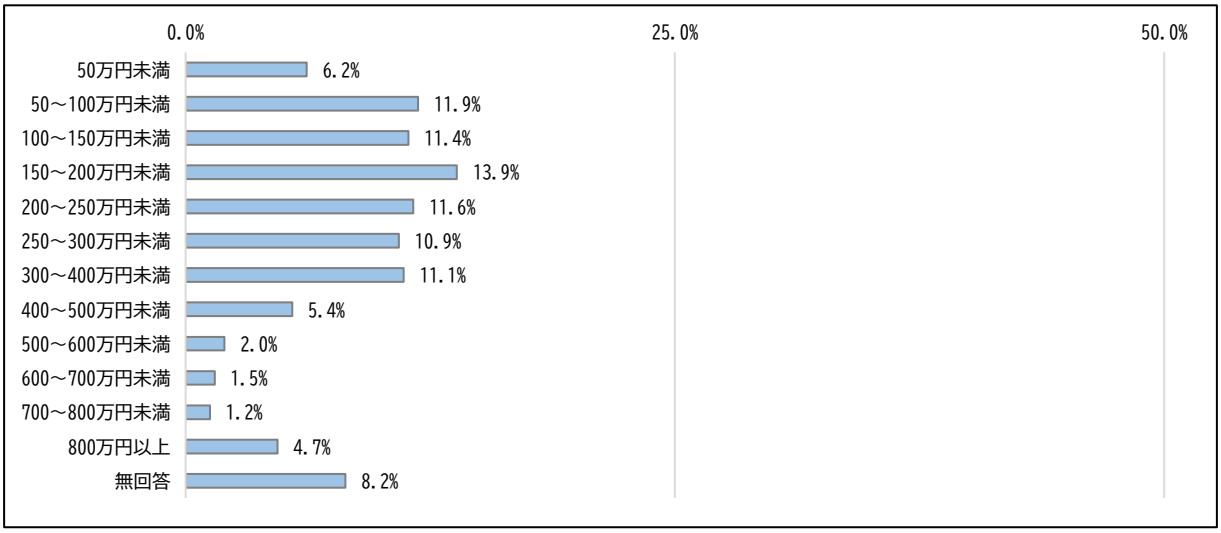
（n=404）




入所予定者の世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和元年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

入所予定者の世帯全体の合計収入額については次の通りとなっています。

（n=404）

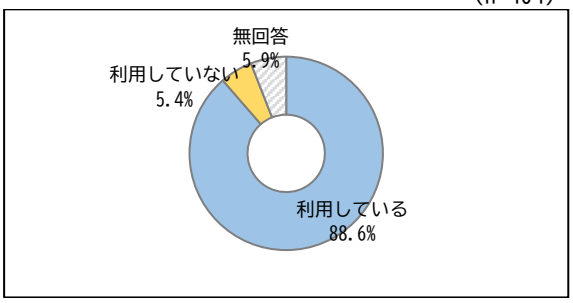


## （２）入所予定者ご本人への介護

ご本人（入所予定者）は、現在介護保険サービスを利用していますか。（どちらかの番号に○）

入所予定者の介護保険サービス利用有無について、「利用している」と回答した割合は88.6%となっています。

（n=404）

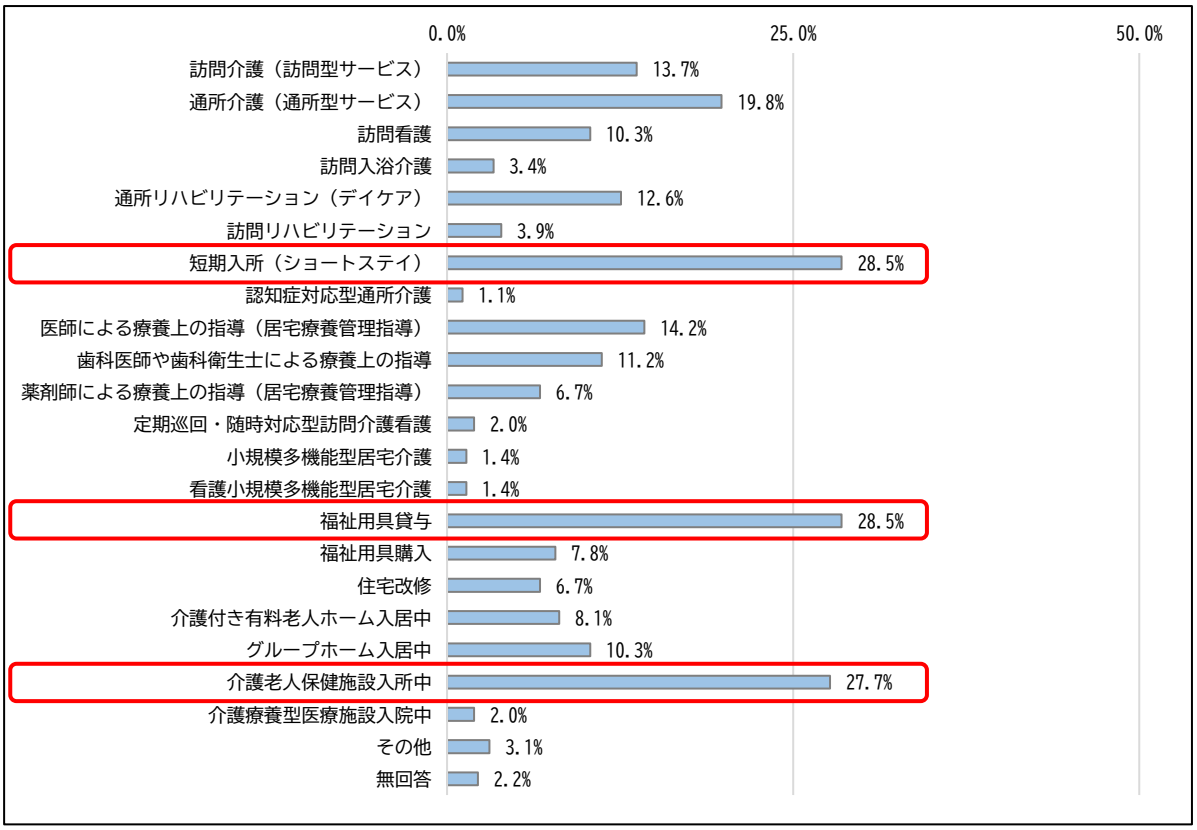



介護保険サービスを利用していると回答した方のみ、お答えください。

現在、ご本人（入所予定者）はどのような介護保険サービスを使用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者が利用している介護保険サービスについて、「短期入所」「福祉用具貸与」が最も多く28.5%となっており、次いで「介護老人保健施設」が27.7%となっています。

（n=358）

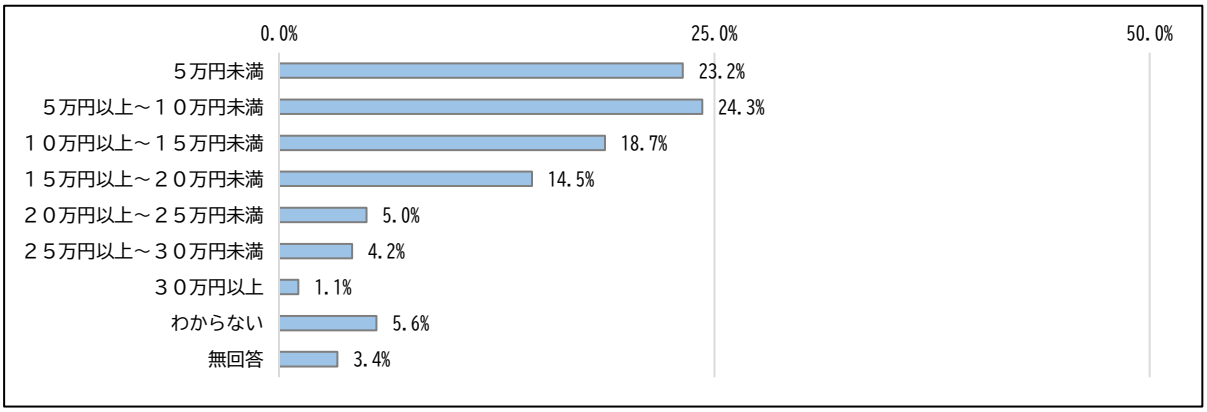


介護保険サービスを利用していると回答した方のみ、お答えください。

介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する１か月あたりの利用者負担額の総額はどの程度ですか。（１つの番号に○）

介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する１か月あたりの利用者負担額について、「５万円以上～10 万円未満」が最も多く 24.3%となっています。

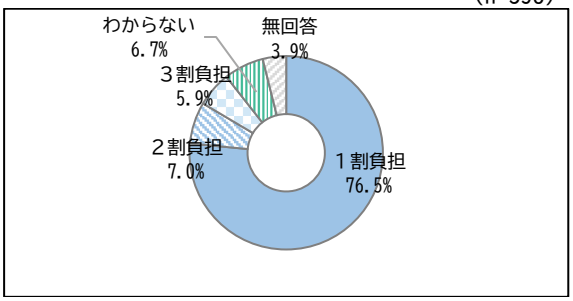
（n=358）




現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。（１つの番号に○）

介護保険利用負担割合について、「１割負担」が最も多く 76.5%と約 3/4 が「１割負担」となっています。

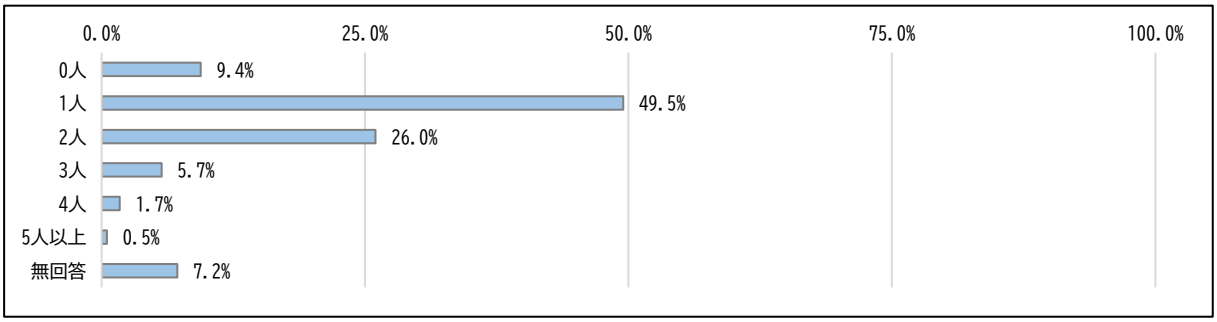
（n=358）




ご本人（入所予定者）の介護にかかわっている家族・親族は何人いますか。（数字を記入）

入所予定者の介護にかかわっている家族・親族の人数について、「１人」が最も多く 49.5%となっています。

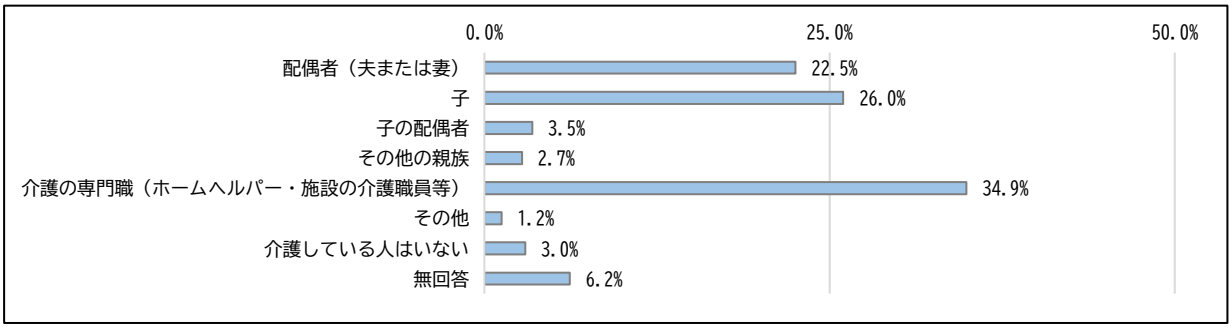
（n=404）



ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っているのはどなたですか。（１つの番号に○）

入所予定者の介護を主に行っている方について、「介護の専門職」が最も多く 34.9%となり、次いで「子」が 26.0%、配偶者が 22.5%となっています。

（n=404）

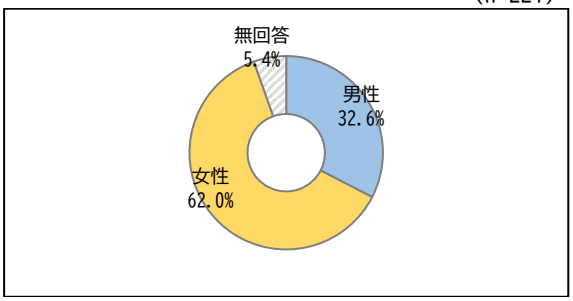



入所予定者の介護を主に行っている方が家族・親族と回答した方のみ、お答えください。

ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別をお答えください。

入所予定者を主に家族・親族が介護している場合の介護している方の性別について、「男性」が 32.6%、「女性」が 62.0%となっています。

（n=221）

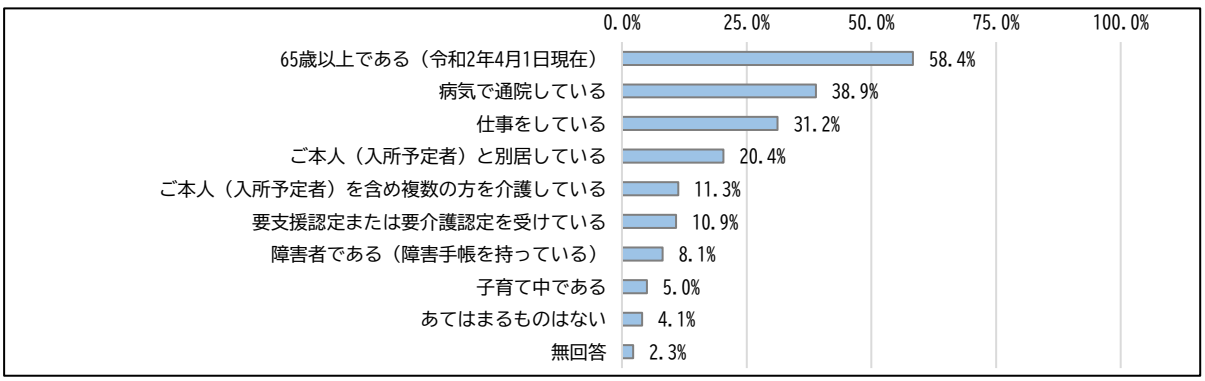



入所予定者の介護を主に行っている方が家族・親族と回答した方のみ、お答えください。

ご本人（入所予定者）を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

入所予定者を主に介護している方について、「65 歳以上である」が 58.4%、「病気で通院している」が 38.9%となっています。

（n=221）



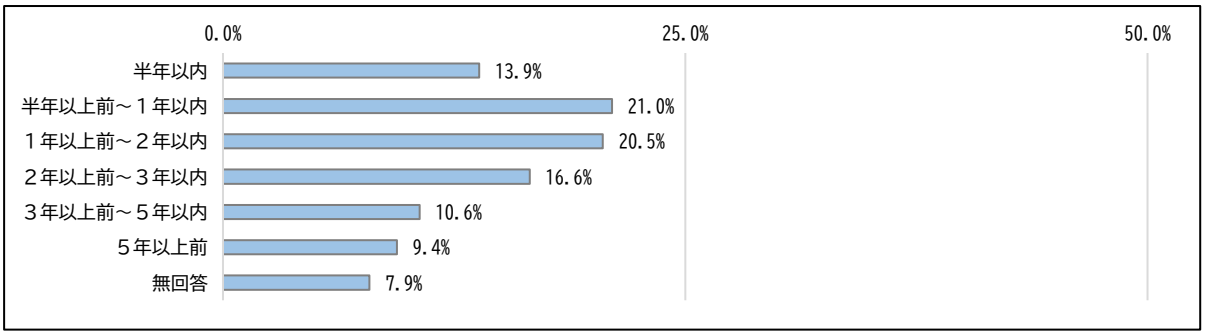
# ３．特別養護老人ホームの入所申込み等について

## （１）入所申込みの状況

特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだのはいつですか。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだ時期について、「半年以上前～１年以内」が最も多く 21.0%、次いで「１年以上前～２年以内」が 20.5%となっています。

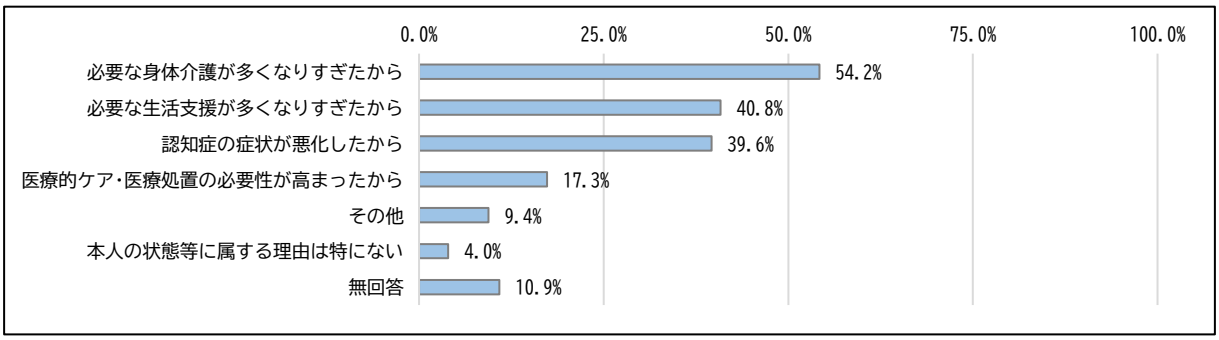
（n=404）




特別養護老人ホームに申込んだ主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

本人の状態等を踏まえた入所申込み理由について、「必要な身体介護が多くなりすぎたから」が最も多く 54.2%となっています。

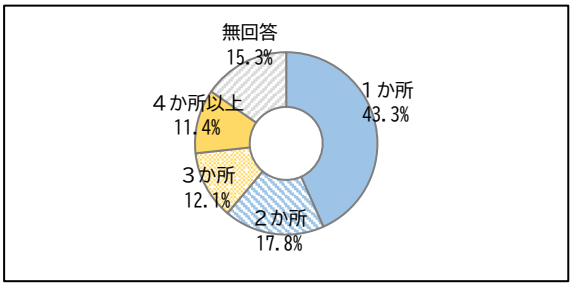
（n=404）




現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームについて入所申込み箇所数について、「１箇所」が最も多く 43.3%となっています。

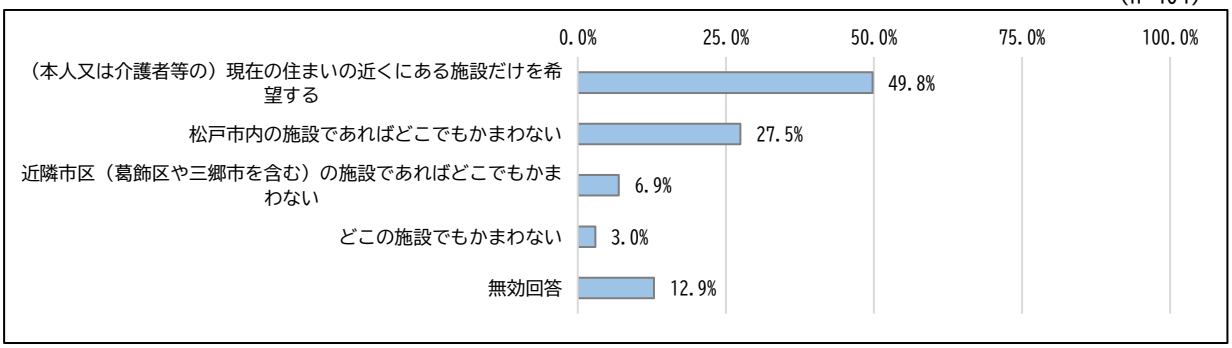
（n=404）



どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。（１つの番号に○）

入所を希望する特別養護老人ホームの地域について、「（本人又は介護者等の）現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」が最も多く 49.8%と約半数となっています。

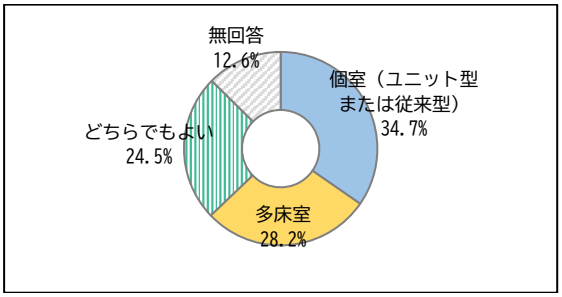
（n=404）




特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。（１つの番号に○）

入所した場合の希望する部屋について、「個室」が 34.7%、「多床室」が 28.2%、また「どちらでもよい」が 24.5%となっています。

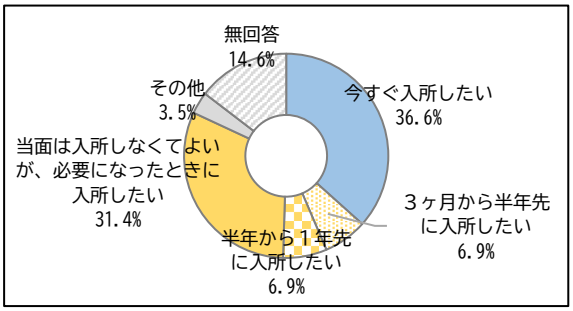
（n=404）




特別養護老人ホームへ入所したい時期はいつですか。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームへ入所したい時期について、「今すぐ入所したい」が 36.6%となる一方、「当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい」が 31.4%となっています。

（n=404）

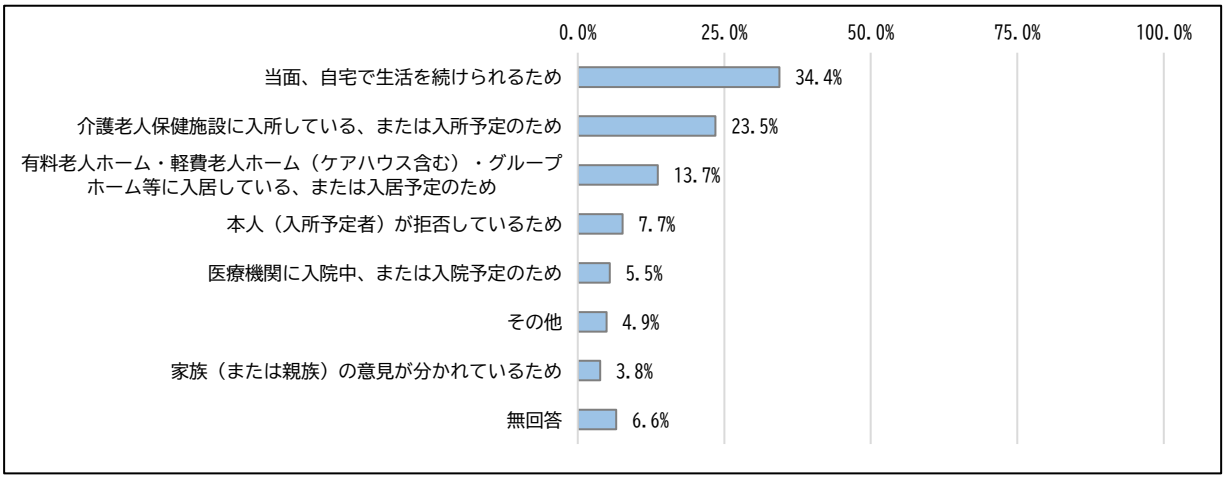


特別養護老人ホームへの入所について ３ カ月以上先、当面は入所しなくてよいと回答した方のみ、お答えください。

理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（１つの番号に○）

３カ月以上先、当面は入所しなくてよいと回答したその理由について、「当面、自宅で生活を続けられるため」が最も多く 34.4%となっています。

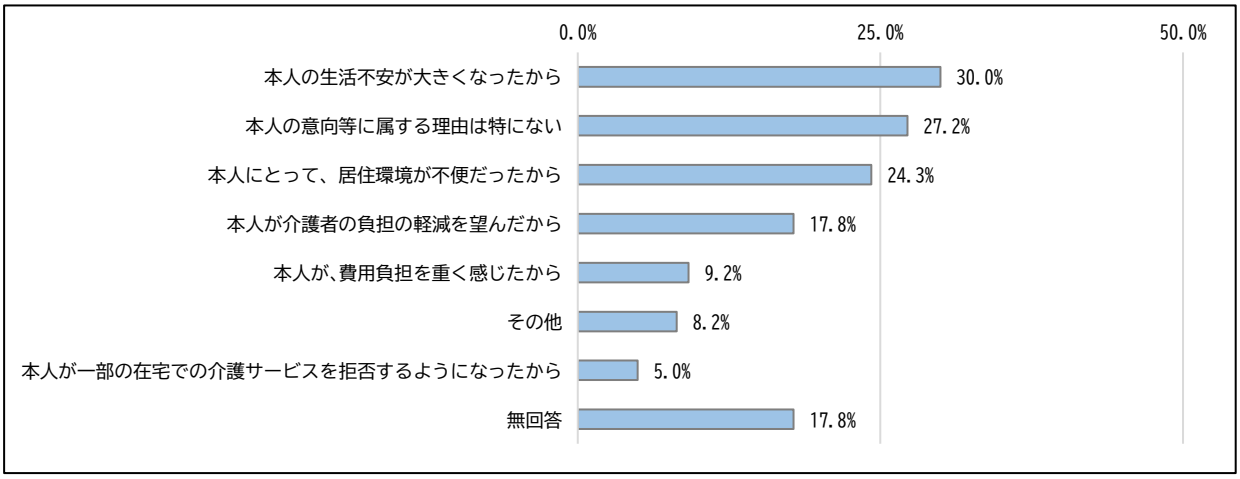
（n=183）




施設での生活を選んだ主な理由のうち、本人の意向等に属する理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

施設での生活を選んだ本人の意向等の主な理由について、「本人の生活不安が大きくなったから」が最も多く 30.0%となる一方、「本人の意向等に属する理由は特にない」について 27.2%となっています。

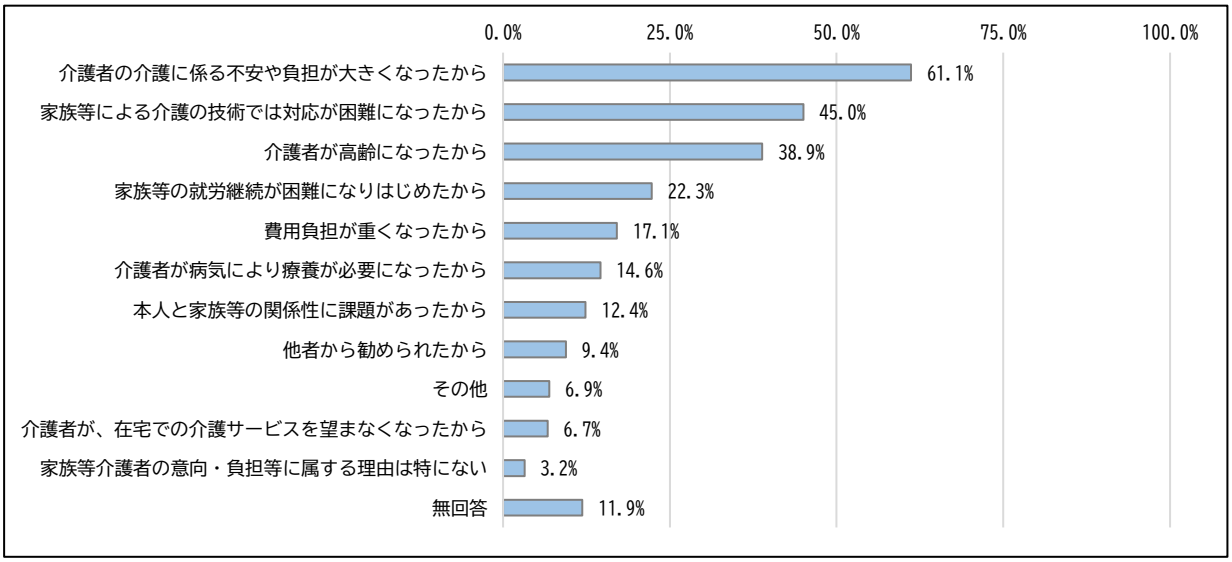
（n=404）



施設での生活を選んだ主な理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

施設での生活を選んだ主に家族等介護者の意向・負担等の主な理由について、「介護者の介護に係る不安や負担が大きくなったから」が最も多く 61.1%となり、次いで「家族等による介護の技術では対応が困難になったから」が 45.0%となっています。

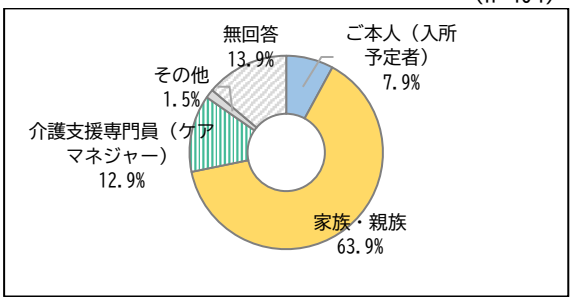
（n=404）




特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意見で決めた」あるいは「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方について、「家族・親族」が最も多く 63.9%と約 2/3 となっており、「ご本人」については 7.9%となっています。

（n=404）

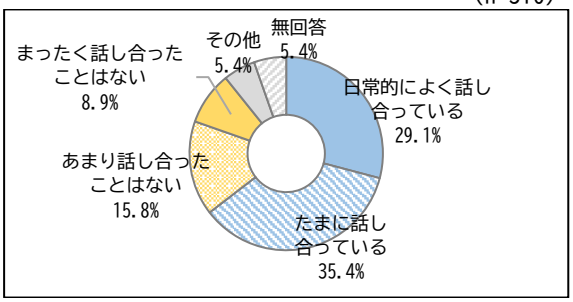


特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方がご本人以外と回答した方のみ、お答えください。

ご本人（入所予定者）の特別養護老人ホームへの入所について、家族（または親族）で話し合っていますか。（１つの番号に○）

ご本人以外が特別養護老人ホームの入所申込みを決めた際、家族（または親族）での話し合いについて、「たまに話し合っている」と回答した割合が最も多く 35.4%となっており、次いで「日常的によく話し合っている」が 29.1%となっています。

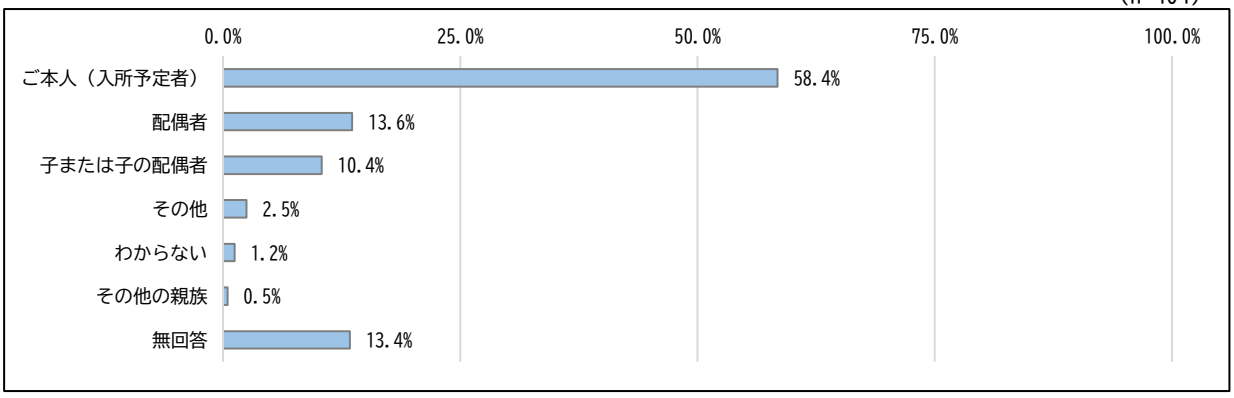
（n=316）




特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどなたですか。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方として、「ご本人（入所予定者）」が最も多く 58.4%となっています。

（n=404）

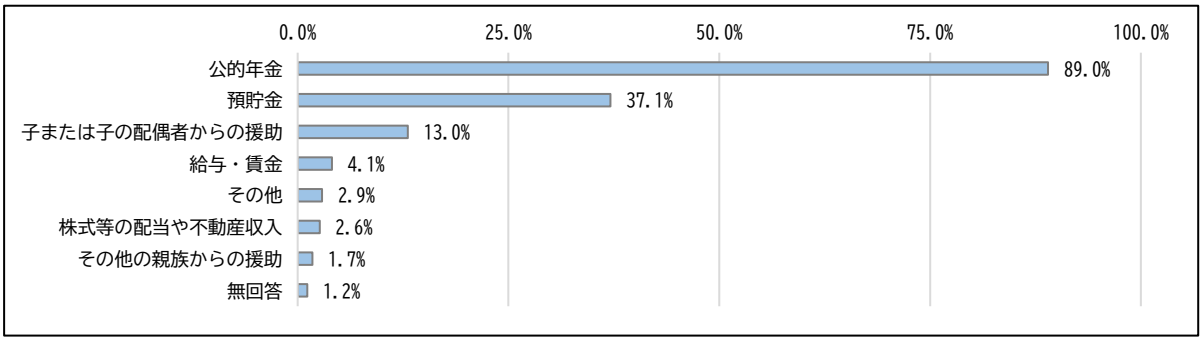


特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方がご本人ご家族等と回答した方のみ、お答えください。

入所費用にあてる主な収入（資金）は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

特別養護老人ホームの入所に関して費用を負担される予定の方がご本人ご家族等の場合、入所費用にあてる主な収入（資金）について「公的年金」が最も多く 89.0%となっています。

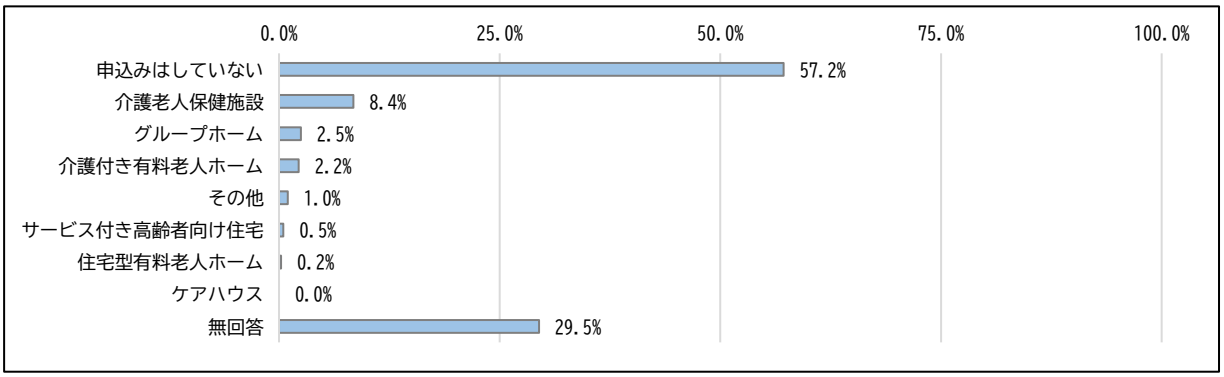
（n=345）




特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設をお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設について、「申込みはしていない」が最も多く 57.2%となっています。

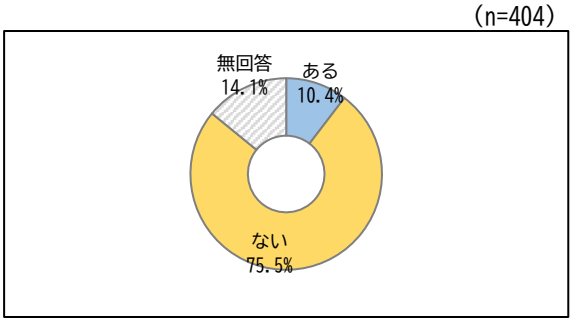
（n=404）




特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際に辞退したことがありますか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際、「辞退したことがある」と回答した割合は 10.4%となっています。

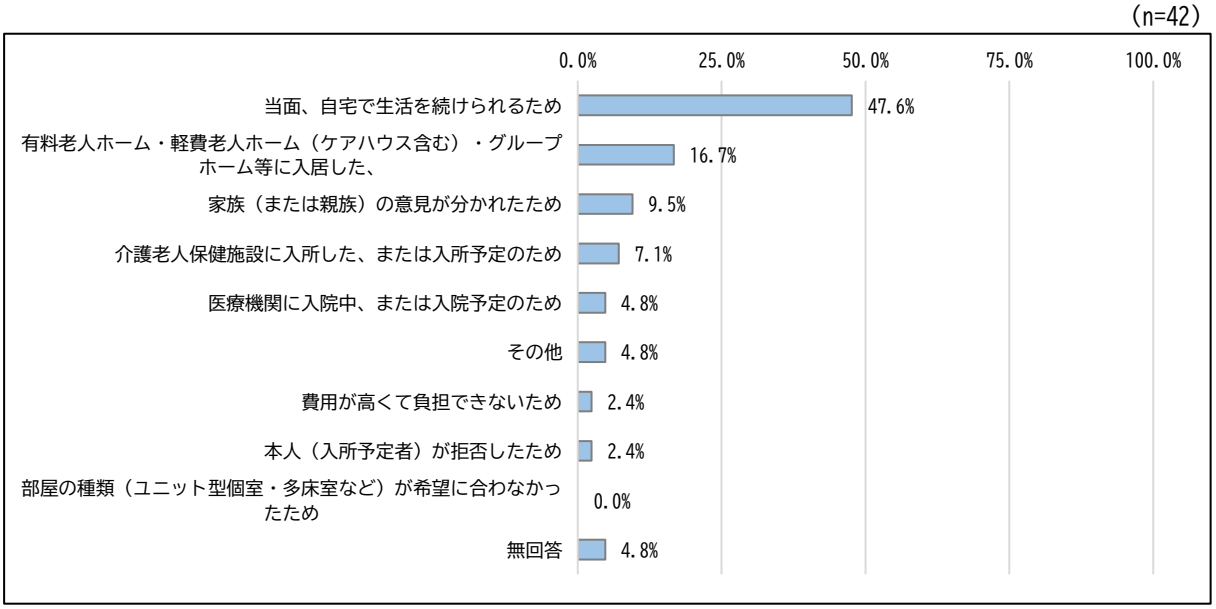
（n=404）



特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際、辞退したことがあると回答した方のみ、お答えください。

辞退した理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。（１つの番号に○）

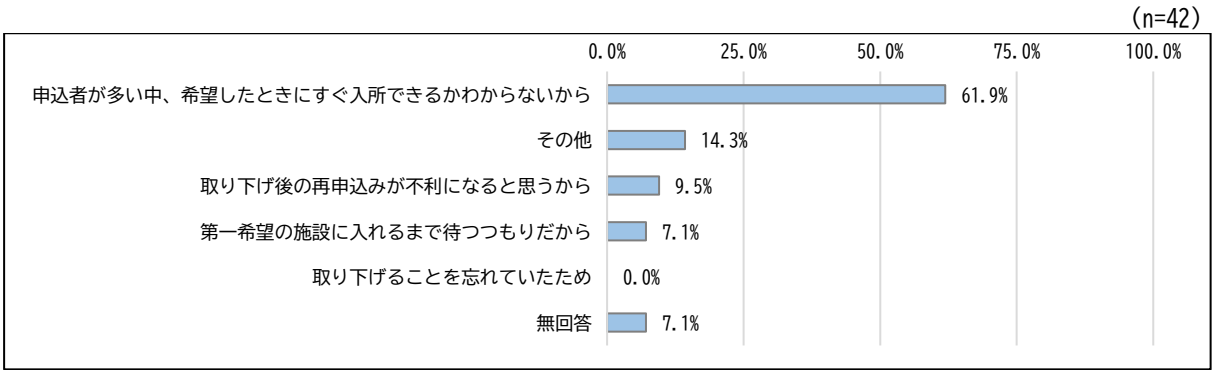
特別養護老人ホームの入所を辞退した理由について、「当面、自宅で生活を続けられるため」が最も多く 47.6%となっています。




特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際、辞退したことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げていない理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。（１つの番号に○）

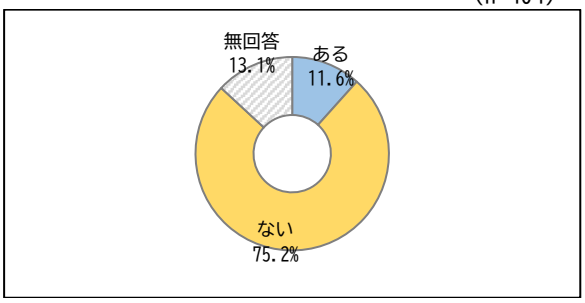
入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げていない理由について、「申込者が多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから」が最も多く 61.9%となっています。



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことが「ある」と回答した割合は11.6%となっています。

（n=404）

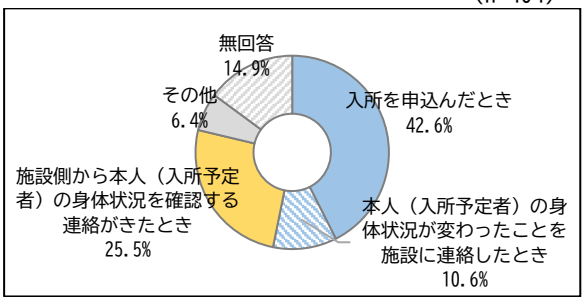



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を断られた時期はいつですか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られた時期について、「入所を申込んだとき」が最も多く 42.6%となっています。

（n=404）

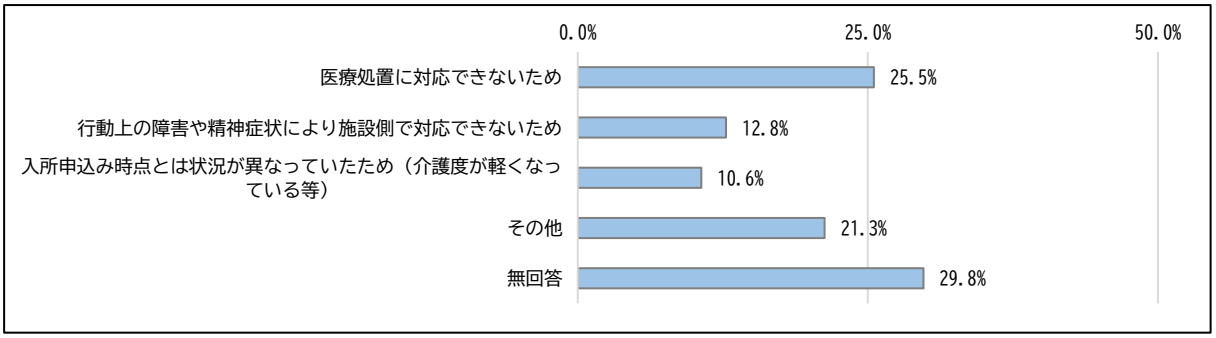



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがあると回答した方のみ、お答えください。

入所を断られた理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（１つの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られた理由について、「医療処置に対応できないため」が最も多く 25.5%となっています。

（n=404）



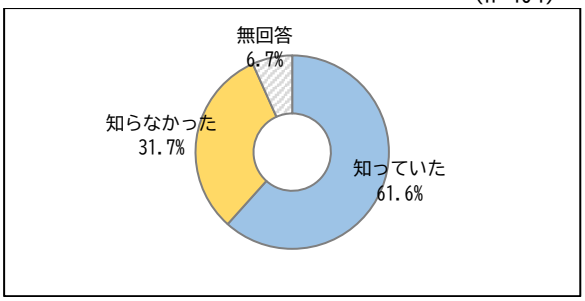
# ４．特別養護老人ホーム入所の優先順位について

## （１）特別養護老人ホーム入所の優先順位

松戸市は、必要性が高い方から特別養護老人ホームに入所できるよう、本人の状況や介護者の状況を客観的に判断するための基準を定め、基準に従って付けられた点数の大小により入所優先順位を決定しています。こうした基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていましたか。（１つの番号に○）

基準によって入所の優先順位が決まっていることについて、「知っていた」と回答した割合は 61.6%となっています。

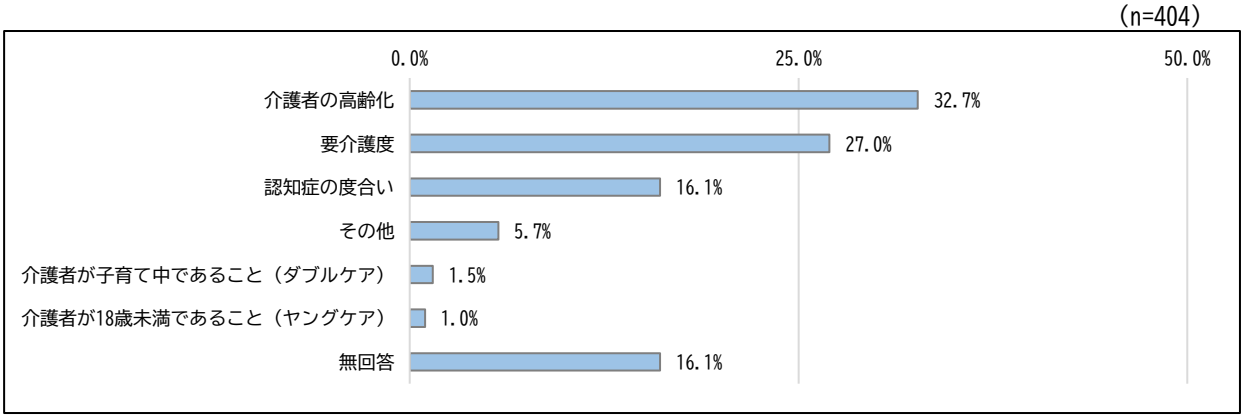
（n=404）




今後、入所基準で優先すべき事項は何だと思いますか。（１つの番号に○）

今後、入所基準で優先すべき事項について、「介護者の高齢化」が最も多く 32.7%となっています。

（n=404）



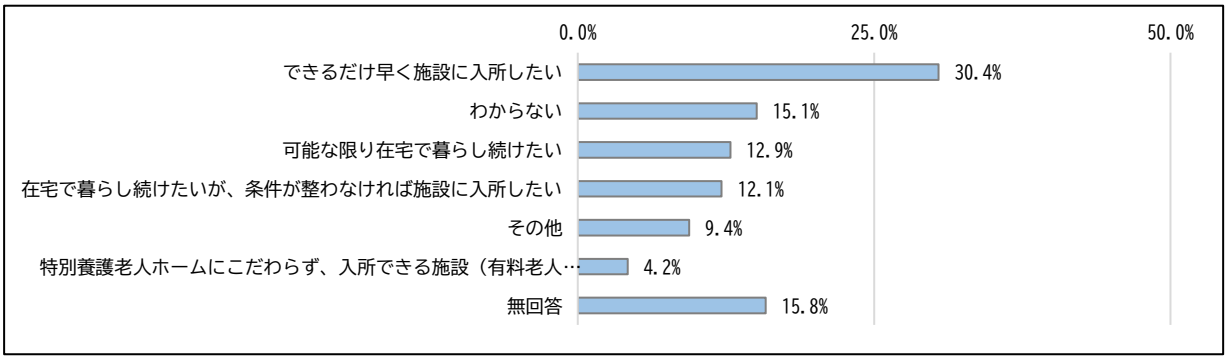
# ５．今後の生活や介護保険のサービスについて

## （１）特別養護老人ホーム入所希望

ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在では入所に関してどのように考えていますか。（１つの番号に○）

ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在の入所希望について、「できるだけ早く施設に入所したい」が最も多く 30.4%となっています。

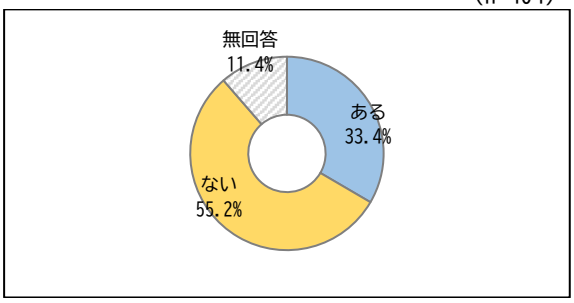
（n=404）




特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性はありますか。（どちらかの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば、入所希望について再検討する可能性が「ある」と回答した割合は 33.4%と約 1/3 となっています。

（n=404）

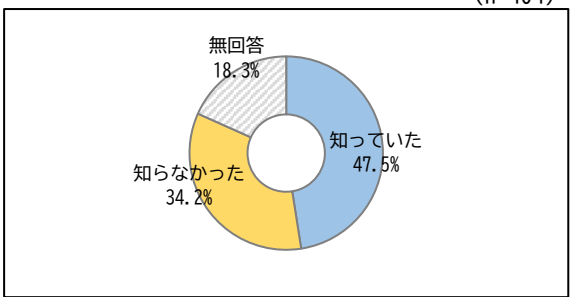


松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える以下の在宅サービスの整備を進めていますが、これらの在宅サービスを知っていましたか。また、ご本人（入所予定者）は利用してみたいと思いますか。

### ①小規模多機能型居宅介護

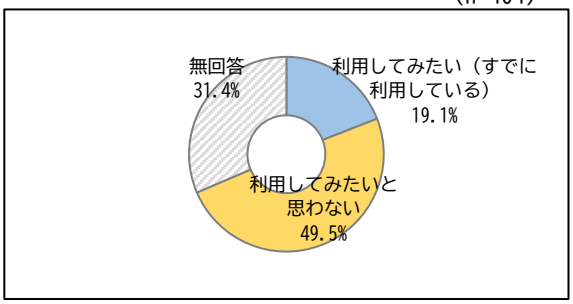
知っていましたか

（n=404）




利用してみたいと思いますか

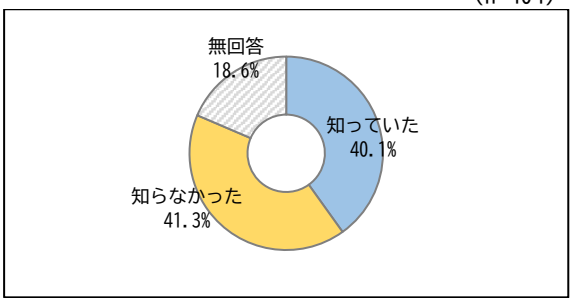
（n=404）




### ② 看護小規模多機能型居宅介護

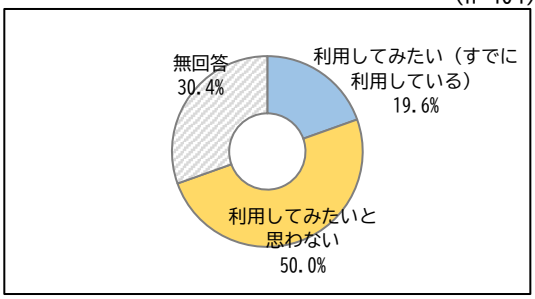
知っていましたか

（n=404）




利用してみたいと思いますか

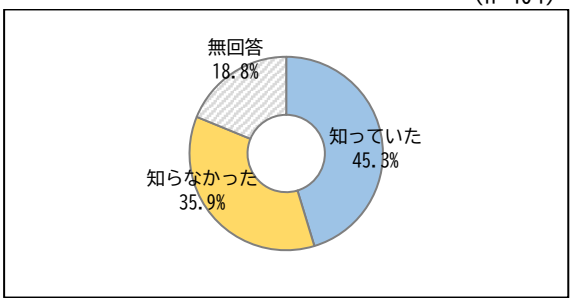
（n=404）




### ③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護

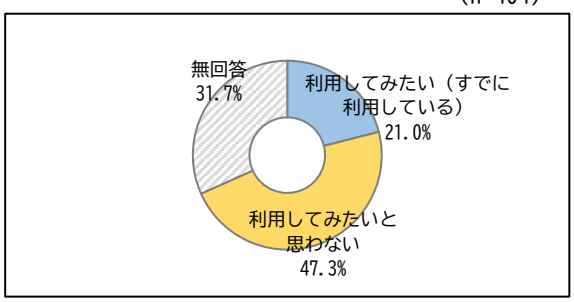
知っていましたか

（n=404）

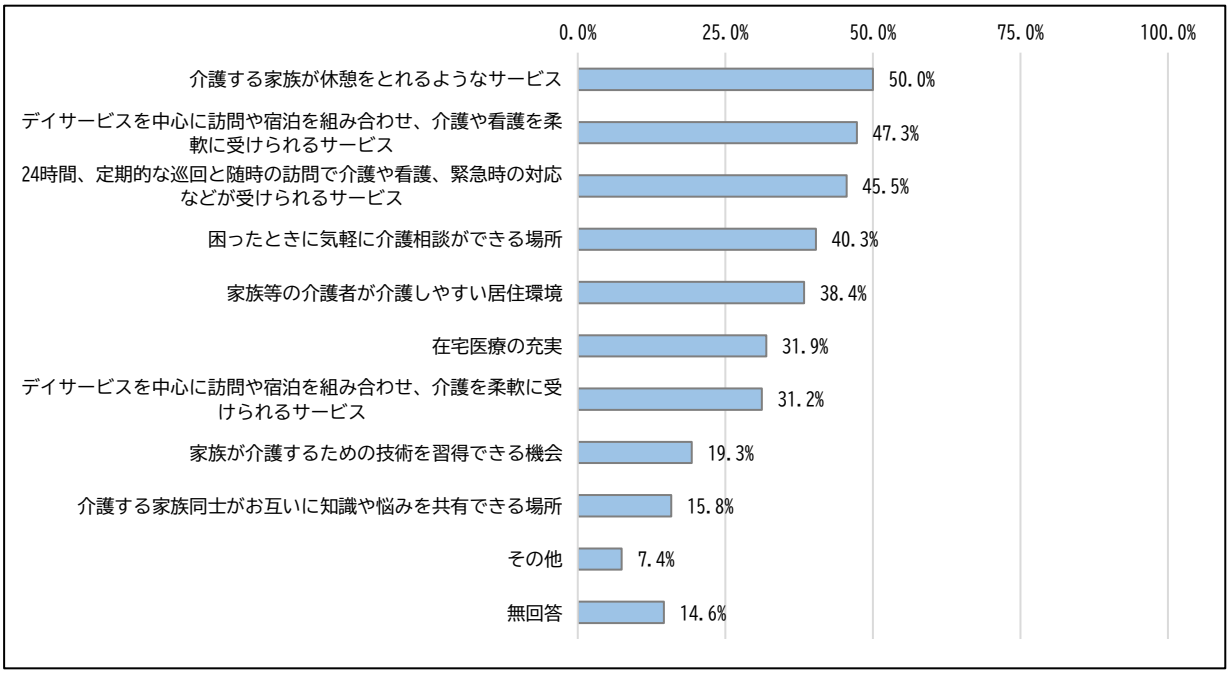



利用してみたいと思いますか

（n=404）



自宅で介護を受けながら生活していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

自宅で介護を受けながら生活していくために必要なことについて、「介護する家族が休憩をとれるようなサービス」が最も多く 50.0%となっており、次いで「デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス」が 47.3%となっています。

（n=404）